

Iwami Art Museum

令和元
[2019]
年度

年報

島根県立石見美術館

Annual Report April 2019- March 2020

目次 Contents

活動方針・活動内容	1
展覧会一覧	2
企画展	3
特別展	12
コレクション展	18
その他の展覧会	30
ミュージアム	31
教育普及活動	35
共同研究会・実習	37
所蔵作品紹介新聞連載	38
ボランティア	39
各種割引	40
所蔵作品一覧	44
新収蔵作品一覧	59
所蔵作品貸出実績	60
入館者数一覧・ミュージアムパスポート会員数一覧	61
収支概要	62
島根県芸術文化センター条例	63
島根県立石見美術館管理規則	68
施設概要	71
運営組織体制	74
利用案内	75

島根県立石見美術館と島根県芸術文化センター

島根県芸術文化センターは、「島根県立石見美術館」と「島根県立いわみ芸術劇場」の複合施設です。この施設は、石見地域の芸術文化拠点として、美術や音楽、演劇などの分野が相互に協調し、誘発し合いながら、多様で質の高い芸術文化の鑑賞機会を提供します。また、石見地域に育まれてきた文化を大切にしながら、新しい芸術文化の創造をめざします。

活動方針

- 1：芸術を身近に感じる仕組みづくり
- 2：芸術文化を通じたネットワークの支援・育成
- 3：非日常空間の提供
- 4：世界に目を向けた情報発信

島根県立石見美術館

- 1：幅広い視野で多彩な企画展を開催します。また、テーマ性をもった質の高い常設展示を行います。
- 2：地域や分野、年代にとらわれず、優れた国内外の作品を収集します。
- 3：美術作品の収集、および展示、保存、また教育普及に関する調査研究を行います。
- 4：美術に関する理解を深めるための講演会やワークショップなどの教育普及活動を行います。

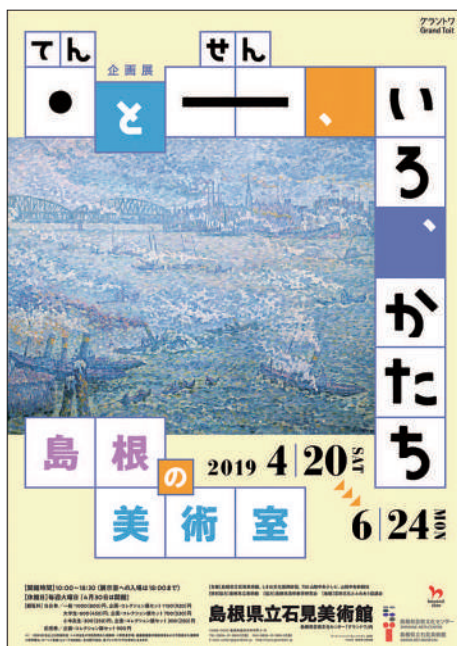
島根県立いわみ芸術劇場

- 1：芸術文化を鑑賞する場として、また創造する場としての活動を行います。
- 2：優れた芸術文化に接することができるよう充実した自主事業を行います。
- 3：舞台芸術に関する研修機会を提供します。

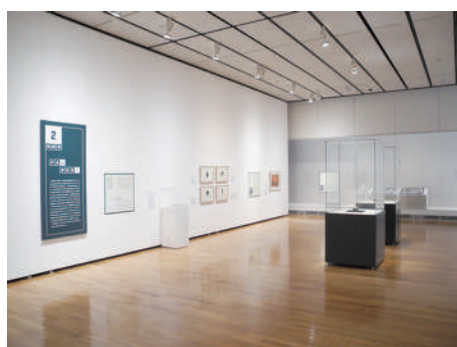
展覧会一覧

	展示室	展覧会名	会期
企画展	展示室D	・と——、いろ、かたち 島根の美術室	令和元年4月20日～6月24日
	展示室D・C	猪熊弦一郎展「いのくまさん」	令和元年7月13日～9月1日
	展示室D・C	星とめぐる美術 10の天体がいざなう現代美術	令和元年9月14日～11月18日
	展示室D・C	富野由悠季の世界	令和2年1月11日～3月23日
特別展	展示室A	益田氏VS吉見氏—石見の戦国時代—	令和元年9月5日～11月4日
	展示室A	赤い服/白い服	令和元年12月18日～令和2年2月3日
コレクション展	展示室A	大下藤次郎の水彩画	令和元年4月10日～5月20日
		水墨画をたのしむ	令和元年5月22日～7月7日
		森鷗外と帝国美術院の芸術家たち	令和元年7月10日～9月2日
		雲谷派—雪舟を受け継ぐ	令和元年11月6日～12月16日
		屏風の魅力	令和2年2月7日～3月16日
	展示室B	カラフル!	令和元年4月10日～5月27日
		根付—江戸の遊び心と吉兆	令和元年5月29日～7月22日
		100年前のファッション	令和元年7月24日～9月2日
		「ひかり」をとりこむ	令和元年9月4日～10月28日
		『今日の流儀とおしゃれ』—雑誌に見るパリの文化と暮らし	令和元年10月30日～12月16日
		季節を感じる	令和元年12月18日～令和2年2月3日
		陰と影	令和2年2月6日～3月16日
	展示室C	ロシア・アヴァンギャルド	令和元年4月24日～5月27日
		森英恵 静と動	令和元年5月29日～7月7日
彫りの極め人		令和元年11月23日～令和2年1月5日	
		第52回島根県総合美術展(県展)移動展	令和元年11月28日～12月1日
		第38回益田市美術展	令和元年12月19日～12月22日

企画展 てん と せん、いろ、かたち 島根の美術室



ポスター



会場



会場



会場

展覧会名：企画展 てん と せん、いろ、かたち 島根の美術室

会 期：令和元年4月20日(土)～6月24日(月)

休 館 日：毎週火曜日(4月30日は開館)

観 覧 料：当日券 一般/1,000(800)円、企画・コレクション展セット1,150(920)円

大学生/600(450)円、企画・コレクション展セット700(530)円

小中高生/300(250)円、企画・コレクション展セット300(250)円

前売券[企画・コレクション展セット]一般/900円、大学生/500円

* ()内は20名以上の団体料金

* 小中高生の学校利用は入場無料

* 各種障がい者手帳、被爆者健康手帳保持者および介助者(1名まで)は入場無料

主 催：島根県立石見美術館、しまね文化振興財団、TSK山陰中央テレビ、山陰中央新報社

特別協力：島根県立美術館

協 力：島根県造形教育研究会

後 援：芸術文化とふれあう協議会

内 容

作品を見て考えるときの糸口として、点と線、色、形といった造形を成り立たせる基本要素に注目し、島根県内の美術作品や文化財を紹介した。2018年の1月から2月にかけて島根県立美術館で開催されたコレクション企画展「みんなの美術室」のコンセプトを引き継ぎつつ、作品の選定には当館独自の視点も加え、島根県内の文化財も取り入れた。さらに、アーティスト米倉大五郎氏の協力を得て、作品制作に必要な材料や道具(絵具、筆、キャンバス、額など)を紹介するコーナーも設けた。学校関係者にも積極的に声をかけ、学芸員がナビゲーターを務める対話型鑑賞を実施するなど、教育普及的な側面にも力を入れた。関連事業として、グラントワの中庭広場を給食室に見立てた食のイベント「グラントワ・マルシェ」のほか、リズムや和音など音楽の基本的な要素を学ぶワークショップ、地元の高校生が「日本の伝統色」をテーマに制作したカードゲーム「iRodoRi(イロドリ)」で遊ぶオープンスタジオなどを開催した。

新聞、雑誌掲載

中国新聞2月14日 カードゲーム「iRodoRi」取材記事

毎日新聞2月16日 カードゲーム「iRodoRi」取材記事

山陰中央新報2月23日 カードゲーム「iRodoRi」取材記事

朝日新聞3月16日 カードゲーム「iRodoRi」取材記事

ジャパンタイムズ4月17日 展覧会紹介記事

山陰中央新報4月6日 南目 美輝 寄稿

山陰中央新報4月26日 展覧会紹介記事

山陰中央新報4月26日 角野 広海 作品紹介記事

『さんいんキラリ』44号(4月10日発行) 角野 広海 寄稿

山陰中央新報4月20日 展覧会紹介記事

山陰中央新報4月28日 「たのしい展示解説」取材記事

山陰中央新報4月27日 角野 広海 作品紹介記事

読売新聞5月4日 展覧会紹介記事

山陰中央新報5月8日 グラントワ・マルシェ紹介記事

山陰中央新報5月22日 オープンスタジオ取材記事

山陰中央新報5月31日 角野 広海 作品紹介記事

山陰中央新報6月1日 角野 広海 作品紹介記事

印刷物

展覧会ポスター：B2

展覧会チラシ：A4

子供のための鑑賞ガイド

展覧会オリジナルクリアファイル

展覧会図録

(デザイン：すべて野村デザイン制作室)



ギャラリートーク「たのしい展示解説」



オープンスタジオ

関連事業

ギャラリートーク「たのしい展示解説」

講師：上野 小麻里(島根県立美術館専門学芸員)

日時：4月27日(土)14:00～

会場：展示室D

参加者：30名

世界を食べるグラントワ・マルシェ 「みんなの給食室」

イタリア、韓国、台湾、インドネシア、アフリカなどの世界のおいしい料理のほか、企画展の教育普及的な内容にちなみ、益田市の学校給食・保育園給食を販売した。

日時：5月4日(土・祝)10:30～15:00

会場：大ホールホワイエ・中庭広場

来場者数：2000名

オープンスタジオ「日本の伝統色に注目!カードゲーム“iRodoRi”で遊ぼう」

島根県立益田高等学校の放課後クラブ「自主ゼミ」が、「日本の伝統色」をテーマに制作したカードゲーム“iRodoRi(イロドリ)”について、企画展の中で紹介するとともに、子供から大人まで幅広い年代の方々が、制作者の高校生たちとカードゲームを楽しむ場を設けた。

日時：5月18日(土)13:30～16:00

会場：美術館ロビー

参加者：20名

Museum×Theater ミューシアvol.8

「みんなの音楽室」

講師/出演：相川 瞳(パーカッション)、林 正樹(ピアノ)、鈴木 広志(サクソス)

日時：6月2日(日)10:00～16:30

※詳細は「ミューシア(31ページ)」に記載

グラントワ tea ガーデン「^{てん}・と^{せん}茶」

日時：5月26日(日)11:00～

会場：美術館ロビー

参加者：63名

ギャラリートーク

日時：5月4日(土)、5月26日(日)、6月22日(土) いずれも14:00～

会場：展示室D

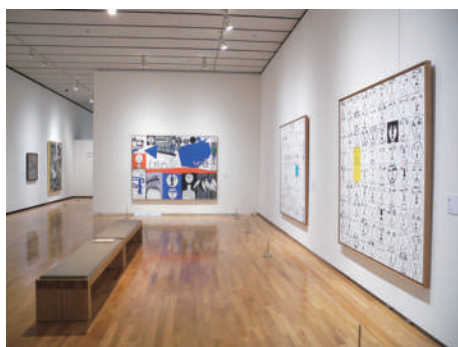
展覧会オリジナルクリアファイルをプレゼント!

毎日先着20名に、展覧会オリジナル「クリアファイル」をプレゼントした。

企画展 猪熊弦一郎展「いのくまさん」



ポスター



会場



会場



会場

展覧会名：企画展 猪熊弦一郎展「いのくまさん」

会 期：令和元年7月13日(土)～9月1日(日)

休 館 日：毎週火曜日

観 覧 料：当日券 一般/1,000(800)円、企画・コレクション展セット1,150(920)円
 大学生/600(450)円、企画・コレクション展セット700(530)円
 小中高生/300(250)円、企画・コレクション展セット300(250)円

前売券[企画・コレクション展セット]

一般/900円、大学生/500円、小中高生/200円

* ()内は20名以上の団体料金

* 小中高生の学校利用は入場無料

* 各種障がい者手帳、被爆者健康手帳保持者および介助者(1名まで)は入場無料

主 催：島根県立石見美術館、しまね文化振興財団、読売新聞社、美術館連絡協議会、日本海テレビ

特別協力：丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団

後 援：芸術文化とふれあう協議会

協 賛：ライオン、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜

内 容

画家・猪熊弦一郎(1902-1993)の作品の魅力を紹介した絵本『いのくまさん』(小学館発行)の世界を展示室に再現し、大人から子供まで楽しめる展覧会に仕立てた。丸亀市猪熊弦一郎現代美術館発案の企画のもとに、猪熊の仕事を紹介するセクションを加えた構成とした。

内容は、絵本の「顔」「鳥」「猫」「形」「色」といったテーマに沿って、猪熊弦一郎の少年時代の作品から、東京美術学校時代、ニューヨーク時代、晩年のハワイ時代の作品を追っていき流れとなっており、猪熊の人生を辿りながらその絵の変遷を見つめ、猪熊独自の色彩感覚の豊かさと、スケールの大きい抽象世界が無理なく楽しめる構成とした。また、シンプルで軽妙なタッチの谷川俊太郎の言葉を猪熊の作品とともに随所に配置することで、展示にリズム感が生まれ、年齢を問わず、「いのくまさん」の世界観を存分に味わってもらえる内容となった。

また、第二会場として、「いのくまさんの仕事」と題し、生涯で40年間担当した『小説新潮』の表紙絵や、三越の包装紙「華ひらく」のデザイン、そしてJR上野駅中央コンコースの壁画《自由》の制作など、一部ではあるが、作品制作以外の猪熊の幅広い活動も紹介した。なお、所蔵館のご厚意により展覧会会場の写真撮影をOKとした。フラッシュをたかない、個人で楽しむ範疇にするなど諸条件はあるが、SNSなどでの広報につながり、来館者も思い出として写真撮影を楽しんでいた。

新聞、雑誌掲載

『さんいんキラリ』No.44 4月10日 展覧会紹介記事

読売新聞6月24日 展覧会紹介記事

中国新聞6月26日 展覧会紹介記事

毎日新聞7月5日 展覧会紹介記事

山陰中央新報7月13日 展覧会紹介記事

読売新聞7月13日 展覧会紹介記事

いわみりびえーる7月14日 展覧会紹介記事

読売新聞7月14日 左近充 直美 作品紹介記事

中国新聞7月15日 展覧会紹介記事

読売新聞7月17日 左近充 直美 作品紹介記事

読売新聞7月24日 左近充 直美 作品紹介記事

読売新聞7月25日 左近充 直美 作品紹介記事

中国新聞7月27日 高橋 一清 あの人の言葉「洋画家 猪熊弦一郎さん」

読売新聞7月30日 左近充 直美 作品紹介記事

美じょん新報8月1日 展覧会紹介記事

読売新聞8月4日 展覧会紹介記事

山陰中央新報8月17日 展覧会紹介記事

山陰中央新報8月23日 展覧会紹介記事



会場



スペシャル・ギャラリートーク



夏休みワークショップ



ギャラリートーク

印刷物

展覧会ポスター：B2

展覧会チラシ：A4

「いのくまさん」展を楽しむジュニアガイド：A5巻三つ折

先行告知ツール：うちわ型DM(直径20cmの円形)

ふたつ見て、もらおう。「カラフルでにぎやかな夏」台紙：名刺サイズ

(デザイン：以上すべて柏村印刷)

夏の関連プログラムチラシ(ホール事業との共同チラシ)：21cm×21cm

関連事業

スペシャル・ギャラリートーク

講師：古野 華奈子(丸亀市猪熊弦一郎現代美術館学芸員)

日時：7月13日(土)14:00～15:00

会場：展示室D、C

参加者：31名

夏休みワークショップ「いのくまさんの対話彫刻をつくろう」

講師：宇川 亜澄(丸亀市猪熊弦一郎現代美術館学芸員)

日時：8月24日(土)14:00～16:00

会場：講義室

参加者：37名

「ぬりえをしよう」

ロビーにいのくまさんの絵のぬりえコーナーを設置し、来館者に楽しんでもらった。

会場：美術館ロビー(会期中)

参加者：多数

しまび×グラントワ カラフルでにぎやかな夏「ふたつ見て、もらおう。」

島根県立美術館の「小倉遊亀と院展の画家たち展 滋賀県立近代美術館所蔵品による」と当館の企画展の両方を鑑賞した方に、両館でそれぞれ異なるプレゼントを用意し、集客をはかった。

期間：6月28日(金)～8月26日(月)

参加者：190名(当館のみ)

ギャラリートーク

日時：7月20日(土)、8月4日(日)、8月18日(日)、9月1日(日) いずれも14:00～

会場：展示室D、C

グラントワ tea ガーデン「いのくま^ま茶ん」

いのくまさんの好きなものと、香川県特産のキウイを使った飲み物を提供した。

日時：7月28日(日)11:00～14:00

会場：美術館ロビー

参加者：101名

いつでもどこでも音楽祭「いのくまさんが過ごしたパリの音楽」

出演者：小暮 浩史(クラシックギタリスト)

日時：8月23日(金)18:00～

会場：美術館ロビー

参加者：80名

先着プレゼント

会期中毎日、先着20名に展覧会オリジナル「クリアファイル」をプレゼントした。

企画展 星とめぐる美術 10の天体がいざなう現代美術



ポスター



会場



会場

展覧会名：企画展 星とめぐる美術 10の天体がいざなう現代美術

会 期：令和元年9月14日(土)～11月18日(月)

休 館 日：毎週火曜日(10月22日は開館)、10月23日

観 覧 料：当日券 一般/1,000(800)円、企画・コレクション展セット1,150(920)円
 大学生/600(450)円、企画・コレクション展セット700(530)円
 小中高生/300(250)円、企画・コレクション展セット300(250)円

前売券[企画・コレクション展セット]

一般/900円、大学生/500円、小中高生/200円

* ()内は20名以上の団体料金

* 小中高生の学校利用は入場無料

* 各種障がい者手帳、被爆者健康手帳保持者および介助者(1名まで)は入場無料

主 催：島根県立石見美術館、しまね文化振興財団、中国新聞社、日本海テレビ

特別協力：豊田市美術館

後 援：芸術文化とふれあう協議会

内 容

作家の思考や時代のムードが反映される美術作品と、星の動きや配置によって世界を把握し説明しようとする占星術は、ともに人間の性質や社会の動きに焦点を当てて成り立つもの。本展ではそうした共通点に注目し、美術作品を占星術で用いられる10天体の性質と結びつけて紹介した。

豊田市美術館の全面的な協力により実現したこの企画は、当館では開館以来初めてとなる現代美術のみで構成する展覧会ともなった。

新聞、雑誌掲載

中国新聞9月14日 展覧会紹介記事

山陰中央新報9月15日 展覧会紹介記事

中国新聞 9月23日 廣田 理紗 作品紹介記事

中国新聞 9月24日 廣田 理紗 作品紹介記事

中国新聞 9月25日 菊屋 典子 作品紹介記事

中国新聞 9月27日 廣田 理紗 作品紹介記事

中国新聞 9月28日 廣田 理紗 作品紹介記事

中国新聞10月 4日 展覧会紹介記事

毎日新聞10月 5日 展覧会紹介記事

読売新聞10月 6日 展覧会紹介記事

朝日新聞10月19日 展覧会紹介記事

山陰中央新報11月18日 1万人達成 取材記事

中国新聞11月18日 1万人達成 取材記事

印 刷 物

先行告知カード：12cm角 5種

展覧会ポスター：B2

展覧会チラシ：A3見開き

子どものための鑑賞ガイド：15cm角 蛇腹折り、6p

展覧会図録：22cm角、12冊(各章毎の図版冊子とテキスト冊子2冊)をファイリング
 (デザイン：以上すべて野村デザイン制作室)



会場



美術館ロビー



美術講座



ギャラリートーク

関連事業

Museum×Theater：ミュージシアvol.10

ライブ・パフォーマンス「天球の庭」

出演：Chu makino(ヴォイス)、佐藤 公哉(ヴィオラ、ハルモニウム)、歌島 昌智(ピアノ、パーカッション)、國方 暢乃介(ベース)、伊東 歌織(ダンス)

日時：9月23日(月・祝)19:00～

会場：美術館ロビー

鑑賞者：50名

※詳細は「ミュージシア(33ページ)」に記載

開館記念感謝祭 きんさいデー

開館記念日に行う全館あがてのイベント。美術館は終日無料開放。ギャラリートークとスタンブラリーも実施。

日時：10月6日(日)終日

総入館者：2,936名

美術講座「若林奮の彫刻：初期作品と表面の探求」

本展出品作品のひとつ、若林奮《立体ノート》について、所蔵館である豊田市美術館学芸員にお話をいただいた。

日時：10月13日(日)10:30～12:00

講師：北谷 正雄(豊田市美術館チーフキュレーター)

会場：講義室

聴講者：12名

ギャラリートーク

日時：9月15日(日)、10月6日(日)、26日(土)、11月16日(土)いずれも14:00～

会場：展示室D、C

グラントワ tea ガーデン^{さく}「朔茶」

新月にちなみ、心と体をリセットする香り高いお茶を提供した。

日時：9月29日(土)、10月27日(日)各日11:00～

会場：美術館ロビー

参加者：169名

プレゼント企画「輝く月と歩こう!」

会期中3回ある満月の日に、月をモチーフにしたオリジナル缶バッジをプレゼントした。

日時：9月14日(土)、10月14日(月・祝)、11月10日(日)各日10:00～

参加者：293名

敬老週間

年内に65歳以上になる方を対象に、下記の期間美術館観覧料を無料とした。

期間：9月14日(土)～23日(月・祝)

観覧者：372名

企画展 富野由悠季の世界

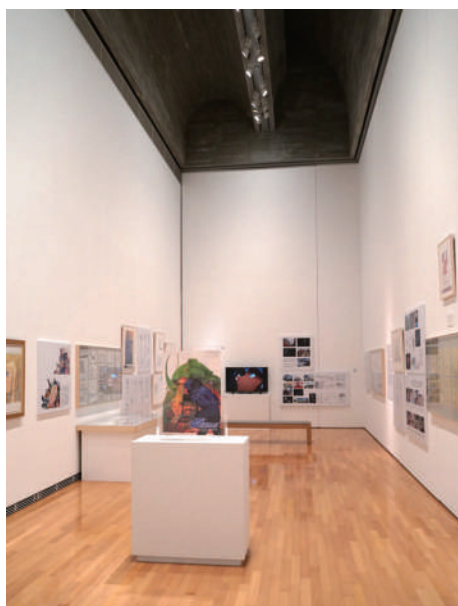


ポスター

©手塚プロダクション・東北新社 ©東北新社 ©サンライズ ©創通・サンライズ ©サンライズ・バンダイビジュアル・バンダイチャンネル ©SUNRISE・BV・WOWOW ©オフィス アイ



会場



会場

展覧会名：企画展 富野由悠季の世界

会 期：令和元年1月11日(土)～3月23日(月)

休 館 日：毎週火曜日、12月28日～1月1日

観 覧 料：当日券 一般/1,000(800)円、企画・コレクション展セット1,150(920)円
 大学生/600(450)円、企画・コレクション展セット700(530)円
 小中高生/300(250)円、企画・コレクション展セット300(250)円

前売券[企画・コレクション展セット]

一般/900円、大学生/500円、小中学生/200円

* ()内は20名以上の団体料金

* 小中高生の学校利用は入場無料

* 各種障がい者手帳、被爆者健康手帳保持者および介助者(1名までは入場無料)

主 催：島根県立石見美術館、しまね文化振興財団、BSS山陰放送、中国新聞社

後 援：芸術文化とふれあう協議会

企画協力：神戸新聞社

協 力：サンライズ、東北新社、手塚プロダクション、日本アニメーション、オフィス アイ

協 賛：ツクロ

内 容

日本を代表するアニメーション監督、富野由悠季の55年にわたる活動を回顧した初めての展覧会。幼少期に描いた絵や学生時代の自主制作映画にはじまり、初演出作品『鉄腕アトム』、初監督作品『海のトリトン』から、代表作『機動戦士ガンダム』シリーズのほか、『伝説巨神イデオン』などのテレビシリーズおよび劇場公開作品、最新作『Gのレコンギスタ』までを紹介した。富野の手による設定ラフやイメージボード、絵コンテなどを中心に、彼の仕事を支えたクリエイター陣によるキャラクターやメカの設定画、イラスト原画も紹介。アニメーションの展覧会であるため多数のモニターを設置し、紹介作品の映像も上映した。

本展は、福岡市美術館、兵庫県立美術館、静岡県立美術館、富山県美術館、青森県立美術館、そして当館の6つの美術館の学芸員が資料調査を行い、それぞれの視点で富野作品を分析・紹介した。この点が従来のアニメーション展とは一線を画すものと評価され、「美連協大賞優秀カタログ賞」を受賞した。

また、偶然同じ年に開催された「高畑勲展」(東京国立近代美術館ほか)と共に、自らは絵を描かない演出家、監督の仕事を検証した展覧会の開催によってアニメーション研究に一石を投じたとして、「日本アニメーション学会賞2020特別賞」を受賞した。

本展は6館の巡回展であるが、会場ごとに特色ある展示も試みた。当館では、「井荻麟」名義で書かれた主題歌等の作詞原稿や、石見在住のメカデザイナー・山根公利のメカ設定画の特別出品を行った。展示室外では、美術館ロビー天井へのメカのシルエット投影、模型店・ツクロと地域の愛好家たちによるプラモデルの展示といった演出のほか、地域の飲食店や萩・石見空港とのタイアップ事業を行った。来場者からはSNS等で「地域をあげて富野展を盛り上げている」といった感想が多数寄せられた。

新聞、雑誌掲載

中国新聞4月24日 記者発表取材記事

朝日新聞6月25日 小原 篤「描かない巨匠の演出 美術館どう見せる？」

西日本新聞7月20～24日 7学芸員インタビュー記事

『月刊ガンダムエース』9月号 福岡会場開幕取材記事 富野監督インタビュー
 五十嵐 浩司「その目で“トミノロジー”を体感せよ!!」

朝日新聞1月10日 展覧会告知記事

中国新聞1月11日 展覧会開幕取材記事

山陰中央新報1月11日 展覧会開幕取材記事

中国新聞1月12日 開幕記念対談取材記事

朝日新聞1月12日 展覧会開幕・開幕記念対談取材記事

山陰中央新報1月12日 展覧会開幕取材記事

朝日新聞1月19日 小野 孝司「地方がタッグ 巨匠を解剖」

中国新聞1月25日 富野由悠季監督取材記事

中国新聞2月4日～8日 川西 由里 作品紹介連載記事

中国新聞2月25日 「井荻麟の世界」取材記事

朝日新聞3月2日 山根公利氏取材記事

中国新聞3月21日 1万人達成セレモニー取材記事

読売新聞4月3日 美連協大賞優秀カタログ賞受賞 取材記事



映像インスタレーション 八嶋有司《この世界を風景の-Dive》



島根会場特別展示 山根公利によるメカ設定画



美術館ロビー天井への投影

『月刊モデルグラフィックス』2月号 島根会場概要・イベント紹介
『月刊ガンダムエース』3月号 島根会場開幕取材記事

印刷物

展覧会ポスター：B2
展覧会チラシ：A4変形
子どものための鑑賞ガイド：A5巻三つ折
(デザイン：以上すべて植松 久典)
展覧会図録：キネマ旬報社発行

関連事業

開幕記念イベント「元気のGはグラントワのG! 富野由悠季×山根公利、島根で語る」

『OVERMAN キングゲイナー』、『Gのレコンギスタ』等に参加した島根県在住のメカデザイナー・山根公利氏が、富野由悠季監督と対談。メカデザイン談義のほか、島根の「地力」についても話が及び、地方での暮らしとクリエイションとの関係も語られた。

日 時：1月11日(土)14:00～15:30

会 場：小ホール

参加者：301名

Museum×Theater：ミュージア vol.11

トークショー & ライブ「井荻麟の世界」

出 演：富野 由悠季、藤津 亮太(アニメ評論家)、MIQ (歌手)、奥井 亜紀(シンガーソングライター)

日 時：2月24日(月・祝)14:00～16:00

会 場：小ホール

参加者：320名

※詳細は「ミュージア(34ページ)」に記載

プラモデル制作実演「ガンプラをカッコよく仕上げよう!」

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

講 師：NAOKI(モデラー)、マスクド13(モデラー)

日 時：3月7日(土)11:00～16:30、3月8日(日)11:00～15:00

会 場：美術館ロビー

協 力：ガイアノーツ

Museum×Theater：ミュージア vol.12

劇場版『GのレコンギスタI』「行け!コアファイター」特別上映会&富野由悠季監督によるアフタートーク

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

日 時：3月15日(日)13:00～16:00

会 場：小ホール

ギャラリートーク

日 時：マイルドコース(学芸員による初心者向けガイドツアー)1月19日(日)、2月16日(日)

ディープコース(参加型おしゃべりツアー)2月2日(日)、3月22日(日)

いずれも14:00～

※3月22日の回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

会 場：展示室D、C



開幕記念イベント

グラントワ tea ガーデン「友チョコ茶」

日時：2月9日(日)11:00～14:00

会場：美術館ロビー

参加者：100名

島根会場限定グッズプレゼント

A 萩・石見空港利用でプレゼント

羽田～萩・石見の飛行機搭乗券と本展観覧券又は半券を提示の方にオリジナルコースターAをプレゼント

利用者：のべ128名

B 石見グルメでプレゼント

展覧会入場時に受け取った引換券を参加飲食店に持参された方にオリジナルコースターBをプレゼント

参加飲食店：37店舗、引換枚数：1,729枚

萩・石見空港利用者限定!

島根県立石見美術館「企画展 富野由悠季の世界」記念イベント

萩・石見空港利用促進対策室との連携事業。限定20名の募集に108名の応募があった。参加特典は、富野監督との記念撮影ならびに直筆サイン、開会式・内覧会への出席、萩・石見ぶらり手形、神楽めしクーポン。参加者の満足度は高く、SNSで島根会場のPRを盛んにしていただいた。

特別展

展示室A 特別展 益田氏VS吉見氏—石見の戦国時代—

会 期：令和元年9月5日(木)～11月4日(月・祝)

I期：9月5日(木)～9月16日(月・祝)

II期：9月18日(水)～10月7日(月)

III期：10月9日(水)～11月4日(月・祝)

内 容：室町時代から戦国時代にかけて、益田を拠点としていた益田氏と津和野を拠点としていた吉見氏との対立関係について、古文書、考古資料、美術工芸品など総数45点を通して紹介した。展示内容には、2018年度東京大学史料編纂所一般共同研究として実施した「中世石見国高津川流域の史料調査と研究」(研究代表：中司 健一)の成果を取り入れた。

出品リスト

No.	名称	作者等	員数	材質・技法	時代・制作年	指定	所有者	展示期間		
								I	II	III
プロローグ それぞれの出自										
1	御神本国兼像		1幅	紙本著色			益田市立雪舟の郷記念館	○	○	○
I 両雄の激突										
2	室町幕府御教書		1通	紙本墨書	室町時代 応永29年(1422)		東京大学史料編纂所	○		
3	吉見頼弘契約状		1通	紙本墨書	室町時代 応永32年(1425)		東京大学史料編纂所		○	
4	吉見家貞書状		1通	紙本墨書	室町時代 応永30年(1423)		東京大学史料編纂所		○	
5	益田兼理請文案		1通	紙本墨書	室町時代 応永30年(1423)		東京大学史料編纂所			○
6	益田兼理請文案(土代)		1通	紙本墨書	室町時代 応永30年(1423)		東京大学史料編纂所			○
7	大内氏重臣連署注進状案		1通	紙本墨書	室町時代 文明3年(1471)		東京大学史料編纂所			○
8	陶弘護起請文		1通	紙本墨書	室町時代 文明4年(1472)		東京大学史料編纂所	○		
9	陶氏老臣連署起請文		1通	紙本墨書	室町時代 文明4年(1472)		東京大学史料編纂所	○		
10	陶隆房(晴賢)書状		1通	紙本墨書	戦国時代 天文20年(1551)		益田市立雪舟の郷記念館	○	○	
11	陶隆房(晴賢)書状		1通	紙本墨書	戦国時代 天文20年(1551)		益田市立雪舟の郷記念館			○
12	毛利元就書状		1通	紙本墨書	戦国時代 天文22年(1553)		島根県立古代出雲歴史博物館	○	○	○
13	寺戸兼勝書状写		1冊	紙本墨書 (影写)	戦国時代 天文23年(1554)		東京大学史料編纂所	○		
14	寺戸兼勝書状写		1冊	紙本墨書	戦国時代 天文23年(1554)		山口県文書館		○	
15	豊田豊熊丸外二名連署言上状案		1通	紙本墨書	戦国時代 永正4年(1507)	重要文化財	毛利博物館			○
16	毛利元就書状		1通	紙本墨書	戦国時代 弘治2年(1556)	重要文化財	毛利博物館	○		
17	毛利元就書状写		1冊	紙本墨書	戦国時代 弘治2年(1556)		山口県文書館		○	
18	毛利元就書状写		1冊	紙本墨書	戦国時代 弘治3年(1557)		山口県文書館			○
19	吉見正頼宛行状		1通	紙本墨書	戦国時代 弘治3年(1557)		平生町立平生図書館	○	○	
20	吉見正頼宛行状		1通	紙本墨書	戦国時代 弘治3年(1557)	萩市指定文化財	萩市・大井八幡宮(萩博物館寄託)			○
21	吉見氏奉行人連署奉書写		1通	紙本墨書	戦国時代 元亀元年(1570)	萩市指定文化財	萩市・大井八幡宮(萩博物館寄託)	○	○	
22	吉見氏奉行人連署状写		1通	紙本墨書	戦国時代 元亀元年(1570)	萩市指定文化財	萩市・大井八幡宮(萩博物館寄託)			○
23	来島宗連・中屋頼民連署状		1通	紙本墨書	戦国時代 永禄5年(1562)		東京大学史料編纂所	○		
24	益田藤兼感状		1通	紙本墨書	戦国時代 永禄5年(1562)		個人(山口県文書館寄託)		○	
25	内藤隆世書状		1通	紙本墨書	戦国時代 弘治2年(1556)		個人(山口県文書館寄託)			○
II 石西に咲いた室町文化										
26	文殊普賢像	伝秋月 等観	2幅	紙本墨画淡彩	室町～江戸時代前期 16世紀～17世紀		津和野町・永明寺	○	○	○

No.	名称	作者等	員数	材質・技法	時代・制作年	指定	所有者	展示期間		
								I	II	III
27	仏涅槃図	伝北殿司	1幅	絹本着色	室町～江戸時代前期 16世紀～17世紀		津和野町・永明寺	○	○	○
28	長次(吉見広長か)覚書状写		1冊	紙本墨書	江戸時代初期 17世紀		平生町立平生図書館	○	○	○
29	源氏物語 大島本(桐壺・関屋・手習)	桐壺：聖護院 道増/筆関屋・手習：飛鳥井 雅康/筆	3冊(53冊のうち)	紙本墨書	室町時代桐壺：永禄7年(1564) 関屋・手習：文明13年(1481)	重要文化財	公益財団法人古代学協会(京都府京都文化博物館寄託)	○	○	
30	源氏物語 大島本(帚木・空蝉・夢浮橋)	帚木・空蝉：飛鳥井 雅康/筆夢浮橋：聖護院 道澄/筆	3冊(53冊のうち)	紙本墨書	室町時代帚木・空蝉：文明13年(1481) 夢浮橋：永禄7年(1564)	重要文化財	公益財団法人古代学協会(京都府京都文化博物館寄託)			○
31	阿弥陀三尊像		3軀	木造 一部彩色	室町時代 文明14年(1482)		益田市・上黒谷八幡宮	○	○	○
Ⅲ 東アジア・日本海交易へのまなざし										
32	七尾城跡出土品		19点		戦国時代 15世紀～16世紀		益田市教育委員会	○	○	○
33	木蘭遺跡出土品		4点		鎌倉時代 13世紀～14世紀		津和野町教育委員会	○	○	○
34	喜時雨遺跡出土品		69点		鎌倉時代～江戸時代初期 13世紀～17世紀		津和野町教育委員会	○	○	○
35	陶製経筒		5口		平安時代後期 12世紀	島根県指定文化財	益田市・豊田神社(島根県立古代出雲歴史博物館寄託)	○	○	○
36	華南三彩貼花文五耳壺		1口		明代 16世紀後半～17世紀前半		益田市・萬福寺	○	○	○
37	祥兼(益田兼見)讓状		1通	紙本墨書	南北朝時代 永徳3年(1383)		東京大学史料編纂所	○		
38	益田藤兼書状(杵築別火氏宛)		1通	紙本墨書	戦国時代 1560年代前半頃	益田市指定文化財	益田市立雪舟の郷記念館	○		
39	吉見氏老臣連署契約状		1通	紙本墨書	戦国時代 享禄3年(1530)		東京大学史料編纂所		○	
40	松浦隆信書状写		1冊	紙本墨書	戦国時代 永禄初年(1560年頃)		個人(山口県文書館寄託)			○
41	劉雲軒了栄書状		1通	紙本墨書	戦国時代 永禄12年(1569)		横浜市立大学			○
エピソード 近世への移行										
42	吉見広長起請文		1通	紙本墨書	安土桃山時代 1590年代		個人	○	○	○
43	益田元祥書状		1通	紙本墨書	安土桃山時代 慶長4年(1599)	重要文化財	毛利博物館	○	○	
44	益田元祥奉公覚書案		1通	紙本墨書	江戸時代前期 17世紀後半		東京大学史料編纂所			○
45	奔馬図	長八海	1面	板絵金地著色	江戸時代後期 文久元年(1861)		萩市・大井八幡宮	○	○	○

印刷物

- 展示会チラシ：A4
(デザイン：野村デザイン制作室)
- 小冊子(展示ガイド)：A4、20頁
- 作品リスト・翻刻文掲載冊子：A4、8頁

関連事業

Museum×Theater ミュージア vol.9「よみがえる戦国の宴 其之五」

- 日時：9月14日(土)12:45開場/13:00開演
- 会場：グラントワ 多目的ギャラリー・展示室A
- ※詳細は「ミュージア(32ページ)」に記載

特別講座「益田氏VS 吉見氏—戦国の両雄激突—」

- 講師：中司 健一(益田市文化財課 歴史文化研究センター)
- 日時：10月12日(土)10:00～11:30
- 会場：グラントワ スタジオ1
- 共催：石西の文化を学ぶれんげ草の会
- 参加者数：90名



チラシ

関連バスツアー

益田氏と吉見氏に関する寺社や遺跡などをめぐるバスツアーを2回行った。

日時：9月7日(土)、10月13日(日)

主催：石西の文化を学ぶれんげ草の会

参加者数：1回目28名、2回目22名

ギャラリートーク

講師：当館学芸員、中司 健一(益田市文化財課 歴史文化研究センター)

日時：9月22日(日)、10月19日(土)、11月4日(月・祝)いずれも14:00～

会場：展示室A

新聞掲載

山陰中央新報7月25日 中世益田観光振興取材記事、展覧会紹介記事

中国新聞8月31日 中世益田観光振興取材記事、展覧会紹介記事

山陰中央新報9月6日 展覧会紹介記事

中国新聞9月10日 展覧会紹介記事

毎日新聞9月12日 展覧会紹介記事

読売新聞9月17日 展覧会紹介記事

山陰中央新報9月27日 関連事業記事

中国新聞10月3日 「武将カード」取材記事

山陰中央新報10月17日 関連事業取材記事

展示室A 特別展 赤い服/白い服

会 期：令和元年12月18日(水)～令和2年2月3日(月)

内 容：赤と白、二つの色に注目し、衣服について考える展覧会。東京オリンピックのユニフォームをはじめ、様々なスポーツウェア、森英恵やクリスチャン・ディオールが手がけたドレス、ドレスが描かれた版画作品などを通し、衣服における赤と白の意味や効果について考えた。「ファッションインジャパン1945-2020」展のキックオフイベントでもあり、「日本博」参画プロジェクトの一つとして開催した。

出品リスト

番号	作家・デザイナー・著者名	作品名	レーベル・発行・制作	材質・技法	制作年(西暦)	所蔵
参考	撮影者不明	東京オリンピック開会式の様子			1964年	浜田市立原井小学校
参考	撮影者不明	東京オリンピックの日本選手団(入賞以上)			1964年	湯里まちづくりセンター
1		東京オリンピック日本選手団 ウォームアップスーツ	美津濃/オリンピック東京大会組織委員会	赤を基調としたセットアップの運動着、トップスは肩線と脇線に、ボトムスは脇線に白いライン 胸に白いフェルトでNIPPONのアップリケ	1964年	浜田市立原井小学校
2	望月 靖之	東京オリンピック日本選手団デレゲーションユニフォーム 男子	ジャパンスポーツウェアクラブ/オリンピック東京大会組織委員会	赤の三つボタンのシングルジャケット 白スラックス 毛100%の布地は大同毛織株式会社による	1964年	湯里まちづくりセンター
参考		東京オリンピック日本選手団デレゲーションユニフォーム 箱	オリンピック東京大会組織委員会		1964年	島根県立浜田高等学校
3		アントワープオリンピック日本選手団アウター	SPALDING	ローゲージ(太番手)の毛糸のニットジャケット 貝ボタン ショールカラー、前身頃にポケット	1920年	公益財団法人島根県体育協会
4		第3回アジア競技大会開会式ユニフォーム(ジャケット) 男子	TOKYO KANDA SANSEIDO	白の三つボタンジャケット、赤でパイピング ボタンは真鍮 胸ポケットに日の丸のアップリケ	1958年	浜田市立原井小学校
5		ローマオリンピック 体操日本選手団 トレーニングウェア 男子	Mizuno	赤と白を基調としたセットアップの運動着 トップは身頃が赤、ラグランスリーブの袖は白 胸にフェルトでNIPPONのアップリケ	1960年	島根県立浜田高等学校
6		ロサンゼルスオリンピック日本選手団 公式ユニフォーム 男子	Seibu Department store	赤い二つボタンジャケット ボタンには五輪のマーク入り ベージュのパンツ	1984年	公益財団法人島根県体育協会
7		広島東洋カープユニフォーム	Mizuno	袖と首元が赤、その他はグレーのアンダーシャツ 赤いピストライプのシャツ、胸もとにワッペン シャツと同柄のパンツ 赤のベルト	2002年	公益財団法人島根県体育協会
8		ロンドンオリンピック テニス 日本選手 男子 ユニフォーム	ユニクロ	赤のポロシャツ、白のショートパンツ	2012年	公益財団法人島根県体育協会
9	クリスチャン・ディオール	ディナー・ドレス [カラカス]	ディオール	バラのプリント地の絹シフォン パフ・スリーブ 巻きスカート	1953年	島根県立石見美術館
10	チャールズ・ジェームス	ディナー・ドレス [スパイラルドレス]	チャールズ・ジェームス	ルビー・レッドの絹ファイユ スカートにみるみ釦、ファスナー	1951年	島根県立石見美術館
11	マドレーヌ・ヴィオネ	ディ・ドレス	ヴィオネ	赤緋色のクレープ ワンピース・ドレス バイアス・カット	1934年頃	島根県立石見美術館
12	森 英恵	イブニングコート、ドレス	Hanae Mori	帯地風に仕立てた西陣織のイブニングコート 赤と白の絹サテンのロングドレス 赤い絹サテンのベルト	1968年	島根県立石見美術館
13		ペーパー・ドレス [スパーードレス]		「キャンベル・スープ」缶のプリントを施したセルロースと綿の不織布	1966年頃	島根県立石見美術館
14	アンドレ・クレージュ	イブニング・ドレス	クレージュ	白いウール地のワンピース・ドレス 裏地は白い絹	1970年頃	島根県立石見美術館
15		テニス・ウェア		白色綿 Vネック、ノースリーブ、肩2本ダーツ	1926年頃	島根県立石見美術館
16	ジャン=フィリップ・ウォルト	ウェディング・ドレス	ウォルト	さまざまな種類のブリュッセルレースを組み合わせたドレス	1916年	島根県立石見美術館
17	フランシスコ・ジャヴィエール・ゴゼ	バラの中のバラ レドファンのガーデン・パーティーのためのドレス『ガゼット・デュ・ボン・トン』より		ポショワール、紙	1913年	島根県立石見美術館
18	ロベール・ダミー	バラの衣装 ドューセのガーデン・パーティーのためのドレス『ガゼット・デュ・ボン・トン』より		ポショワール、紙	1913年	島根県立石見美術館
19	マギー・サルセド	古代の鏡 パキャンの夜会服『ガゼット・デュ・ボン・トン』より		ポショワール、紙	1913年	島根県立石見美術館

番号	作家・デザイナー・著者名	作品名	レーベル・発行・制作	材質・技法	制作年 (西暦)	所蔵
20	ジョルジュ・ルバップ	赤紫色のコート ポール・ボワレの夜会用コート 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より		ポショワール、紙	1914年	島根県立 石見美術館
21	ジョルジュ・バルビエ	朝の2時間 ウォルトのコート『ガゼット・デュ・ボン・トン』より		ポショワール、紙	1923年	島根県立 石見美術館
22	ジョルジュ・バルビエ	血 ウォルトの夜会服『ガゼット・デュ・ボン・トン』より		ポショワール、紙	1923年	島根県立 石見美術館
23	J.V.ブロック	赤ぎつねの毛皮で縁取った赤いデュベティンのテーラード・スーツ『ジュルナル・デ・ダーム・エ・デ・モード』より		ポショワール、紙	1913年	島根県立 石見美術館
24	J.V.ブロック	ひだ飾り付きのローブ、白テンの装い『ジュルナル・デ・ダーム・エ・デ・モード』より		ポショワール、紙	1914年	島根県立 石見美術館
25	シャルル・マルタン	クレーブ・デ・シンのシース・スカート、刺しゅうをしたサテンのベストに寒冷紗の肩掛け『ジュルナル・デ・ダーム・エ・デ・モード』より		ポショワール、紙	1913年	島根県立 石見美術館
26	J.V.ブロック	ひだ飾り付きのローブ『ジュルナル・デ・ダーム・エ・デ・モード』より		ポショワール、紙	1913年	島根県立 石見美術館
27	ピエール・プリソー	おやつに帰しましょうよ ジャンヌ・ランバンのテーラード・スーツと子ども服『ガゼット・デュ・ボン・トン』より		ポショワール、紙	1920年	島根県立 石見美術館
28	ジョルジュ・バルビエ	ローズ色の刺しゅうで縁取りした白いラシャのローブ、鍵編みのバラのベルト『ジュルナル・デ・ダーム・エ・デ・モード』より		ポショワール、紙	1912年	島根県立 石見美術館
29	mfn	ネンスークのローブ『ジュルナル・デ・ダーム・エ・デ・モード』より		ポショワール、紙	1914年	島根県立 石見美術館
30	アルマンド・ヴァレ	花嫁『ジュルナル・デ・ダーム・エ・デ・モード』より		ポショワール、紙	1913年	島根県立 石見美術館
31	ジョルジュ・バルビエ	パールで飾った白いベルベットのマントー、白いローブ、ローズ色の短靴『ジュルナル・デ・ダーム・エ・デ・モード』より		ポショワール、紙	1913年	島根県立 石見美術館
32	ベルナード＝ブテ・ド・モンヴェル	漆の箆筒 ウォルトの夜会服『ガゼット・デュ・ボン・トン』より		ポショワール、紙	1914年	島根県立 石見美術館
33	ピエール・プリソー	音楽の時間 シェリュイーのレセプション用ドレス『ガゼット・デュ・ボン・トン』より		ポショワール、紙	1913年	島根県立 石見美術館
34	ファビウス	ソフォニスバ ウォルトの夫人のための衣装プロジェクト『ガゼット・デュ・ボン・トン』より		ポショワール、紙	1914年	島根県立 石見美術館
35	フランシスコ・ジャヴィエール・ゴゼ	白と黒 レドファンの劇場のためのマントー『ガゼット・デュ・ボン・トン』より		ポショワール、紙	1912年	島根県立 石見美術館
36	ピエール・プリソー	隣の街へ ジャンヌ・ランバンのウェディング・ドレス『ガゼット・デュ・ボン・トン』より		ポショワール、紙	1921年	島根県立 石見美術館

番号	作家・デザイナー・著者名	作品名	レーベル・発行・制作	材質・技法	制作年 (西暦)	所蔵
37	ジョルジュ・ルパップ	結婚 ジャンヌ・ランパンの花嫁のためのドレスと花嫁介添人のドレス『ガゼット・デュ・ボン・トン』より		ポシヨワール、紙	1924年	島根県立石見美術館

印刷物

展覧会チラシ：A5
(デザイン：野村デザイン制作室)

関連事業

グラントワ tea ガーデン「福茶」

お正月に合わせ、金粉入りの梅昆布茶を提供した
日 時：1月2日(木)11:00～
会 場：美術館ロビー

新聞掲載

織研新聞12月10日 展覧会紹介記事
山陰中央新報1月11日 展覧会紹介記事
『そめとおり』新春号 令和2年1月1日 展覧会紹介記事



チラシ

展示室A 大下藤次郎の水彩画

会 期：令和元年4月10日(水)～5月20日(月)

内 容：大下藤次郎の水彩画作品と資料を展示。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	大下 藤次郎	多摩川上流	明治29年(1896)	水彩、紙	島根県立石見美術館
2	大下 藤次郎	小丹波	明治29年(1896)	水彩、紙	島根県立石見美術館
3	大下 藤次郎	白丸	明治29年(1896)	水彩、紙	島根県立石見美術館
4	大下 藤次郎	清水寺	明治29年(1896)	水彩、紙	島根県立石見美術館
5	大下 藤次郎	仁和寺三門	明治29年(1896)	水彩、紙	島根県立石見美術館
6	大下 藤次郎	仁和寺五重塔	明治29年(1896)	水彩、紙	島根県立石見美術館
7	大下 藤次郎	京都近郊の所見	明治28年(1895)	水彩、紙	島根県立石見美術館
8	大下 藤次郎	京都途上所見	明治28年(1895)	鉛筆、紙	島根県立石見美術館
9	大下 藤次郎	天真院	明治29年(1896)	水彩、紙	島根県立石見美術館
10	大下 藤次郎	賀茂	明治29年(1896)	水彩、紙	島根県立石見美術館
11	大下 藤次郎	富士を望む	明治30年(1897)	水彩、紙	島根県立石見美術館
12	大下 藤次郎	富士山	制作年不詳	水彩、紙	島根県立石見美術館
13	大下 藤次郎	富士を望む	明治42年(1909)	水彩、紙	島根県立石見美術館
14	大下 藤次郎	モートン岬、クイーンズランド	明治31年(1898)	水彩、紙	島根県立石見美術館
15	大下 藤次郎	サンドゲート、クイーンズランド	明治31年(1898)	水彩、紙	島根県立石見美術館
16	大下 藤次郎	プリズバーン河	明治31年(1898)	水彩、紙	島根県立石見美術館
17	大下 藤次郎	メルボルン港	明治31年(1898)	水彩、紙	島根県立石見美術館
18	大下 藤次郎	ロイヤルパーク、メルボルン	明治31年(1898)	水彩、紙	島根県立石見美術館
19	大下 藤次郎	シドニー	明治31年(1898)	水彩、紙	島根県立石見美術館
20	大下 藤次郎	シドニー、N.S.W.	明治31年(1898)	水彩、紙	島根県立石見美術館
21	大下 藤次郎	シドニー、サーキュラーキー	明治31年(1898)	水彩、紙	島根県立石見美術館
22	大下 藤次郎	サウスヘッド、シドニー	明治31年(1898)	水彩、紙	島根県立石見美術館
23	大下 藤次郎	赤道直下にて	明治31年(1898)	水彩、紙	島根県立石見美術館
24	大下 藤次郎	西山峠	明治42年(1909)	水彩、紙	島根県立石見美術館
25	大下 藤次郎	甲州駒ヶ岳	明治40年(1907)	水彩、紙	島根県立石見美術館
26	大下 藤次郎	山の眺め	制作年不詳	水彩、紙	島根県立石見美術館
27	大下 藤次郎	朝	制作年不詳	水彩、紙	島根県立石見美術館
28	大下 藤次郎	初夏	明治40～44年(1907～11)頃	水彩、紙	島根県立石見美術館
29	大下 藤次郎	木立	明治37年(1904)	水彩、紙	島根県立石見美術館
30	大下 藤次郎	山間の道	制作年不詳	水彩、紙	島根県立石見美術館
31	大下 藤次郎	高原	明治40～44年(1907～11)頃	水彩、紙	島根県立石見美術館
32	大下 藤次郎	山上の眺め	明治41年(1908)	水彩、紙	島根県立石見美術館
33	大下 藤次郎	徳本小屋のほとり	明治40～44年(1907～11)頃	水彩、紙	島根県立石見美術館
34	大下 藤次郎	残雪	明治40年(1907)頃	水彩、紙	島根県立石見美術館
35	大下 藤次郎	穂高山の残雪	明治40年(1907)頃	水彩、紙	島根県立石見美術館
36	大下 藤次郎	猪苗代	明治40年(1907)頃	水彩、紙	島根県立石見美術館
37	大下 藤次郎	湖水を望む	明治40年(1907)頃	水彩、紙	島根県立石見美術館
38	大下 藤次郎	猪苗代	明治40年(1907)	水彩、紙	島根県立石見美術館
39	大下 藤次郎	湖上の雲	明治40年(1907)頃	水彩、紙	島根県立石見美術館
40	大下 藤次郎	猪苗代	明治39年(1906)	水彩、紙	島根県立石見美術館
41	大下 藤次郎	檜原湖の秋	明治40年(1907)	水彩、紙	島根県立石見美術館
42	大下 藤次郎	尾瀬沼絵はがき	明治41年(1908)	印刷絵はがき4枚組	島根県立石見美術館
43	大下 藤次郎	『水彩写生旅行』	明治44年(1911)	書籍	島根県立石見美術館
44	大下 藤次郎	絵日記	明治40年(1907)	鉛筆、紙	島根県立石見美術館
45	大下 藤次郎	絵日記	明治41年(1908)	鉛筆、紙	島根県立石見美術館

新聞掲載

毎日新聞4月19日 展覧会紹介記事
 中国新聞5月11日 展覧会紹介記事
 山陰中央新報5月15日 展覧会紹介記事

展示室A 水墨画を楽しむ

会 期：令和元年5月22日(水)～7月7日(日)

内 容：水墨画を形づくる二大要素「筆」(線の表現)と「墨」(面的表現)に着目しながら、当館の水墨画の作品を紹介した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	中林 竹洞	湖山清遠図	江戸時代後期 19世紀前半	絹本墨画、軸	島根県立石見美術館
2	山本 梅逸	山水図	江戸時代後期 19世紀前半	紙本墨画、軸	島根県立石見美術館
3	山本 栞谷	月下横臥図	江戸時代後期 万延元年(1860)	絹本墨画淡彩、軸	島根県立石見美術館
4	岡野 洞山	竹林七賢、商山四皓図屏風	江戸時代後期	紙本墨画淡彩、六曲一双	島根県立石見美術館
5	曾我 二直庵	鷺鷹図	江戸時代前期	紙本墨画、軸、対幅	島根県立石見美術館
6	山田 道安	芦雁図	室町時代後期～ 桃山時代 16世紀	紙本墨画、軸、対幅	島根県立石見美術館
7	尊俊	龍虎図	室町時代後期 16世紀中頃	紙本墨画、軸、対幅	島根県立石見美術館
8	狩野 栄信	富士三保清見寺図	江戸時代後期	絹本墨画、軸	島根県立石見美術館
9	啓孫	騎驢人物図	室町時代後期 16世紀中頃	紙本墨画、軸	島根県立石見美術館
10	周憲	達磨図	室町時代後期 16世紀前半	紙本墨画、軸	島根県立石見美術館
11	曾田 友栢	達磨図	桃山～江戸時代初め 16世紀後半～17世紀初め	紙本墨画、軸	島根県立石見美術館
12	近衛 信尹	渡唐天神図	桃山時代 16世紀後半～17世紀初め	紙本墨画、軸	島根県立石見美術館
13	円山 応挙	柿本人麿像	江戸時代中期 明和2年(1765)頃	紙本墨画、軸	島根県立石見美術館
14	西 晴雲	四季花木図	大正末期頃 20世紀初	紙本著色、軸	島根県立石見美術館

展示室A 森鷗外と帝国美術院の芸術家たち

会 期：令和元年7月10日(水)～9月2日(月)

内 容：森鷗外が初代院長をつとめた帝国美術院は、令和元(2019)年は、開設100周年をむかえた。これを機に、鷗外と共に帝国美術院に所属した芸術家の作品、および2019年に開催された帝国美術院展(帝展)の第1回出品作品を展示した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	富岡 鐵斎	江山招隠図	明治40年(1907)	絹本着色、一幅	島根県立石見美術館
2	和田 英作	風景	大正3年(1914)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
3	和田 英作	海神	大正7年(1918)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
4	藤島 武二	西洋婦人像	明治41～42年(1908～09)頃	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
5	岡田 三郎助	黒き帯	大正4年(1915)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
6	黒田 清輝	裸体	明治22年(1889)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
7	黒田 清輝	ポプラの黄葉	明治24年(1891)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
8	藤島 武二(装丁)	森鷗外訳『寂しき人々』	1911年	冊子	島根県立石見美術館
9	藤島 武二(装丁)	森鷗外訳『蛙』	1919年	冊子	島根県立石見美術館
10	中村 不折(装丁)	森鷗外訳『人の一生 飛行機』	1911年	冊子	島根県立石見美術館
11	和田 英作(挿画) 木下 奎太郎(装丁)	森鷗外訳『ギョッツ』	1916年	冊子	島根県立石見美術館

新聞掲載

毎日新聞7月19日 展覧会紹介記事

展示室A 雲谷派—雪舟を受け継ぐ

会 期：令和元年11月6日(水)～12月16日(月)

内 容：桃山時代から江戸時代にかけての約300年にわたって、室町時代の画僧・雪舟等楊に倣った画風で活躍した「雲谷派」について紹介した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	雲谷 等顔	山水人物花鳥図 押絵貼屏風	桃山時代～江戸時代初期	紙本墨画淡彩、六曲一双	島根県立石見美術館
2	雲谷派	耕作図屏風	桃山時代～江戸時代初期	紙本墨画淡彩、六曲一隻	島根県立石見美術館
3	雲谷派	四季山水図屏風	桃山時代～江戸時代初期	紙本墨画淡彩、八曲一双	島根県立石見美術館
4	雲谷 等益	山水図屏風	寛永(1624～45)中期頃	紙本墨画淡彩、六曲一双	島根県立石見美術館
5	雲谷 等的	観音山水図	江戸時代前期	絹本墨画淡彩、軸、三幅対	島根県立石見美術館
6	雲谷 等的	山水図	江戸時代前期	紙本墨画、軸	島根県立石見美術館
7	曾我 蕭白	楼閣山水図	江戸時代中期	紙本墨画、軸	島根県立石見美術館

展示室A 屏風の魅力

会 期：令和2年2月7日(水)～3月16日(月)

内 容：所蔵作品から屏風を特集して展示

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	長谷川派	武蔵野図	桃山時代～江戸時代初期	紙本金地着色、六曲一双	島根県立石見美術館
2	今尾 景年	柳塘群馬・桃林牧牛図	明治33年(1900)	絹本着色、六曲一双	島根県立石見美術館
3	川村 曼舟	牧牛図	大正時代	絹本着色、六曲一隻	島根県立石見美術館
4	今尾 景年	花鳥図	明治時代～大正時代	絹本着色、六曲一双	島根県立石見美術館
5	小堀 鞆音	舞楽図	明治時代末期～昭和時代初期頃	紙本金地着色、六曲一双	島根県立石見美術館

展示室B カラフル!

会 期：令和元年4月10日(水)～5月27日(月)

内 容：去年の「モノクロームの世界」展と対をなす形で、近現代美術を中心に様々な分野の「カラフル」な作品群を紹介した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	岸田 劉生	岸田劉生個展ポスター	1919年	木版、紙	島根県立石見美術館
2	津田 しげる	『青い鳥双六』	1931年	リトグラフ、紙	島根県立石見美術館
3	杉浦 非水	『少年世界 競争双六』	1919年	オフセット、紙	島根県立石見美術館
4	川端 龍子	『婦人世界新年付録 家庭教育双六』	1915年	オフセット、石版、紙	島根県立石見美術館
5	永瀬 義郎	祭壇の処女	1975年	リトグラフ、紙	島根県立石見美術館
6	ベルナール・フォコン	到着〈夏休み〉より	1978年	フレクソン・プリント	島根県立石見美術館
7	ベルナール・フォコン	悪魔のミント・シロップ〈夏休み〉より	1980年	フレクソン・プリント	島根県立石見美術館
8	草間 彌生	18L	1957年	グアッシュ、パステル、紙	島根県立石見美術館
9	草間 彌生	18J	1954年	グアッシュ、パステル、紙	島根県立石見美術館
10	草間 彌生	18D	1956年	グアッシュ、パステル、紙	島根県立石見美術館
11	草間 彌生	18Q	1956年	グアッシュ、パステル、紙	島根県立石見美術館
12	ソニア・ドロローネー	『絵画・オブジェ・同時的テキスタイル・モード』17. 912-1913 小箱のデザイン サンドラル「ニューヨークの復活祭」のための装幀	1925年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
13	ソニア・ドロローネー	『絵画・オブジェ・同時的テキスタイル・モード』20. 5人の女性	1924年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
14	ソニア・ドロローネー	『絵画・オブジェ・同時的テキスタイル・モード』15.	1924年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
15	ソニア・ドロローネー	『絵画・オブジェ・同時的テキスタイル・モード』7. ポルトガルの玩具	1925年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
16	森 英恵	浮世絵のジャケットとリボンで編んだスカート	2001年	ベージュ色の絹シフォンに浮世絵をプリントし、人物柄をビーズ刺繍したジャケット、裾は切りっぱなし緑と茶、2色のベルベットリボンとピンク色の絹タフタリボンとを格子に編んだフレアスカート	島根県立石見美術館
17	BIBA	パンツ・スーツ	1970年	「サンダーソン」社製テキスタイルのテーラードジャケット、ヒップ・ボーンのフレアパンツ	島根県立石見美術館
18	山崎 修二	緑の静物	1955年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館

展示室B 根付—江戸の遊び心と吉兆

会 期：令和元年5月29日(水)～7月22日(月)

内 容：江戸時代後期、鳥根県江津市を拠点とした、清水巖(初代富春)とその一門によって作られた石見根付のなかから、江戸の遊び心と吉兆に焦点をあてて、題材ごとの意味と表現に着目した。蜘蛛や蟬、亀など自然の生物を題材に、その生態を表した石見根付の技術の高さに着目しながら、背景に込められた想いをたどった。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
蛙 かえる					
1	白龍	蓮葉に蛙	19世紀	黄楊	江津市(七田真コレクション)
2	作者不詳	蓮葉に蛙	19世紀	黄楊	江津市(七田真コレクション)
3	葛川	蛙	19世紀	黄楊	江津市(七田真コレクション)
鼠 ねずみ					
4	伝富春	葡萄に栗鼠	18～19世紀	猪牙	江津市(七田真コレクション)
5	伝文章	猪牙に鼠	18～19世紀	猪牙	江津市(七田真コレクション)
6	貫満	稲穂に鼠	19世紀	海松	江津市(七田真コレクション)
牛 うし					
7	龍水	牛	18～19世紀	黒檀	鳥根県立石見美術館
蟬 せみ					
8	直人	蟬	18世紀	水牛の角	江津市(七田真コレクション)
9	作者不詳	枝に蟬	18～19世紀	黒檀	江津市(七田真コレクション)
亀 かめ					
10	富春	亀	18世紀	水牛の角	江津市(七田真コレクション)
11	可専	亀	18～19世紀	黒檀	江津市(七田真コレクション)
12	富春	亀	18～19世紀	黒檀	鳥根県立石見美術館
13	富春	蓮葉に養亀	寛政4年(1792)	鯨歯	鳥根県立石見美術館
蜘蛛 くも					
14	伝富春	猪牙に蜘蛛	19世紀	猪牙	江津市(七田真コレクション)
15	文章	猪牙に忍草と蜘蛛	文政12年(1829)	猪牙	江津市(七田真コレクション)
16	文章	流木に蜘蛛	18～19世紀	黒柿	江津市(七田真コレクション)
17	富明	猪牙に蜘蛛	18世紀	猪牙	江津市(七田真コレクション)
18	素龍	猪牙に忍草と蜘蛛	19世紀	猪牙	江津市(七田真コレクション)
19	富永	猪牙に蜘蛛	19世紀	猪牙	鳥根県立石見美術館
蟹 かに					
20	文章	鮑に蟹	18～19世紀	黒檀	江津市(七田真コレクション)
21	我補	猪牙に蟹	文化13年(1816)	猪牙	江津市(七田真コレクション)
22	作者不詳	猪牙に忍草と蟹	19世紀	猪牙	江津市(七田真コレクション)
23	富春	鮑に蟹	寛政7年(1795)	象牙	鳥根県立石見美術館
24	利治	竹に蝸牛	19世紀	黄楊	江津市(七田真コレクション)
25	文章	猪牙に百足	18～19世紀	猪牙	江津市(七田真コレクション)
絵画 かいが					
26	作者不詳	猪牙に山水図	19世紀	猪牙	江津市(七田真コレクション)
27	巖水	忍草に蜘蛛	19世紀	象牙	江津市(七田真コレクション)
28	巖水	雪松に鹿	19世紀	猪牙	江津市(七田真コレクション)
29	作者不詳	堅田落雁	19世紀	猪牙	江津市(七田真コレクション)
30	正吉	八景図	文化5年(1808)	象牙	江津市(七田真コレクション)
31	巖水	扇面に忍草	19世紀	象牙	鳥根県立石見美術館
南天 なんてん					
32	富永	和歌に南天	19世紀	象牙	江津市(七田真コレクション)

新聞掲載

読売新聞6月1日 展覧会紹介記事

展示室B 100年前のファッション

会 期：令和元年7月24日(水)～9月2日(月)

内 容：ヨーロッパの100年前のファッションを、日常着からリゾートウエア、スポーツウエアといった服そのものと、雑誌に描かれたイラストにより紹介。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	ジョルジュ・ルパップ	『今日の流行とおしゃれ』より 勝利	1919年	オフセットプリント・ポシヨワール/紙	島根県立石見美術館
2	アンドレ・マルティ	『今日の流行とおしゃれ』より 復員	1919年	オフセットプリント・ポシヨワール/紙	島根県立石見美術館
3	アンドレ・マルティ	『ガゼット・デュ・ボン・トン』より 巴里での困惑 ドウイエのコート	1920年	オフセットプリント・ポシヨワール/紙	島根県立石見美術館
4	ベニート	『ガゼット・デュ・ボン・トン』より ペルシアからの最後の手紙	1920年	オフセットプリント・ポシヨワール/紙	島根県立石見美術館
5	アレクサンダー・ジビュー	『ガゼット・デュ・ボン・トン』より 悪天候 ヨット用のコスチューム	1920年	オフセットプリント・ポシヨワール/紙	島根県立石見美術館
6	モーリス・ルロワ	『ガゼット・デュ・ボン・トン』より 雪 冬のスポーツのためのスーツ	1920年	オフセットプリント・ポシヨワール/紙	島根県立石見美術館
7	マドレーヌ・ヴィオネ	デイ・ドレス	1920年代	黒の絹クレープのワンピース・ドレ ポートネック、ラグランスリーブ、 プリーツスカート	島根県立石見美術館
8	作者不詳	ビーチ・アンサンブル	1910～20年代	白色のシルクボンジー 袖無しの ボディス、パンツ	島根県立石見美術館
9	作者不詳	プレისーツ	1920年代初頭	綿にプリント ジャケット、パンツ	島根県立石見美術館
10	作者不詳	女性用サイクリング・ウエア	1910年代	茶色のウール ジャケット、パンツ	島根県立石見美術館
11	作者不詳	女性用乗馬服	1920年代	茶色のウール ジャケット、パンツ	島根県立石見美術館
12	ダゴベルト・ベツヒエ	カフタン	1919年頃	絹に色を濃淡にぼかした縞模様 プリント「レインボー」	島根県立石見美術館
13	ダゴベルト・ベツヒエ	ネック・バンド	1919年頃	ビーズ	島根県立石見美術館
14	マリア・リカルツ	バッグ	1919年	ビーズ・ワーク	島根県立石見美術館

展示室B 「ひかり」をとりこむ

会 期：令和元年9月4日(水)～10月28日(月)

内 容：企画展「星とめぐる美術」(会期：9月14日～11月18日)にちなみ、当館のファッションのコレクションから「ひかる」要素をもつ作品を紹介。社交の場、夜会で着られる華やかなドレスを中心に展示した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	スザンヌ・タルボット	イブニングコート	1925年頃	黒い絹の菌型コート 椰子の葉と 花々を刺繍したテキスタイル 黒の 毛皮のトリミング 裏地は黒のベル ベット	島根県立石見美術館
2	マドレーヌ・ヴィオネ	イブニングドレス、スリッパ、ストール	1938年	黒いチュール地に金色のぶどうのモ チーフ サーキュラースカート ホル ターネック 黒い絹サテンのアンダー ドレス付 トールは黒いチュール	島根県立石見美術館
3	クリストバル・バレンシアガ	ケープ	1946年	黒の絹ファイユ地にホースヘア、 銀のスパンコール、人造宝石の刺 繍	島根県立石見美術館
4	クリスチャン・ディオール/ イブ・サンローラン	ディナードレス	1958年	銀の絹サテン、裏地は絹ゴーズ 七分丈のラグランスリーブ 幅広の 帯風のベルト ポティスの内側に チュール地のボーン入りコルセットと ガータが、スカートにはチュール地の 3段のベチコートが縫いつけられて いる	島根県立石見美術館
5	パコ・ラバンヌ	イブニングドレス	1966年	銀色のアルミニウム板を真鍮の金具 でつなぎ合わせたミニ・ドレス	島根県立石見美術館

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
6	ヴィヴィアン・ウエストウッド	イブニングドレス「18世紀スタイル」	1992年	金色の革 ボーンの入ったボティス皮のスカート スカーフは白の絹ゴーズ、太陽のモチーフを金でプリント プラットフォームシューズは、金色の皮、ヒールには赤のエナメル	島根県立石見美術館
7	アンドレ・マルティ	『ガゼット・デュ・ボン・トン』より アンナン(ヴェトナム中部地方)人の女 中 ドウイエのイブニングドレスとリボン	1920年	オフセットプリント、ボショワール、紙	島根県立石見美術館
8	エルネスト・タヤート	『ガゼット・デュ・ボン・トン』より マドレーヌ・ヴィオネのケープ	1922年	オフセットプリント、ボショワール、紙	島根県立石見美術館
9	エルネスト・タヤート	『ガゼット・デュ・ボン・トン』より マドレーヌ・ヴィオネのイブニングドレス	1923年	オフセットプリント、ボショワール、紙	島根県立石見美術館
10	エルネスト・タヤート	『ガゼット・デュ・ボン・トン』より マドレーヌ・ヴィオネの織地のドレス	1924~25年	オフセットプリント、ボショワール、紙	島根県立石見美術館
11	アドルフ・ド・メイヤー	ミスタンゲット	1920年	ゼラチン・シルバー・プリント	島根県立石見美術館
12	エドワード・スタイケン	無題	不詳	ゼラチン・シルバー・プリント	島根県立石見美術館

展示室B 『今日の流儀とおしゃれ』—雑誌に見るパリの文化と暮らし

会 期：令和元年10月30日(水)~12月16日(月)

内 容：1912年から10年間パリで刊行された高級ファッション誌『今日の流儀とおしゃれ』の特集展示。衣装のデザインとは同時代の社会情勢や文化的流行を反映し生み出される、との考えにより編集された本誌は、衣裳やインテリアのデザインとともに流行のスポーツや風俗なども伝える。全7巻に収録された全84点のファッションプレートを表示し、発行当時のパリで展開された人々の暮らしや文化について紹介した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	ジョルジュ・ルバップ	《身仕度》	1912年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
2		《幕間》	1912年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
3		《蝶々》	1912年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
4		《ブランコ》	1912年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
5		《クッション》	1912年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
6		《果樹園》	1912年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
7		《饗宴》	1912年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
8		《エゾイタチの毛皮》	1912年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
9		《庭での散歩》	1912年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
10		《開いたカーテン》	1912年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
11		《ベルシアの服》	1912年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
12		《仮装》	1912年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
13	シャルル・マルタン	《女とオウム》	1913年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
14		《雪》	1913年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
15		《驚き》	1913年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
16		《ミュール》	1913年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
17		《入浴》	1913年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
18		《狩りからの帰り》	1913年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
19		《女と子ども》	1913年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
20		《ホタル》	1913年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
21		《歩道橋》	1913年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
22		《雷雨》	1913年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
23		《桜桃の木》	1913年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
24		《音楽》	1913年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
25	ジョルジュ・バルビエ	《麗しい朝課》	1914年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
26		《噴水受け》	1914年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
27		《突風》	1914年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
28		《移り気な鳥》	1914年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
29	ジョルジュ・バルビエ	《赤い弓》	1914年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
30		《正午に、水の上で》	1914年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
31		《小島》	1914年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
32		《夜のバラ》	1914年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
33		《シェヘラザード》	1914年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
34		《ボックス席》	1914年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
35		《ダンス》	1914年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
36		《アルルカン(道化師)》	1914年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
37	ジョルジュ・ルバップ	《1914年8月》(1914)	1921年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
38		《病院》(1914)	1921年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
39		《休暇中の軍人》(1915)	1921年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
40		《別れ》(1915)	1921年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
41		《最愛の人の不在》(1916)	1921年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
42		《レッスン》(1916)	1921年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
43		《郷愁》(1917)	1921年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
44		《雨月》(1917)	1921年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
45		《警報》(1918)	1921年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
46		《11時》(1918)	1921年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
47		《フォックス・トロット》(1919)	1921年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
48	《勝利》(1919)	1921年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館	
49	アンドレ・マルティ	《復員》(1919)	1921年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
50		《朝の公園》(1919)	1921年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
51		《舞台稽古》(1919)	1921年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
52		《ゴルフ》(1919)	1921年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
53		《映画》(1919)	1921年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
54		《仮装舞踏会》(1919)	1921年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
55		《レース》(1919)	1921年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
56		《「オアシス」、光のスカート》(1919)	1921年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
57		《メドラノの土曜日》(1919)	1921年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
58		《リズム体操》(1919)	1921年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
59		《アンティークショップ》(1919)	1921年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
60	《風の中の翼》(1919)	1921年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館	
61	ロベール・ボンフィス	《愛のドレス》(1920)	1922年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
62		《木》(1920)	1922年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
63		《ゴルフ》(1920)	1922年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
64		《マルコで太陽の癒し》(1920)	1922年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
65		《水浴》(1920)	1922年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
66		《中国のスーツ》(1920)	1922年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
67		《春の帽子》(1920)	1922年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
68		《ラ・マルセイエーズ》(1920)	1922年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
69		《クーボンデー》(1920)	1922年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
70		《ダンシングへ》(1920)	1922年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
71		《そして、サティを聴く》(1920)	1922年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
72		《兵隊の日》(1920)	1922年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
73	フェルナン・シメオン	《若い母親》(1922)	1923年	木版、紙	島根県立石見美術館
74		《ピアノとボーカル》(1922)	1923年	木版、紙	島根県立石見美術館
75		《ダンス》(1922)	1923年	木版、紙	島根県立石見美術館
76		《女僕》(1922)	1923年	木版、紙	島根県立石見美術館
77		《レースで》(1922)	1923年	木版、紙	島根県立石見美術館
78		《狩猟》(1922)	1923年	木版、紙	島根県立石見美術館
79		《飛行士》(1922)	1923年	木版、紙	島根県立石見美術館
80		《インテリア》(1922)	1923年	木版、紙	島根県立石見美術館
81		《セット》(1922)	1923年	木版、紙	島根県立石見美術館
82		《襲撃》(1922)	1923年	木版、紙	島根県立石見美術館

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
83		《骨董品》(1922)	1923年	木版、紙	島根県立石見美術館
84		《スクリーン》(1922)	1923年	木版、紙	島根県立石見美術館
85	ジョルジュ・ルパップ	『ジョルジュ・ルパップによるポール・ボワレの作品集』	1911年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
86		『今日の流儀とおしゃれ』本誌	1912年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館

新聞掲載

朝日新聞11月8日 展覧会紹介記事

展示室B 季節を感じる

会 期：令和元年12月18日(水)～令和2年2月3日(月)

内 容：季節感をテーマに、当館所蔵の日本画と洋画を紹介した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	山崎 修二	山懐の早春	昭和28年(1953)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
2	田中 頼璋	林和靖愛鶴図	昭和10年(1935)頃	絹本着色、1幅	島根県立石見美術館
3	島崎 柳塙	汐風	明治時代後期	絹本着色、1幅	島根県立石見美術館
4	伊藤 小坡	舟中納涼之図	昭和時代前期	絹本着色、1幅	島根県立石見美術館
5	田中 頼璋	白雲紅樹図	昭和9年(1934)	絹本着色	島根県立石見美術館
6	中林 竹洞	秋卉鴛鴦図	天保5～8年(1834～37)	絹本着色、1幅	島根県立石見美術館
7	中林 竹溪	秋草群雀図	江戸時代後期	絹本着色、1幅	島根県立石見美術館
8	黒田 清輝	ポプラの黄葉	明治24年(1891)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
9	山崎 修二	初冬	昭和11年(1936)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館

展示室B 陰と影

会 期：令和2年2月6日(水)～3月16日(月)

内 容：光が遮られて暗くなる部分を指す「影」と、見えないところを表す「陰」、意味の異なる二つの「かげ」ということばに注目した展覧会。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	アーヴィン・ブリューメンフェルド	顔の上の線「エイジ・オブ・エレガンス」(10点組)より	発表1947～49年、 プリント1984年	ダイトランスファー・プリント	島根県立石見美術館
2	アーヴィン・ブリューメンフェルド	キュビズムで表現された紫のヌード「エイジ・オブ・エレガンス」(10点組)より	発表1949年、 プリント1984年	ダイトランスファー・プリント	島根県立石見美術館
3	アンドレ・マルティ	私の心のため息… 公園のためのドレス 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1914年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
4	アンドレ・マルティ	堤防の上 マース・コロアの帽子 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1924～25年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
5	アンドレ・マルティ	日当たりのいい庭 ドウイエの午後のドレス 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1914年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
6	ピエール・ブリソー	美しい日 ジャンヌ・ランバンの午後のドレス 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1921年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
7	ピエール・ブリソー	彼は来るだろうか? ベールの夜会服 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1920年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
8	ピエール・ブリソー	プロローグ、またはコメディの城 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1920年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
9	ピエール・ブリソー	ゲルヌイエールでの新しい贅沢 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1914年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
10	ウィリアム・クライン	煙+ベール	1958年	ゼラチン・シルバー・プリント	島根県立石見美術館
11	ホルスト P. ホルスト	白い袖、パリ	1936年	ゼラチン・シルバー・プリント	島根県立石見美術館

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
12	ジョージ・ホイニゲン・ヒューネ	ドラマティック・イブニング・ケープ	1938年	ゼラチン・シルバー・プリント	島根県立石見美術館
13	マーティン・ムンカッチ	ニューヨーク万国博覧会『ハーパース・バザー』1938年9月号より	1938年	ゼラチン・シルバー・プリント	島根県立石見美術館
14	ジャン＝エミール・ラブレール	マリー・ローランサンの肖像	1914年	木版、紙	島根県立石見美術館
15	ラウル・デュフィ	ダンス	1910年頃	木版、紙	島根県立石見美術館
16	ピエール・ボナール	雑誌『ルヴュ・ブランシュ』のためのポスター	1894年	リトグラフ、紙	島根県立石見美術館
17	アンリ・ド・トゥルーズ＝ロートレック	ディヴァン・ジャポネ	1892～93年	リトグラフ、紙	島根県立石見美術館
18	森 英恵	カクテル・スーツ	1989年秋冬	黒いウール地のジャケット 見頃に黒い絹サテンと黒いウールで網代編み 黒いウールのタイトスカート	島根県立石見美術館
19	アリックス・グレ	イブニング・ドレス	1958年	黒い絹ジャージーのワンピース・ドレス 細かくたたまれたプリーツ	島根県立石見美術館
20	藤島 武二	西洋婦人像	1908～09年頃	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
21	椿 貞雄	冬瓜南瓜図	1946～47年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
22	ダイアン・アーバス	バラのドレスを着た仮面舞踏会の婦人	1967年	ゼラチン・シルバー・プリント	島根県立石見美術館
23	ダイアン・アーバス	無題14	1970～71年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	島根県立石見美術館
24	岡田 三郎助	黒き帯	1915年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
25	草間 彌生	(18L)	1957年	グアッシュ、パステル、紙	島根県立石見美術館
26	草間 彌生	(18M)	1957年	グアッシュ、パステル、紙	島根県立石見美術館

関連事業

みるみるとみて見る？

日 時：2月15日(土)、2月29日(土)、3月7日(土)いずれも14:00～

※2月29日(土)、3月7日(土)は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

会 場：展示室B

展示室C ロシア・アヴァンギャルド

会 期：令和元年4月24日(木)～5月27日(月)

内 容：ロシア・アヴァンギャルドとは、20世紀初めのロシアで起きた前衛的な芸術運動のこと。1920年代後半から1930年代の初めにかけて、制作されたロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイルとデザインを紹介。あわせて、ロシア出身で同時期にパリで活躍していたソニア・ドローネの作品も展示。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	S.ストラスピッチ	ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画 6-15		水彩、紙	島根県立石見美術館
2		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画 6-35	1930年9月	水彩、紙	島根県立石見美術館
3		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画 6-9		水彩、紙	島根県立石見美術館
4		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画 6-12		水彩、紙	島根県立石見美術館
5	セルゲイ・ブーリン	ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画 6-13		水彩、紙	島根県立石見美術館
6	マリア・アノープリエバ	ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画 6-19		水彩、紙	島根県立石見美術館
7	ジナイダ・ベレピッチ	ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画 6-22		水彩、紙	島根県立石見美術館
8	アナスタシヤ・シュイキナ	ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画 6-34	1929年12月	水彩、紙	島根県立石見美術館
9	ジナイダ・ベレピッチ	ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画 6-26		水彩、紙	島根県立石見美術館
10	ナゼレピッチ	ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画 6-21		水彩、紙	島根県立石見美術館
11	ジナイダ・ベレピッチ	ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画 6-20		水彩、紙	島根県立石見美術館
12	ナゼレピッチ	ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画 6-14		水彩、紙	島根県立石見美術館
13		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画 5-13	1927年	水彩、紙	島根県立石見美術館
14		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画 5-15	1927年2月	水彩、紙	島根県立石見美術館

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
15		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画 5-22	1927年	水彩、紙	島根県立石見美術館
16		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画 5-4 ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画 5-2		水彩、紙	島根県立石見美術館
17		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画 5-6 ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画 5-3	1929年	水彩、紙	島根県立石見美術館
18		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画 5-7 ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画 5-8	1929年9月	水彩、紙	島根県立石見美術館
19		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画 4-4	1930年1月	水彩、紙	島根県立石見美術館
20		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画 4-5	1930年1月	水彩、紙	島根県立石見美術館
21		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画 4-8	1930年2月	水彩、紙	島根県立石見美術館
22		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画 4-9	1929年2月	水彩、紙	島根県立石見美術館
23		ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル 7-1	1927~30年	綿、プリント	島根県立石見美術館
24	リュボフ・シリック	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル 7-2	1920~30年	綿、プリント	島根県立石見美術館
25	リヤ・レイサー	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル 7-3	1929年	綿、プリント	島根県立石見美術館
26		ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル 7-4		綿、プリント	島根県立石見美術館
27		ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル 7-5	1930~35年	絹クレープ、プリント	島根県立石見美術館
28	ペロゼンツェーヴァ	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル 7-6	1930年	綿、プリント	島根県立石見美術館
29	セルゲイ・ブーリン	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル 7-7	1930年	綿、プリント	島根県立石見美術館
30		ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル 7-8		綿、プリント	島根県立石見美術館
31	フェドール・アントノフ	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル 7-10		綿、プリント	島根県立石見美術館
32	アナスタシヤ・シュエキナ	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル 7-11		綿、プリント	島根県立石見美術館
33		ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル 7-12	1932年	綿、プリント	島根県立石見美術館
34	ヴェラ・ロトニーナ	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル 8-1	1929~30年	綿、プリント	島根県立石見美術館
35	ソニア・ドローネ	『絵画・オブジェ・同時的テキスタイル・モード』 5.帽子とマフラーのデザイン	1922-1923年発表 1925年再制作	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
36	ソニア・ドローネ	『絵画・オブジェ・同時的テキスタイル・モード』 9.ディスクのスクーフ	1923年発表 1925年再制作	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
37	ソニア・ドローネ	『絵画・オブジェ・同時的テキスタイル・モード』 12.ジレのためのデザイン	1923年発表 1925年再制作	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
38	ソニア・ドローネ	『絵画・オブジェ・同時的テキスタイル・モード』 14.1922-1923年 衣装のモデル	1922-1923年発表 1925年再制作	ボショワール、紙	島根県立石見美術館

展示室C 森英恵 静と動

会 期：令和元年5月29日(水)~7月7日(日)

内 容：島根県六日市町(現 吉賀町)出身の世界的デザイナー、森英恵による衣装作品の特集展示。編みや折りにより凹凸をもたせた布に生じる陰影や布の質感の変化が見所となる作品と、日本美術から着想した鮮やかな図案を用い、見るものに強い印象を与える作品とを対比的に紹介した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	森 英恵	シルクサテンとウール地で網代編みをあしらったカクテルスーツ	1989年秋冬	黒色ウール地のジャケット、見頃に黒色絹サテンと黒色ウール地の網代編み黒色ウールのタイトスカート	島根県立石見美術館
2	森 英恵	プリーツをあしらったウールのスーツ	2001年春夏	白いウールのジャケット、背中にプリーツ飾り、飾りピン付き、白いウールのアコーディオンプリーツのスカート	島根県立石見美術館
3	森 英恵	銀色のアンサンブル	2004年春夏	裾と胸元に銀色のバラをあしらった黒いニット地のショートドレス、同柄のバラモチーフを全面に刺しゅうした銀色のボレロ	島根県立石見美術館
4	森 英恵	レースのドレスに軽いボレロ	2004年春夏	黒い絹レースのショートドレス、胸元にラメで小花のペイント、腰にギャザー飾りホースヘアのリボン黒い格子状の編みで螺旋状に繋いだボレロ	島根県立石見美術館
5	森 英恵	蒔絵を思わせる赤いサテンのイブニングドレス	1994年秋冬	秋草をプリントした赤い絹サテンのロングドレス、身頃と一体となった同柄のストール	島根県立石見美術館

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
6	森 英恵	役者絵をあしらった深い海の色、シルクサテンでジャンプスーツ	2004年秋冬	背面に役者絵、龍虎をプリントした絹サテンのジャンプスーツ、役者絵や龍虎の輪郭を縫取り刺しゅう	島根県立石見美術館
7	森 英恵	金色の鶴のドレスとカフタン	2004年秋冬	羽ばたく鶴と砂金がプリントされた絹シフォンのカフタン、同柄を絹サテンにプリントしたペア・トップのロングドレス	島根県立石見美術館
8	森 英恵	北斎の版画のように、山の風景を染めた絹のドレス	1996年春夏	墨絵風の柄をプリントした絹シフォン、絹サテンのワンピースドレス	島根県立石見美術館
9	森 英恵	白、グレー、黒の水玉を縫いとしたイブニングドレス	1999年春夏	明るいグレーのシルクシフォンに、白、黒、チャコールグレーの変わり水玉を刺しゅうしたロングドレス	島根県立石見美術館
10	森 英恵	りんごの花のドレス	1998年春夏	ベージュ地にりんごの花をプリントしたシルクシフォンのロングドレス、マーメイドライン、ノースリーブ、スバングルによる刺しゅう	島根県立石見美術館

新聞掲載

- 毎日新聞6月5日 展覧会紹介記事
 読売新聞6月6日 展覧会紹介記事
 中国新聞6月11日 展覧会紹介記事
 山陰中央新報6月16日 展覧会紹介記事
 朝日新聞6月21日 展覧会紹介記事

展示室C 彫りの極めびと

会 期：令和元年11月23日(土)～令和2年1月5日(日)

内 容：当館コレクションのなかから、木彫を中心に、彫りの技が堪能できる作品群を紹介した。人の手で生み出された独特の温もりをまとい、木材本来の性質を見極め、豊富な種類を活かした幅のある表現に注目した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	米原 雲海	仙丹	1910年	木	島根県立石見美術館
2	内藤 伸	豊公	1918年	木	島根県立石見美術館
3	内藤 伸	重陽菊酒	1930年	木、彩色	島根県立石見美術館
4	原画：政信	浮世絵版木(復刻) 八色摺四枚揃木と摺り見本	昭和初期	木	島根県立石見美術館
5	原画：写楽・春潮・歌麿	浮世絵版木(復刻)主版主版三枚	大正時代	木	島根県立石見美術館
6	藪内 佐斗司	どこかものたりない不思議な人物たち	1982年	檜	島根県立石見美術館
7	澄川 喜一	そりのあるかたち8	1993年	樺	個人蔵
8	澄川 喜一	お月さま	1995年	樺・チーク	個人蔵
9	藪内 佐斗司	ろーりんぐまん	1984年	檜	島根県立石見美術館
10	岸田 劉生	岸田劉生個展ポスター	1919年	木版、紙	島根県立石見美術館
11	石井 柏亭	木場	1914年	木版、紙	島根県立石見美術館
12	笹島 喜平	不動明王No.90	不詳	木版、紙	島根県立石見美術館
13	小林 敬生	蘇生の刻一早春一	1988年	木口木版、紙	島根県立石見美術館

第52回島根県総合美術展(県展)移動展

会 期：令和元年11月28日(木)～12月1日(日)

会 場：展示室D

主 催：島根県、島根県文化団体連合会、美術関係諸団体

第38回 益田市美術展

会 期：令和元年12月19日(木)～12月22日(日)

会 場：展示室D

主 催：益田市美術展実行委員会

ミュージアム

企画展「**とー、いろ、かたち** 島根の美術室」関連プログラム

「**みんなの音楽室**」
NHK大河ドラマ「おんな城主 十文字」の音楽を学ぶワークショップ

「おんな城主 十文字」の音楽を学ぶワークショップ
舞台で演奏している音楽家たちが出演！

ワークショップ&ミニライブ

音楽室

MUSEUM×THEATER vol.8
グラントワ Grand Tolt

講師 相川 瞳 (パーカッション)
講師 林 正樹 (ピアノ)
講師 鈴木 広志 (サクソ)

2019 6/2 SUN
グラントワ 多目的ギャラリー

10:00-12:00 ワークショップ (午前の部)
13:00-16:00 ワークショップ (午後の部)
16:00-16:30 ミニライブ

【定員】 ワークショップ：先着20名(要申込) / ミニライブ：当日先着60名(申込不要)
【対象】 どなたでも(年齢制限がなくてもOK) 小学2年生以下は保護者同伴でご参加ください
【申込】 電話かE-mailにて、お名前、年齢、電話番号、参加したい部(時間帯)をお知らせください。TEL:0856-31-1860 E-mail: zaidan@grandtolt.jp

参加無料

チラシ



ワークショップ



ミニライブ

ミュージアム

平成29年度より、島根県立いわみ芸術劇場とともに島根県芸術文化センター「グラントワ」を形成する当館の持ち味をいかす事業として、「Museum×Theater：ミュージアム」と題した、劇場と美術館との連携事業を開始した。

令和元年度の事業としては、以下の4つを企画した。

Museum×Theater：ミュージアムvol.8

みんなの音楽室

企画展「**とー、いろ、かたち** 島根の美術室」の関連プログラムとして実施。音楽の基本的な要素について、音楽家3人を講師に招いて学ぶ企画。午前の部では相川瞳氏、鈴木広志氏、参加者が様々な楽器やおもちゃで音を鳴らしながら、短い音、長い音、リズムについて学んだ。午後の部では林正樹氏も加わり、企画展の展示作品から着想を得た音を鳴らし、音色の違いや和音について学んだ。その後、参加者が自由な発想でオリジナルの楽譜を作成し、それらを講師3人が音で表現するワークショップを行った。最後に、講師3人による今回事業のため制作された新作も含めたミニライブを行った。

日 時：6月2日(日)10:00～16:30

会 場：グラントワ 多目的ギャラリー

講 師：相川 瞳(パーカッション)

演 奏：林 正樹(ピアノ)、鈴木 広志(サクソ)

参加者：ワークショップ25名、ミニライブ73名

新聞掲載

山陰中央新報6月3日 「みんなの音楽室」取材記事



チラシ

Museum×Theater：ミュージアムvol.9 よみがえる戦国の宴 其之五

特別展「吉見氏VS益田氏」の関連プログラムとして実施。第一部は、益田氏が毛利もてなした献立の一部を、益田「中世の食」再現プロジェクトが古文書にもとづき再現した、「中世益田の祝い膳」をふるまった。第二部では特別展の会場に場を移し、担当学芸員による解説つきの鑑賞会を実施した。第三部は再び会場に戻り、自ら琵琶をすることもあった吉見正頼にちなんだ、琵琶と尺八の演奏会を行った。会場には舞台技術振興課の協力を得て、神目をイメージした白幕に、吉見氏、益田氏の家紋をライトで浮かびあがらせる演出を行った。

- 一、 中世益田氏の祝い膳を味わう
- 二、 特別展「益田氏VS吉見氏 ー石見の戦国時代ー」展示解説
- 三、 吉見氏もたしなんだ琵琶の音を聴く

【演奏曲目】祇園精舎(作曲：塩高 和之) / 花の行方(作曲：塩高 和之) / 経正 平家物語 経正都落～青山の事より(作曲：塩高 和之) / 月光弄笛(尺八独奏)(作曲：福田 蘭童) / 風の宴(琵琶独奏)(作曲：塩高 和之) / まろばし～尺八と琵琶の為の(作曲：塩高 和之)

出演：塩高 和之(琵琶)、田中 黎山(尺八)

料理提供：益田「中世の食」再現プロジェクト

日時：9月14日(土)13:00～15:00

会場：多目的ギャラリー

参加者：40名



お品書き

新聞掲載

中国新聞9月15日 「戦国の宴」取材記事

山陰中央新報9月15日 「戦国の宴」取材記事



吉見氏もたしなんだ琵琶の音を聴く

企画展「星とめぐる美術 10の天体がいざなう現代美術」関連プログラム

ライブパフォーマンス MUSEUM×THEATER vol.10

天球の庭

企画展「星とめぐる美術」にちなみ、秋分となる9月23日にあわせて、秋分の日をテーマにしたライブパフォーマンスをお届けします。

昼と夜の長さが同じになり、陰陽のバランスが整うとされる秋分の日。

特別な日には、「天球の庭」へと足を運ぶための美術展のご案内です。夜、美術、ダンスが交錯する夜の空間をお楽しみください。

出演
歌島昌智 (ピアノ、パーカッション)
Chu makino (ヴォイス)
佐藤公哉 (ヴィオラ、ハルモニウム)
國方暢乃介 (ベース)
伊東歌織 (ダンス)

9月23日(月・祝) 19:00~
グラントワ 美術館ロビー

※合わせてくつろいでお聴きいただけます。クッションや座布団などをご持参ください。

申込不要 / 年齢制限なし / 当日先着 50名

【料金】ドネーション制

※ドネーションとは「寄付」「贈り」を意味する言葉。コンサートでは、観覧者が演奏やその場で感じた感動に対して支払いたいと思う金額を自分で決めていただく制度。金額に設定はありません。

グラントワ Grand Toit

チラシ

Museum×Theater : ミュージアムvol.10 天球の庭

企画展「星とめぐる美術」の関連プログラムとして実施。昼と夜の長さが同じになり、陰陽のバランスが整うとされる秋分の日、夜の美術館ロビーを「天球の庭」に見立て、星にちなんだ楽曲の演奏や、新作をまじえた幻想的なライブパフォーマンスを上演した。美術館ロビーのドーム天井には星座や月を投影し、「天球の庭」を演出した。なお、本公演では初めて「ドネーション制」(自由料金制)を導入した。

出演：歌島 昌智(ピアノ、パーカッション)、Chu makino(ヴォイス)、佐藤 公哉(ヴィオラ、ハルモニウム)、國方 暢乃介(ベース)、伊東 歌織(ダンス)

日時：9月23日(月・祝)19時開演

会場：美術館ロビー

参加者：50名

新聞掲載

中国新聞9月20日 ライブパフォーマンス「天球の庭」告知記事



ライブパフォーマンス



ライブパフォーマンス

島根県立石見美術館 企画展「富野由悠季の世界」関連プログラム

トークショー&ライブ「井荻麟の世界」

出演：富野由悠季、MIQ(歌手)、奥井亜紀(シンガーソングライター)、
司会：藤津亮太(アニメ評論家)

日時 2020年2月24日(月・祝)
13:30開場 / 14:00開演

会場 グラントワ小ホール(島根県松江市有明町5-15)

料金 入場無料(事前申込制/定員400名)

※申込多数の場合は抽選となります。(申込締切：2020年2月7日(金))
※会場観覧券又は券書、ミュージアムパスポートが必要です。

1. 要領イベント名「トークショー&ライブ」、2. 氏名、3. 性別、4. 電話番号等、
5. メールアドレス、6. 参加人数(1歳以下を2名まで)
※ご登録の上、以下のアドレスまでメールでお申し込みください。
【富野展イベント受付専用アドレス】tomino-iwami@grandtoit.jp

<http://www.grandtoit.jp/museum/tomino-exhibition/>

wpb掲載告知



「トーク」パート

Museum×Theater：ミュージシアvol.11 トークショー&ライブ「井荻麟の世界」

企画展「富野由悠季の世界」の関連プログラムとして実施。「井荻麟」名義で自らの作品の主題歌等の作詞を行ってきた富野由悠季監督に、音楽という切り口から迫る企画。巡回館唯一の美術館と劇場の複合施設である当館ならではの催しとして、多くのファン注目を集めた。富野監督とアニメ評論家・藤津亮太氏との対談に、富野作品を代表する2人の歌手が参加し、制作にまつわるエピソードを振り返った「トーク」パートと、富野作品の映像をバックに主題歌等が披露された「ライブ」パートの2部構成で開催した。

出演：富野 由悠季、藤津 亮太(アニメ評論家)、MIQ (歌手)、奥井 亜紀(シンガーソングライター)

日時：2月24日(月・祝) 14:00～16:00

会場：グラントワ小ホール

参加者：320名

新聞掲載

中国新聞2月25日 トークショー & ライブ「井荻麟の世界」取材記事

Museum×Theater：ミュージシアvol.12

劇場版『GのレコンギスタI』 「行け!コアファイター」特別上映会&富野由悠季監督によるアフタートーク

企画展「富野由悠季の世界」の関連プログラムとして開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。

日時：3月15日(日) 13:00～16:00

会場：グラントワ小ホール

【講座・講演など】

「THERIACAデザイナー濱田明日香のあたまのなか」

日 時：令和元年6月7日(金)19:00～21:00

出 演：濱田 明日香(THERIACAデザイナー)、次六 尚子(神戸ファッション美術館)、
廣田 理紗(当館主任学芸員)

会 場：デザイン・クリエイティブセンター神戸(KIITO)

聴講者：130名

「富野由悠季の世界」オープニング記念トーク「富野由悠季とは何者なのか?」

日 時：令和元年6月22日(土)14:00～16:00

出 演：富野 由悠季(アニメーション映画監督)、山口 洋三(福岡市美術館)、岡本 弘毅
(兵庫県立美術館)、小林 公(兵庫県立美術館)、工藤 健志(青森県立美術
館)、村上 敬(静岡県立美術館)、川西 由里(当館専門学芸員)

会 場：福岡市美術館 ミュージアムホール

参加者：180名

島根県造形教育研究会 夏季研修会 講座：「アートカードゲームをやろう!」

日 時：令和元年8月5日(月)

講 師：廣田 理紗

会 場：講義室

参加者：島根県造形教育研究会会員

「トリメガ研究所と考える地方美術館の運営と展覧会企画」

日 時：令和元年10月24日(木)10:00～15:00

講 師：工藤 健志(青森県立美術館)、村上 敬(静岡県立美術館)、川西 由里

会 場：国立臺北教育大學(台北市)

対 象：国立臺北教育大學大学院生、および一般

「美少女の美術史」とその5年後

日 時：令和元年10月26日(土)15:00～17:00

講 師：工藤 健志(青森県立美術館)、村上 敬(静岡県立美術館)、川西 由里

会 場：国立臺北教育大學(台北市)

対 象：一般

「美少女の美術史」ギャラリートーク

日 時：令和元年11月24日(日)10:30～12:30

講 師：工藤 健志(青森県立美術館)、川西 由里

会 場：北師美術館(台北市)

「国立台北教育大学北師美術館『美少女の美術史』開催記念 トリメガ研究所トークショー 日本と台湾の展覧会のつくり方～「美少女の美術史展」2014-2019」

日 時：令和2年1月28日(火)19:00～21:00

講 師：工藤 健志(青森県立美術館)、村上 敬(静岡県立美術館)、川西 由里

会 場：誠品生活日本橋

参加者：約50名

【非常勤講師としての授業】

平成27年度より島根県立石見高等看護学院での芸術(美術)の授業を一コマ担当している。当館学芸員によるリレー形式の授業。共通テーマは「地域の美術とその鑑賞」。

第1回 講義：「石見美術館の概要とファッションコレクション」

日 時：令和元年10月4日(金)14:50～16:20

講 師：南目 美輝

会 場：島根県立石見高等看護学院

第2回 鑑賞：「益田氏VS吉見氏 石見の戦国時代」

日 時：令和元年10月11日(金)14:50～16:20

講 師：角野 広海

会 場：島根県立石見美術館 展示室A

第3回 鑑賞：「星とめぐる美術」

日 時：令和元年10月18日(金)14:50～16:20

講 師：廣田 理紗

会 場：島根県立石見美術館 展示室C、D

第4回 講義：「石見の仏像」

日 時：令和元年11月1日(金)14:50～16:20

講 師：椋木 賢治(島根県立美術館学芸課長)

会 場：島根県立石見高等看護学院

第5回 講義：「造形とは」

日 時：令和元年11月8日(金)14:50～16:20

講 師：左近充 直美

会 場：島根県立石見高等看護学院

第6回 講義：「美術館と地域」

日 時：令和元年11月29日(金)14:50～16:20

講 師：川西 由里

会 場：島根県立石見高等看護学院

第7回 演習：「対話による鑑賞、アートカードゲーム」

日 時：令和元年12月6日(金)13:10～15:35(休憩含)

講 師：廣田 理紗

会 場：島根県立石見美術館 講義室

共同研究会・実習



服飾関係資料共同研究



服飾関係資料共同研究



服飾関係資料共同研究

服飾関係資料共同研究会

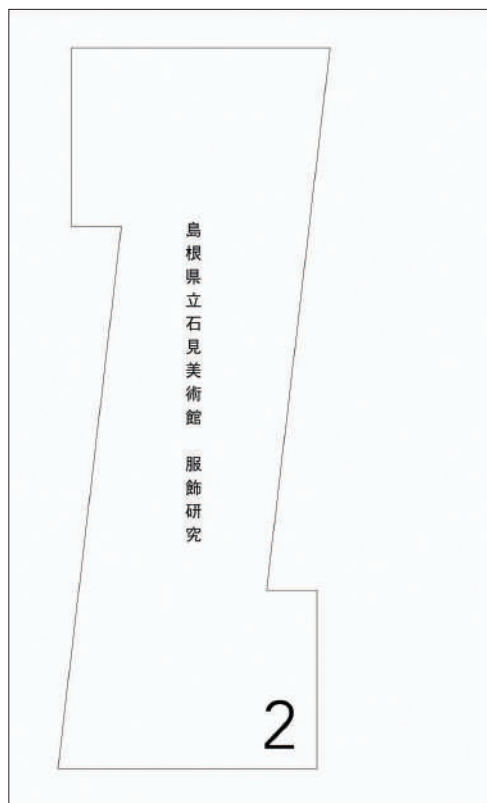
収蔵品の研究を進め、服飾に関する研究機関同士のつながりを深めることを目的に、関東圏の服飾史やデザイン史を研究する大学教員や学芸員らを招聘し、当館の収蔵品を共同で熟覧する研究会の第2弾。複数の研究者が意見を交わしあいつつ作品を見なおすことで、当館学芸員だけでは見いだせなかった作品の特徴などを改めて発見する機会ともなった。研究の成果をまとめた記録集「服飾研究Vol.2」も作成した。

日時：令和元年9月28日(土)～9月29日(日)

参加者：16名(外部研究者10名、当館職員4名、見学者2名)

印刷物

島根県立石見美術館 服飾研究vol.2(成果報告集)：B5変形
(デザイン：野村デザイン制作室)



服飾研究vol.2 表紙

所蔵作品紹介新聞連載

令和元年度 朝日新聞『石見美術館収蔵から 美ありて』連載

- 4月19日 左近充 直美 宮芳平《湖と乙女(月)》
5月17日 角野 広海 狩野栄信《富士三保清見寺図》
6月 7日 川西 由里 松本楓湖《八岐大蛇》
6月28日 廣田 理紗 『森英恵流行通信』
8月16日 左近充 直美 米原雲海《仙丹》
9月20日 川西 由里 作者不詳《遊楽美人図》
11月 1日 南目 美輝 シャルル・マルタン《狩りからの帰り》
12月13日 角野 広海 雲谷等益《山水図屏風》
1月17日 川西 由里 今尾景年《柳塘群馬図》
2月14日 廣田 理紗 ガブリエル・シャネル《イブニングドレス》
3月 6日 角野 広海 岡野洞山《竹林七賢、高山四皓図屏風》
3月27日 左近充 直美 《大下藤次郎肖像写真》

当館では開館以前から、市民がボランティアとして積極的に事業に参加してきた。現在のグラントワ全体のボランティア会の組織は、映画、イベント、ワークショップ、放送、劇場フロント、ギャラリートーク、発送、クリーンアップ、生け花、情報発信の10のグループからなっている。そのうち美術館では「ワークショップグループ」と「ギャラリートーク」のグループが活動している。

【ギャラリートークボランティア】

コレクション展の会場で、会期中の土曜日、日曜日、祝日の午前(10:00～12:00)と午後(13:00～15:00)に実施している。当番制ではなく、各自が活動できる日に来館して行っている。ボランティアは展示室で待機して来場者に声をかけ、希望者に対してトークを行う。各展覧会のトーク実施前には、担当学芸員によるギャラリートーク講習を行っている。

活動記録

4月10日～5月20日 コレクション展「大下藤次郎の水彩画」

4月24日～5月27日 コレクション展「ロシア・アヴァンギャルド」

7月10日～9月2日 コレクション展「森鷗外と帝国美術院の芸術家たち」

10月30日～12月16日 コレクション展「『今日の流儀とおしゃれ』-雑誌に見るバリの文化と暮らし」

【ワークショップボランティア】

美術館で開催するワークショップをはじめとする教育普及事業では、ボランティアスタッフがアシスタントとして参加をしている。また、主に服飾に関する展示の準備に参加することもある。

活動記録

令和元年度は活動なし

島根県立石見美術館 入館料・割引サービス一覧

※2020年8月20日現在

割引対象施設／サービス名称	割引対象者	ご提示いただくもの	割引内容
---------------	-------	-----------	------

提携館

いわみ美術回廊 加盟館

浜田市立石正美術館	左記施設の 会員様 または ご利用者様	会員証 または 観覧券の半券	団体割引 (ご本人のみ)
浜田市世界こども美術館		観覧券の半券	
益田市立雪舟の郷記念館			
津和野町立安野光雅美術館			
今井美術館			

山口県立美術館	会員様 または ご利用者様	会員証 または 観覧券の半券	団体割引 (ご本人のみ)
山口県立萩美術館・浦上記念館		<small>※2021年4月1日以降は会員証のみ</small>	
サントリー美術館	左記施設の 会員様	会員証	
DIC川村記念美術館			
植田正治写真美術館			
足立美術館			
尾道市立美術館			
ひろしま美術館			
広島県立美術館			
広島市現代美術館			
愛媛県美術館			
島根県立美術館			
島根県立古代出雲歴史博物館	ご利用者様	会員証 または 割引券	

劇場連携

グラントワ(いわみ芸術劇場)	いわみ芸術劇場 主催の 有料公演チケット をお持ちの方	いわみ芸術劇場 主催の 有料公演チケット <small>※公演当日のみ有効</small>	団体割引 (ご本人のみ)
----------------	---	---	------------------------

外国人割引

外国人の方	外国人の方	パスポート(旅券) または 在留カード	企画展・コレクションセット券 一般 650円/大学生 400円 小中高生 150円 企画展のみ 一般 500円/大学生 300円 小中高生無料
-------	--------------	---	--

★ご提示いただく「会員証」は、有効期限内のものに限ります。

石見美術館の入館料が割引となります。

割引対象施設／サービス名称	割引対象者	ご提示いただくもの	割引内容
提携カード／クーポン／パスポート／その他			
しまねカード	左記の カード をお持ちの方	カード または WEB画面	団体割引 (人数制限なし)
しまね子育て応援パスポート COCCOLO		カード	団体割引 (4名様まで)
ゆめカード			
SDカード			
山陰中央新報さんさんクラブ			
ちゅーピーカード			
やわらぎカード			
萩ファンカード			
E倶楽部(イーカード)			
JAF		カード または WEB画面	
ドUBLEカード		カード	団体割引 (同居ご家族4名様まで)
Reloclub		カード または WEBクーポン	団体割引 (5名様まで)
エルフル	カード または WEB画面	団体割引 (4名様まで)	
石見ぶらり手形	左記の クーポン または パスポート または チケット などをお持ちの方	入場クーポン	企画展・コレクションセット券 500円 ^{※1}
じゃらん		割引クーポン	団体割引 (4名様まで)
雪舟さんパスポート		パスポート	団体割引 (ご本人のみ)
ぶらり中国ドライブパス		申込完了メール(印刷またはWEB画面)	団体割引 (5名様まで)
おいでませパスポート		パスポート	団体割引 (4名様まで)
だんだんチケット		無料招待券 ^{※2}	入館無料 (無料招待券1枚につき1名様)
ミュージアムガイド(書籍)	左記 書籍 をお持ちの方	ミュージアムガイド(書籍)	団体割引 (4名様まで)
美術検定1級アートナビゲーター	左記 資格 をお持ちの方	認定証	団体割引 (2名様まで)

乗車券・航空券

※1 大学生・小中高生無料／コレクション展は対象外です。
※2 だんだんチケットに印刷されています。

高速バス 益田⇄大阪／広島	左記の 交通機関 または サービスを ご利用 の方	往復乗車券	団体割引 (ご本人のみ)
JR益田駅⇄島根県東部(大田市以東)		DWパスポート	
DWパスポート(JR西日本)		1日乗車券	
雪舟ライン		航空券 ^{※3}	
萩・石見空港発着便			

※3 往復・片道のいずれの航空券でも可。

提携館にてグラントワ会員証（共通カードまたはミュージアムパスポート）、石見美術館観覧券（半券）をご提示いただくと、提携館の入館料が割引となります。

提携館名	割引対象	
	グラントワ共通カード ミュージアムパスポート	石見美術館観覧券（半券）

いわみ美術回廊 加盟館

提携館名	割引対象	割引対象
浜田市世界こども美術館	※当面の間割引休止	
津和野町立安野光雅美術館		
浜田市立石正美術館	○	○
益田市立雪舟の郷記念館	○ (会員ご本人のみ)	○
今井美術館		

山口県立美術館		○ (開催中のもの) ※2021年4月1日以降はご利用いただけません。
山口県立萩美術館・浦上記念館	○	
島根県立美術館	○ (会員ご本人のみ)	
サントリー美術館		
DIC川村記念美術館	※当面の間割引休止	
植田正治写真美術館		
足立美術館		
島根県立古代出雲歴史博物館		—
尾道市立美術館		
ひろしま美術館	○ (会員ご本人のみ)	
広島県立美術館		
広島市現代美術館		
愛媛県美術館		

※各施設により割引率や条件等が異なります。詳しくは、それぞれの施設まで直接お問い合わせください。

【いわみ美術回廊】

平成14年4月1日いわみ美術回廊がスタート

参加館：津和野町立安野光雅美術館、三隅町立石正美術館、浜田市世界こども美術館、葛飾北斎美術館、杜塾美術館、益田市立雪舟の郷記念館、今井美術館
(以上7館)

活動内容：①情報コーナーの各館設置②ポスター製作③チラシ製作④加盟館各館の諸催し物の情報をPR誌等へ掲載⑤サービスカードの発行と加盟館全館観覧終了者に記念品(7館グッズ詰め合わせ)贈呈⑥情報交換会の開催

平成17年10月 島根県立石見美術館が加盟し、8館体制となる。

平成27年4月 葛飾北斎美術館が閉館、7館体制となる。

所蔵作品一覧

日本画

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ (cm)
池田 蕉園	小松引	大正時代前期	絹本着色 掛幅装	139.4×51.2
池田 輝方	絵師多賀朝湖流さる	1919年	絹本着色 六曲屏風一双	右193.7×394.4 左193.9×396.0
伊藤 小坡	舟中納涼之図	昭和時代前期	絹本着色 掛幅装	143.8×50.8
今尾 景年	花鳥図	明治時代～大正時代	絹本着色 六曲屏風一双	各156.0×349.5
今尾 景年	柳塘群馬・桃林牧牛図	1900年	絹本着色 六曲屏風一双	各154.9×355.4
雲谷派	四季山水図	桃山時代～江戸時代初期	紙本墨画淡彩 八曲屏風一双	各85.1×354.0
雲谷 等益	山水図	江戸時代初期(寛永年間頃)	紙本墨画淡彩 六曲屏風一双	各156.5×359.4
雲谷 等顔	山水人物花鳥図	桃山時代～江戸時代初期	紙本墨画淡彩 六曲押絵貼屏風一双	各紙121.8×53.3
雲谷 等的	山水図	江戸時代前期	紙本墨画 掛幅装	30.9×57.9
雲谷 等的	観音山水図	江戸時代前期	絹本墨画淡彩 掛幅装三幅対	各103.3×34.5
雲谷派	耕作図	桃山時代～江戸時代初期	紙本墨画淡彩 六曲屏風一隻	152.2×346.2
榎本 千花俊	揚揚戯	1933年	絹本着色 額装	221.2×173.6
榎本 千花俊	池畔春興	1932年	絹本着色 額装	261.0×207.3
榎本 千花俊	口紅を描く	1935年	絹本着色 掛幅装	139×57
榎本 千花俊	春雪	昭和時代前期	絹本着色 掛幅装	131×42
岡野 洞山	竹林七賢・商山四皓図	1848年	紙本墨画淡彩 六曲屏風一双	各159.4×363.0
海北 友松	祖師図(達磨・巖頭)	桃山時代	紙本墨画 掛幅装双幅	各106.5×50.6
柿内 青葉	池	1933年	絹本着色 掛幅装	128×42
狩野 伊川院 栄信	富士三保清見寺図	江戸時代後期	絹本墨画 掛幅装	34.2×64.7
狩野 松栄	益田元祥像	1582～1592年頃	絹本着色 掛幅装	108.4×51.7
鎌木 清方	花見幕	昭和時代初期	絹本着色 掛幅装	141.2×50.6
川村 曼舟	牧牛図	大正時代	絹本着色 六曲屏風一隻	152.0×356.0
菊池 華秋	雪晴	1938年	絹本着色 額装	189.8×202.2
菊池 隆志	室内	1934年	紙本着色 額装	146.4×164.4
菊池 隆志	初夏遊園	1928年	絹本着色 額装	206.0×112.8
北野 以悦	春	1931年	絹本着色 額装	191.0×142.0
北野 恒富	むすめ	1925年	紙本着色 額装	190.5×89.0
北野 恒富	狂女	大正時代～昭和時代初期	絹本着色 掛幅装	130.0×50.0
啓孫	騎驢人物図	室町時代後期	紙本墨画 掛幅装	91.0×31.0
近衛 信尹	渡唐天神図	桃山時代	紙本墨画 掛幅装	95.0×39.2
小早川 清	旗亭涼宵	1933年	絹本着色 額装	197.0×113.0
小早川 清	宵	1936年	絹本着色 額装	216.8×111.7
小堀 鞆音	舞楽図	明治時代末期～昭和時代初期	紙本金地着色 六曲屏風一双	各162.3×358.2
斎藤 等室	山水図	江戸時代前期	紙本墨画 掛幅装	31.0×50.6
島崎 柳塙	汐風	明治時代後期	絹本着色 掛幅装	109.0×48.6
周恵	達磨図	室町時代後期	紙本墨画 掛幅装	51.7×28.0
曾我 蕭白	楼閣山水図	江戸時代中期	紙本墨画 掛幅装	134.8×52.2
曾我 宗丈	面壁達磨図	室町時代後期	紙本墨画 掛幅装	51.0×33.0
曾我 二直菴	鷲鷹図	江戸時代前期	紙本墨画 掛幅装双幅	各118.0×51.8
曾田 友栢	達磨図	桃山時代～江戸時代初期	紙本墨画 掛幅装	27.1×23.6
尊俊	竜虎図	室町時代後期	紙本墨画 掛幅装双幅	各86.9×43.0
竹内 栖鳳	藤花薺花群犬図	1889年	紙本着色 六曲屏風一双	各155.0×360.0
田中 頼璋	白雲紅樹	1934年	絹本着色 額装	226.0×174.5
田中 頼璋	林和靖愛鶴図	1935年	絹本着色、軸	129.4×41.6
谷 文晁	滝図	1828年	絹本着色 掛幅装双幅	各96.7×35.4
寺崎 広業	竹裡館観月	明治時代後期～大正時代初期	絹本着色 掛幅装	139.6×70.8
等碩	牧童図	室町時代後期	紙本墨画淡彩 掛幅装	26.3×33.7
富岡 鉄斎	江山招隠図	1907年	絹本着色 掛幅装	111.0×42.6
中林 竹洞	湖山清遠図	1834～1837年	絹本墨画 掛幅装	144.2×53.5
中林 竹洞	秋卉鴛鴦図	1831年	絹本着色 掛幅装	128.7×42.4
中林 竹溪	秋草群雀図	江戸時代後期	絹本着色 掛幅装	112.8×52.6
西 晴雲	湖南漁舟・緑陰仙居図	1928年	紙本着色 六曲屏風一双	各154.4×381.0
西 晴雲	四季花木図	1920～1925年頃	紙本着色 掛幅装四幅対	各167.8×47.3
橋本 明治	莊園	1934年	絹本着色 額装	233.6×142.2
橋本 明治	蓮を聴く	1936年	絹本着色 額装	156.8×221.8
長谷川派	武蔵野図	桃山時代～江戸時代初期	紙本金地着色 六曲屏風一双	各165.8×367.2
平福 百穂	七面鳥・鴨	1914年	紙本着色 掛幅装双幅	各124.8×59.1
広田 多津	ふたり	1938年	紙本着色 額装	204.6×135.3
不二木 阿古	爽朝	1941年	絹本着色 掛幅装	129×41

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ (cm)
松本 楓湖	和装西洋婦人像	明治時代前期	絹本着色 額装	102.0×45.2
松本 楓湖	後醍醐帝観桜樹図	明治時代末期～大正時代	絹本着色 掛幅装	125×71
松本 楓湖	八岐大蛇図	1909年	絹本着色 掛幅装	150×70
円山 応挙	柿本人麿像	1765年頃	紙本墨画 掛幅装	93.8×28.0
武藤 嘉門	ショー・ウインドウ	1937年	紙本着色 額装	242.7×546.0
山田 喜作	真夏の港	1932年	絹本着色 額装	212.3×197.8
山田 喜作	湘南初夏	1931年	絹本着色 額装	245×174.5
山田 道安	芦雁図	室町時代末期～桃山時代初期	紙本墨画 掛幅装	各86.6×40.4
山本 栞谷	年中行事図	江戸時代末期	紙本着色 六曲押絵貼屏風一双	各139.0×304.2
山本 栞谷	瀧見観音図	江戸時代末期	紙本墨画淡彩 掛幅装	106.0×29.6
山本 栞谷	月下横臥図	1860年	絹本淡彩 掛幅装	159.0×50.7
山本 梅逸	山水図	1833年	紙本墨画 掛幅装	127.6×57.0
横山 大観	水温む	1954年	紙本墨画 額装	70.0×92.2
不詳	舞踊図	江戸時代初期	紙本金地着色 二曲屏風一隻	149.6×170.0
不詳	人麿像	江戸時代前期～中期	紙本金地着色 六曲屏風一隻	145.0×355.3
不詳	遊女柳橋扇面流図	江戸時代前期	紙本着色 六曲屏風一隻	108.6×343.0

油彩画

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ (cm)
石井 柏亭	芙蓉湖	1950年	油彩、カンヴァス	72.5×91.0
岩本 拓郎	無題	1978年	アクリル、シナベニヤ、角材	145.0×382.0
岩本 拓郎	無題	1979年	アクリル、シナベニヤ、角材	182.0×358.0
大下 藤次郎	野の道	1894～97年頃	油彩、カンヴァス	23.5×17.5
岡田 三郎助	黒き帯	1915年	油彩、カンヴァス	62.0×45.3
香月 泰男	ヴァンドーム広場	1973年	油彩、カンヴァス	91.0×48.0
香月 泰男	鯉と犬	1950年	油彩、カンヴァス	60.1×40.7
鹿子木 孟郎	加茂ノ森	1923年	油彩、カンヴァス	100.0×100.0
鹿子木 孟郎	舞子の浜	1914年	油彩、カンヴァス	76.0×40.0
川村 清雄	緑蔭牧牛図	大正時代～昭和時代初期	油彩、絹本	23.0×74.0
岸田 劉生	静物	1920年	油彩、カンヴァス	39.6×52.0
喜多村 知	滞船	1972年	油彩、カンヴァス	71.5×115.5
喜多村 知	北国の家(北溟随感)	1977年	油彩、カンヴァス	111.0×161.0
喜多村 知	北溟随感	1977年	油彩、カンヴァス	95.7×144.0
黒田 清輝	ボブラの黄葉	1891年	油彩、カンヴァス	65.4×80.8
黒田 清輝	裸体	1889年	油彩、カンヴァス	80.0×43.8
児島 善三郎	椅子による	1925～28年頃	油彩、カンヴァス	130.3×97.0
小堀 四郎	ブルターニュの男	1930年	油彩、紙	41.0×32.8
椿 貞雄	冬瓜南瓜図	1947年	油彩、カンヴァス	37.7×90.9
寺戸 恒晴	持石海岸	1977年	油彩、紙	26.8×37.8
東郷 青児	婦人像	1930～35年頃	油彩、カンヴァス	65.0×53.0
堂本 尚郎	宇宙I	1978年	アクリル、カンヴァス	200.0×600.0
中尾 彰	川村(冬景)	1923年	油彩、カンヴァス、額装	72.9×91.0
中尾 彰	山麓	1955年	油彩、カンヴァス、額装	73.0×116.5
中川 八郎	初秋の夕	1919年	油彩、カンヴァス	94.5×121.6
長原 孝太郎	風景	1921年	油彩、板	32.7×24.0
中村 不折	裸体	1903～05年頃	油彩、カンヴァス	99.8×79.7
中村 不折	裸婦	1900～20年頃	油彩、カンヴァス	80.0×60.7
原田 直次郎	男児肖像	1887～98年頃	油彩、カンヴァス	30.3×21.9
藤島 武二	西洋婦人像	1908～09年頃	油彩、カンヴァス	58.3×39.1
藤田 嗣治	アントワープ港の眺め	1923年	油彩、カンヴァス	170.0×224.0
藤田 嗣治	婦人像	1939年	油彩、カンヴァス	57.6×71.2
満谷 国四郎	風景	1913～25年頃	油彩、カンヴァス	53.0×45.5
満谷 国四郎	雑木林	1922年	油彩、カンヴァス	45.5×53.3
宮 芳平	風景	1912～25年頃	油彩、カンヴァス	32.0×41.0
宮 芳平	自画像	1920年	油彩、カンヴァス	53.3×45.7
安井 曾太郎	水浴図	1912～25年頃	油彩、カンヴァス	91.0×72.0
山崎 修二	二人の少女	1931年	油彩、カンヴァス	130×96.5
山崎 修二	少女像	1931年	油彩、カンヴァス	100.0×81.0
山崎 修二	初冬	1936年	油彩、カンヴァス	130.0×161.0
山崎 修二	夏	1936年	油彩、カンヴァス	73.0×91.0
山崎 修二	残雪のある庭	1938年	油彩、カンヴァス	111.0×144.0
山崎 修二	髪	1939年	油彩、カンヴァス	131.0×97.0
山崎 修二	風景(仮題)	1941年	油彩、カンヴァス	73.0×91.0

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ (cm)
山崎 修二	窓辺の静物	1950年	油彩、カンヴァス	91.0×116.5
山崎 修二	山懐の早春	1953年	油彩、カンヴァス	91.0×73.0
山崎 修二	緑の静物	1955年	油彩、カンヴァス	130.0×80.0
山崎 修二	港通りの家	1998年	油彩、カンヴァス	53.0×66.0
山中 徳次	木部海岸(大谷)	1936年頃	油彩、板	24.5×33.0
山本 鼎	筍	1938年	油彩、カンヴァス	41.2×53.3
吉田 博	風景	1911～20年頃	油彩、カンヴァス	60.6×50.0
和田 英作	風景	1914年	油彩、カンヴァス	52.2×71.6
和田 英作	海神	1918年	油彩、カンヴァス	53.0×41.0
ガブリエル・フォン・マックス	聖女テレゼ・メルルクス	1868年	油彩、カンヴァス	67.8×55.8
ガブリエル・フォン・マックス	煙を出す壺を抱く女性	19世紀末～20世紀初期	油彩、カンヴァス	85.4×65.2
ラウル・デュフィ	水上の祭	1920～22年頃	油彩、カンヴァス	81.8×100.2
ラファエル・コラン	若い女性の肖像	1889年	油彩、カンヴァス	65.0×54.0

版 画

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ (cm)
鬚 嘸	鳳凰I	1983年	紙、シルクスクリーン	31.0×30.0
畦地 梅太郎	火の山	1973年	木版、紙	29.5×22.1
畦地 梅太郎	ささやき	1978年	木版、紙	25.0×26.0
畦地 梅太郎	園谷の残雪	1967年	木版、紙	46.6×37.3
畦地 梅太郎	鳥と山男	1983年	木版、紙	36.8×46.8
有元 利夫	1983年展覧会ポスター	1983年	銅版、紙	48.7×35.2
石井 柏亭	木場	1914年	木版、紙	24.0×18.0
織田 一磨	石見有福温泉	1925年	木版、紙	39.0×27.0
岸田 劉生	岸田劉生個展ポスター	1919年	木版、紙	70.0×25.5
小林 敬生	蘇生の刻—早春	1988年	木口木版、紙	35.7×25.3
笹島 喜平	不動明王No90	不詳	木版、紙	47.0×34.8
殿敷 侃	釘(仮題)	不詳	銅版、紙	26.9×31.3
殿敷 侃	不明(ノコ)	不詳	アクアチント、紙 ED: 1/30	14.5×24.4
殿敷 侃	不明(釣針)	不詳	アクアチント、紙 ED: 19/40	4.2×4.4
殿敷 侃	クシ	不詳	アクアチント、紙 ED: 8/20	4.8×8.8
殿敷 侃	不明(くし(長柄))	不詳	アクアチント、紙 ED: 42/45	19.2×14.2
殿敷 侃	不明(新聞)	昭和56年(1981)頃	シルクスクリーン、新聞紙	163.2×81.3×3.0
殿敷 侃	新聞	昭和56年(1981)	シルクスクリーン、新聞紙	163.3×81.2×3.0
杉浦 非水	産業組合中央会 第二次産業組合拡充三ヶ年計画	1937年	印刷、紙	81.0×57.0
杉浦 非水	東亜ペイント製造株式会社 銅化塗料ノーワン	1920年代	印刷、紙	65.3×37.8
杉浦 非水	宮崎県 日向の早熟 蔬菜と果実	1928年	印刷、紙	106.1×74.9
永瀬 義郎	折り	1956年	木版、紙(紺紙金刷)	51.0×38.0
永瀬 義郎	画家	1963年	木版、紙	61.0×43.5
永瀬 義郎	祭壇の処女	1975年	リトグラフ、紙	80.3×65.0
平塚 運一	裸婦百態「芝生」	1995年	木版、紙	22.0×18.0
古沢 岩美	裸婦(仮題)	不詳	銅版、紙	22.8×18.0
宮 芳平	自画像	1934年	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	黒百合	1934年	エッチング、紙	12.2×9.0
宮 芳平	門	1934年	エッチング、紙	9.1×2.0
宮 芳平	ハヶ嶽	1934年	エッチング、紙	8.7×18.2
宮 芳平	ブラジルへ行った人の家	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	御神木	1934年	エッチング、紙	9.0×11.8
宮 芳平	水	1935年頃	エッチング、紙	9.0×11.8
宮 芳平	雨 その1	1935年頃	エッチング、紙	9.0×9.4
宮 芳平	雨 その2	1935年頃	エッチング、紙	9.0×10.8
宮 芳平	コスモス	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	雲	1933年	エッチング、紙	10.0×12.0
宮 芳平	田舎(三日月)	1935年頃	エッチング、紙	6.0×9.0
宮 芳平	茄子	1935年頃	エッチング、紙	6.0×9.0
宮 芳平	おぼろの太陽	1935年頃	エッチング、紙	18.0×9.0
宮 芳平	松	1935年	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	昭子像	1935年	エッチング、紙	9.0×6.0

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ (cm)
宮 芳平	自画像(眼を病める)	1935年	エッチング、紙	11.8×9.0
宮 芳平	旧校舎(雪)	1935年	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	室内	1935年	エッチング、紙	6.0×9.0
宮 芳平	月(望月)	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	コーヒーわかし	1935年	エッチング、紙	12.0×9.0
宮 芳平	山(年賀状)	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	ポプラと湖	1935年頃	エッチング、紙	6.0×9.0
宮 芳平	枯野	1935年頃	エッチング、紙	6.0×6.3
宮 芳平	水辺	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	山湖	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	郊外	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	叢	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	山(冬の裏山)	1935年頃	エッチング、紙	10.0×8.0
宮 芳平	もろこしとトマト	1935年	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	山と月	1935年頃	エッチング、紙	12.0×9.0
宮 芳平	庭の花(すみれ)	1935年頃	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	庭の花(桜草)	1935年頃	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	庭の花(くりん草)	1935年頃	エッチング、紙	6.2×6.0
宮 芳平	茄子の木	1935年頃	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	裏山	1935年頃	エッチング、紙	12.0×18.0
宮 芳平	湖と乙女	1935年頃	エッチング、紙	9.0×9.0
宮 芳平	湖と乙女(月)	1935年頃	エッチング、紙	9.0×9.0
宮 芳平	実のなる木	1935年	エッチング、紙	8.8×12.0
アンリ・ド・トゥルーズ=ロートレック	ディヴァン・ジャポネ	1892～93年	リトグラフ、紙	80.8×60.8
ウイーン工房(フレーグル、リックス他)	「女性の生活」(20点組)	1916年	木版・一部水彩加筆、紙	39.5×29.5
ジャン・エミール・ラブレール	マリー・ローランサンの肖像	1914年	木版、紙	25.0×22.0
ジャン・エミール・ラブレール	ビュット・ショーモン公園風景	1921年	エッチング、紙	20.0×23.0
ジョルジュ・ルパープ	『ポール・ボワレの作品』	1911年	ファッションプレート12枚 エキストラプレート3枚	
ソニア・ドロネー	『絵画・オブジェ・同時的テキスタイル・モード』	1925年	ファッションプレート20枚	57.0×38.5
ダゴベルト・ベッヒエ	着衣の少女	不詳	彩色、版画	30.0×22.5
テオフィル=アレクサンドル・スタンラン	オートバイ・コミオ	1899年	リトグラフ、紙	200.0×140.0
ピエール・ボナール	雑誌『ルヴェ・ブランシュ』のためのポスター	1894年	リトグラフ、紙	80.0×62.0
ポール・イリーブ	『ポール・ボワレのドレス』	1908年	ファッションプレート10枚	
ラウル・デュフィ	狩猟	1910年頃	木版、紙	21.0×64.0
ラウル・デュフィ	ダンス	1910年頃	木版、紙	31.2×31.3
ロッテ・カルム	「モード・ウィーン 1914/15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
アニィ・シュレーダー	「モード・ウィーン 1914/15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
アニィ・シュレーダー	「モード・ウィーン 1914/15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
イレネー・シャシュル	「モード・ウィーン 1914/15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
イレネー・シャシュル	「モード・ウィーン 1914/15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ガビ・メーシュル	「モード・ウィーン 1914/15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ゲルトルート・ヴァインベルガー	「モード・ウィーン 1914/15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ダゴベルト・ベッヒエ	「モード・ウィーン 1914/15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ヒルダ・イエッサー	「モード・ウィーン 1914/15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ヒルダ・イエッサー	「モード・ウィーン 1914/15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
フリッツィ・レーヴ	「モード・ウィーン 1914/15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
マックス・スニシェク	「モード・ウィーン 1914/15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
	『ガゼット・デュ・ボン・トン』	1912～25年	冊子69冊、ファッションプレート721枚	

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ (cm)
	『モード・エ・マニエル・ドール・ジュールドゥイ』	1912～22年	冊子7冊、ファッションプレート84枚	
	『ジュルナル・デ・ダーム・エ・デ・モード』	1912～14年	冊子80冊、ファッションプレート188枚	

水彩画

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ (cm)
五百城 文哉	富士図	1893～1906年頃	水彩、紙	62.0×94.0
大下 藤次郎	下駄屋の店先	1892年	水彩、紙	18.8×23.8
大下 藤次郎	貸家の裏口	1892年	水彩、紙	27.0×15.4
大下 藤次郎	風景習作1	1892年	水彩、紙	14.5×20.0
大下 藤次郎	人物習作1	1892年	水彩、紙	21.8×14.0
大下 藤次郎	呉服屋	1892年	水彩、紙	18.4×25.8
大下 藤次郎	風景習作2	1892年	水彩、紙	23.4×32.4
大下 藤次郎	門と人物1	1892年	水彩、紙	28.2×21.6
大下 藤次郎	西総田舎の景	1893年	水彩、紙	29.6×38.0
大下 藤次郎	風景習作3	1893年	水彩、紙	22.0×14.3
大下 藤次郎	風景習作4	1893年	水彩、紙	16.6×24.4
大下 藤次郎	風景習作5	1893年	水彩、紙	14.0×21.0
大下 藤次郎	門と人物2	1893年	水彩、紙	22.6×14.9
大下 藤次郎	門と人物3・小石川	1893年	水彩、紙	22.6×15.1
大下 藤次郎	橋のある風景	1893年	水彩、紙	13.7×20.9
大下 藤次郎	つり	1895年	水彩、紙	15.5×24.2
大下 藤次郎	京都近郊	1895年	水彩、紙	11.3×17.8
大下 藤次郎	川口	1895年	水彩、紙	12.3×17.4
大下 藤次郎	風景習作6・ 28年10月13日	1895年	水彩、紙	23.8×15.2
大下 藤次郎	風景習作7・ 28年10月17日	1895年	水彩、紙	15.2×22.2
大下 藤次郎	風景習作8・ 28年10月20日	1895年	水彩、紙	13.8×23.6
大下 藤次郎	穴森神社	1895年	水彩、紙	14.2×18.7
大下 藤次郎	武州七国峠	1895年	水彩、紙	13.9×24.1
大下 藤次郎	相州塩川瀑	1895年	水彩、紙	24.4×15.5
大下 藤次郎	八王子河原	1895年	水彩、紙	13.3×18.6
大下 藤次郎	荒川	1895年	水彩、紙	13.2×23.7
大下 藤次郎	戸山	1895年	水彩、紙	14.9×24.2
大下 藤次郎	塔のある風景(三重の塔)	1896年	水彩、紙	32.5×21.4
大下 藤次郎	日暮里	1896年	水彩、紙	18.3×29.8
大下 藤次郎	修善寺	1896年	水彩、紙	20.4×32.8
大下 藤次郎	多摩川上流	1896年	水彩、紙	21.0×32.4
大下 藤次郎	小石川	1896年	水彩、紙	21.7×30.0
大下 藤次郎	館山	1896年	水彩、紙	21.2×32.6
大下 藤次郎	小丹波	1896年	水彩、紙	31.5×21.1
大下 藤次郎	仁和寺五重塔	1896年	水彩、紙	31.7×20.8
大下 藤次郎	天真院	1896年	水彩、紙	25.4×17.8
大下 藤次郎	仁和寺山門	1896年	水彩、紙	19.2×27.1
大下 藤次郎	賀茂	1896年	水彩、紙	32.3×20.3
大下 藤次郎	桜	1896年	水彩、紙	21.7×13.9
大下 藤次郎	境内	1896年	水彩、紙	15.3×21.6
大下 藤次郎	修善寺	1896年	水彩、紙	20.8×32.2
大下 藤次郎	白丸	1896～1897年頃	水彩、紙	20.6×32.2
大下 藤次郎	裸婦	1897年	水彩、紙	44.0×34.6
大下 藤次郎	裸婦	1897年	水彩、紙	43.9×29.3
大下 藤次郎	裸婦	1897年	水彩、紙	29.4×22.4
大下 藤次郎	富士を望む	1897年	水彩、紙	19.2×32.4
大下 藤次郎	日光	1897年	水彩、紙	25.6×39.2
大下 藤次郎	巢鴨の牛小屋	1897年	水彩、紙	20.6×32.6
大下 藤次郎	越ヶ谷の春色	1897年	水彩、紙	19.8×32.0
大下 藤次郎	綾瀬	1897年	水彩、紙	18.2×31.4
大下 藤次郎	興津	1897年	水彩、紙	15.7×32.6
大下 藤次郎	相模 (AKIYA SAGAMI)	1897年	水彩、紙	21.4×33.0
大下 藤次郎	ニューヘヴン	1897年	水彩、紙	30.6×20.4
大下 藤次郎	興津	1897年	水彩、紙	15.4×32.5

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ (cm)
大下 藤次郎	巢鴨	1897年	水彩、紙	18.2×30.0
大下 藤次郎	風景習作9	1897年	水彩、紙	20.4×31.0
大下 藤次郎	粟田	1897年	水彩、紙	15.7×31.4
大下 藤次郎	武蔵	1897年	水彩、紙	31.2×21.7
大下 藤次郎	浜辺の船	1898年	水彩、紙	19.2×33.0
大下 藤次郎	坂本	1898年	水彩、紙	24.9×38.1
大下 藤次郎	宮の下	1898年	水彩、紙	25.4×39.4
大下 藤次郎	シドニー南端	1898年	水彩、紙	22.2×34.5
大下 藤次郎	シドニー、 ニューサウス・ウェールズ	1898年	水彩、紙	23.3×34.4
大下 藤次郎	シドニー	1898年	水彩、紙	22.6×33.2
大下 藤次郎	メルボルン港	1898年	水彩、紙	23.0×33.5
大下 藤次郎	モートン岬、 クイーンズランド	1898年	水彩、紙	23.2×34.5
大下 藤次郎	サンドゲート、 クイーンズランド	1898年	水彩、紙	23.0×34.8
大下 藤次郎	ロイヤルパーク、 メルボルン	1898年	水彩、紙	20.7×31.4
大下 藤次郎	プリスパーン河	1898年	水彩、紙	23.0×34.8
大下 藤次郎	プリスパーン河	1898年	水彩、紙	22.5×34.5
大下 藤次郎	金剛甲板にて	1898年	水彩、紙	40.2×26.9
大下 藤次郎	シドニー湾	1898年	水彩、紙	22.4×34.4
大下 藤次郎	赤道直下にて	1898年	水彩、紙	21.9×34.4
大下 藤次郎	アトリエの画家	1898年	水彩、紙	33.4×22.3
大下 藤次郎	信州の夏	1899年	水彩、紙	50.0×71.5
大下 藤次郎	つつじ	1899年	水彩、紙	32.5×47.4
大下 藤次郎	峠の木	1899年	水彩、紙	30.8×20.6
大下 藤次郎	雲の観察・明治32年 9月13日・正午・南	1899年	水彩、紙	15.8×26.0
大下 藤次郎	雲の観察・9月下旬・ 西方午後5時	1899年	水彩、紙	17.3×25.7
大下 藤次郎	雲の観察(明治33年 11月21日朝 東)	1900年	水彩、紙	18.0×27.4
大下 藤次郎	雲の観察(明治33年 12月5日 西南方)	1900年	水彩、紙	18.2×27.2
大下 藤次郎	城跡	1903年	水彩、紙	27.7×38.8
大下 藤次郎	仁王門(山門)	1903~1911年頃	水彩、紙	22.1×33.6
大下 藤次郎	ポピー	1903~1911年頃	水彩、紙	31.2×45.8
大下 藤次郎	野の花	1903~1911年頃	水彩、紙	22.0×33.3
大下 藤次郎	せせらぎ	1903~1911年頃	水彩、紙	25.8×36.5
大下 藤次郎	暮景	1903~1911年頃	水彩、紙	18.0×34.3
大下 藤次郎	河原	1903~1911年頃	水彩、紙	22.2×32.8
大下 藤次郎	桜	1903~1911年頃	水彩、紙	19.0×29.5
大下 藤次郎	夕日	1903~1911年頃	水彩、紙	13.1×19.3
大下 藤次郎	湖上の雲	1903~1911年頃	水彩、紙	22.8×34.2
大下 藤次郎	入江	1903~1911年頃	水彩、紙	23.0×34.0
大下 藤次郎	山の眺め	1903~1911年頃	水彩、紙	33.6×23.1
大下 藤次郎	浜辺の松	1903~1911年頃	水彩、紙	36.4×25.2
大下 藤次郎	青梅	1904年	水彩、紙	33.4×22.4
大下 藤次郎	青梅	1904年	水彩、紙	33.9×22.2
大下 藤次郎	河原	1904年	水彩、紙	52.0×74.5
大下 藤次郎	寄居	1904年	水彩、紙	22.4×34.1
大下 藤次郎	秋の雲	1904年	水彩、紙	32.9×49.7
大下 藤次郎	林間	1904年	水彩、紙	22.3×33.8
大下 藤次郎	木立	1904年	水彩、紙	34.0×22.4
大下 藤次郎	村の寺	1904年	水彩、紙	29.8×19.9
大下 藤次郎	天ヶ瀬	1904年	水彩、紙	17.6×26.5
大下 藤次郎	早春	1904年	水彩、紙	22.9×33.7
大下 藤次郎	風景	1904年	水彩、紙	22.0×34.0
大下 藤次郎	秋谷の漁村	1905年	水彩、紙	48.8×69.7
大下 藤次郎	浪	1905年	水彩、紙	22.3×33.2
大下 藤次郎	磐梯山噴火口	1906年	水彩、紙	22.9×34.1
大下 藤次郎	風景	1906年	水彩、紙	10.3×20.8
大下 藤次郎	船のある風景	1906年	水彩、紙	10.4×20.8
大下 藤次郎	水辺風景5	1906年	水彩、紙	22.8×33.9
大下 藤次郎	多摩川	1906年頃	水彩、紙	22.6×32.7

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ (cm)
大下 藤次郎	磐梯山噴火口	1907年	水彩、紙	34.2×51.9
大下 藤次郎	多摩川畔	1907年	水彩、紙	48.8×69.7
大下 藤次郎	波	1907年	水彩、紙	26.1×46.4
大下 藤次郎	甲州駒ヶ岳	1907年	水彩、紙	22.1×33.0
大下 藤次郎	猪苗代	1907年	水彩、紙	66.7×48.2
大下 藤次郎	穂高山の残雪	1907年	水彩、紙	22.2×33.2
大下 藤次郎	檜原湖の秋	1907年	水彩、紙	61.2×97.2
大下 藤次郎	猪苗代	1907年頃	水彩、紙	23.5×33.9
大下 藤次郎	飯坂	1907年頃	水彩、紙	30.8×45.6
大下 藤次郎	湖水を望む	1907年頃	水彩、紙	22.9×34.8
大下 藤次郎	徳本小屋のほとり	1907年頃	水彩、紙	21.9×33.2
大下 藤次郎	興津	1907年頃	水彩、紙	22.5×33.2
大下 藤次郎	浮き雲	1907～1911年頃	水彩、紙	31.3×45.6
大下 藤次郎	生け花	1907～1911年頃	水彩、紙	33.7×22.8
大下 藤次郎	秋海棠	1907～1911年頃	水彩、紙	34.8×22.4
大下 藤次郎	森	1907～1911年頃	水彩、紙	25.7×36.5
大下 藤次郎	山あいの道	1907～1911年頃	水彩、紙	25.6×36.5
大下 藤次郎	高原	1907～1911年頃	水彩、紙	27.6×39.8
大下 藤次郎	秋の夕	1907～1911年頃	水彩、紙	30.8×45.6
大下 藤次郎	山上の眺め	1908年	水彩、紙	22.3×32.6
大下 藤次郎	残雪	1908年	水彩、紙	22.3×33.2
大下 藤次郎	水芭蕉	1908年	水彩、紙	33.2×22.5
大下 藤次郎	松	1908年	水彩、紙	31.2×46.2
大下 藤次郎	波の音	1908年	水彩、紙	22.0×33.1
大下 藤次郎	富士を望む	1909年	水彩、紙	30.5×45.4
大下 藤次郎	静物 林檎	1909年	水彩、紙	33.6×50.3
大下 藤次郎	庭の一隅(コスモス)	1909年	水彩、紙	26.4×37.0
大下 藤次郎	西山峠	1909年	水彩、紙	32.9×22.2
大下 藤次郎	浜辺の家	1910年	水彩、紙	25.7×36.6
大下 藤次郎	小豆島	1910年	水彩、紙	25.4×36.5
大下 藤次郎	初夏	1910年頃	水彩、紙	25.9×36.6
大下 藤次郎	宍道湖の黄昏	1911年	水彩、紙	25.6×36.8
大下 藤次郎	美寿賀城跡	1911年	水彩、紙	25.8×36.5
大下 藤次郎	秩父琴平山	不詳	水彩、紙	17.5×11.4
大下 藤次郎	宿場	不詳	水彩、紙	21.9×33.1
大下 藤次郎	船のある風景	不詳	水彩、紙	22.6×33.0
大下 藤次郎	波	不詳	水彩、紙	22.2×32.9
大下 藤次郎	富士山	不詳	水彩、紙	27.9×35.5
大下 藤次郎	帆船	不詳	水彩、紙	34.3×22.9
大下 藤次郎	入江	不詳	水彩、紙	11.0×17.9
大下 藤次郎	風景	不詳	水彩、紙	13.4×18.5
大下 藤次郎	舟のある風景	不詳	水彩、紙	13.8×20.2
大下 藤次郎	池	不詳	水彩、紙	15.0×23.2
大下 藤次郎	川	不詳	水彩、紙	22.8×34.4
大下 藤次郎	紫陽花	不詳	水彩、紙	32.2×22.2
大下 藤次郎	海	不詳	水彩、紙	23.0×33.7
大下 藤次郎	樹林	不詳	水彩、紙	20.7×31.1
大下 藤次郎	風景	不詳	水彩、紙	14.2×20.4
大下 藤次郎	木立	不詳	水彩、紙	22.0×33.0
大下 藤次郎	朝	不詳	水彩、紙	23.0×33.9
大下 藤次郎	緑陰	不詳	水彩、紙	25.4×36.9
大下 藤次郎	波	不詳	水彩、紙	16.2×24.4
大下 藤次郎	風景	不詳	水彩、紙	15.3×38.4
大下 藤次郎	風景習作10	不詳	水彩、紙	15.4×23.4
大下 藤次郎	風景習作11	不詳	水彩、紙	14.8×22.1
大下 藤次郎	菊花	不詳	水彩、紙	34.0×23.0
大下 藤次郎	水辺風景1	不詳	水彩、紙	22.4×32.8
大下 藤次郎	水辺風景2	不詳	水彩、紙	22.0×33.2
大下 藤次郎	水辺風景3	不詳	水彩、紙	22.3×33.0
大下 藤次郎	雪の山1	不詳	水彩、紙	25.4×36.6
大下 藤次郎	水辺風景4	不詳	水彩、紙	21.9×32.2
大下 藤次郎	庭園	不詳	水彩、紙	22.1×33.0
大下 藤次郎	水辺風景6	不詳	水彩、紙	33.2×22.1
大下 藤次郎	坂道の家並み	不詳	水彩、紙	37.0×25.4

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ (cm)
大下 藤次郎	釣鐘	不詳	水彩、紙	26.2×17.7
大下 藤次郎	崖	不詳	水彩、紙	33.0×22.3
大下 藤次郎	水辺の小屋	不詳	水彩、紙	33.7×23.4
大下 藤次郎	雪の山2	不詳	水彩、紙	22.2×33.0
大下 藤次郎	水辺の山	不詳	水彩、紙	30.7×46.2
大下 藤次郎	雪の山3	不詳	水彩、紙	25.8×36.5
大下 藤次郎	水辺の木立	不詳	水彩、紙	30.6×46.4
大下 藤次郎	雪の山4	不詳	水彩、紙	31.4×46.2
大下 藤次郎	富士山	不詳	水彩、紙	25.4×36.6
大下 藤次郎	樹木	不詳	水彩、紙	32.7×22.6
大下 藤次郎	樹木習作	不詳	水彩、紙	33.5×22.1
大下 藤次郎	船着き場	不詳	水彩、紙	23.6×15.8
大下 藤次郎	寺の境内	不詳	水彩、紙	14.0×17.6
大下 藤次郎	秋の川辺	不詳	水彩、紙	15.2×23.4
大下 藤次郎	海洋	不詳	水彩、紙	29.8×50.4
大下 藤次郎	溪流	不詳	水彩、紙	22.4×32.9
大下 藤次郎	金色夜叉絵葉書下絵 5点	不詳	水彩、紙	22.3×33.2
大橋 正堯	農家	1896年	水彩、紙	9.1×14.4
加賀羅 聡	三浦浩著『津和野物語』挿絵	1986年	水彩、紙	21.8×17.4
喜多村 知	津和野町雪景色(B)	1946年頃	水彩、紙	33.0×48.0
草間 彌生	(18C)	1958年	グアッシュ・パステル、紙	67.5×53.7
草間 彌生	(18D)	1956年	グアッシュ・パステル、紙	58.4×43.3
草間 彌生	(18J)	1954年	グアッシュ・パステル、紙	61.0×45.7
草間 彌生	(18L)	1957年	グアッシュ・パステル、紙	67.5×53.6
草間 彌生	(18M)	1957年	グアッシュ・パステル、紙	67.8×53.8
草間 彌生	(18Q)	1956年	グアッシュ・パステル、紙	61.0×45.7
草間 彌生	FLOWER Q.S.A	1954年	グアッシュ・パステル、紙	32.5×33.4
草間 彌生	HORIZONTAL-B	1953年	グアッシュ・パステル、紙	28.0×28.0
草間 彌生	No.235.Q.2	1953年	グアッシュ・パステル、紙	32.5×30.7
草間 彌生	The Heat	1952年	グアッシュ・パステル、紙	29.8×24.8
草間 彌生	帽子	1975年	フォトコラージュ・水彩・パステル、紙	39.5×54.5
後藤 工志	風景	1912～1929年頃	水彩、紙	15.7×21.7
丸山 晚霞	百合	大正3年(1914)頃	水彩、紙	34.8×26.0
三宅 克己	農村風景	1896年	水彩、紙	28.5×48.5
三宅 克己	伊豆風景	1926～1945年	水彩、紙	49.0×65.8
マリア・リカルツ	無題(青いドレスに青い帽子、赤い星印の上に立つ女性)	1916年	水彩、紙	26.4×25.6
マリア・リカルツ	無題(扇を持つピンクのドレスを着た女性)	1916年	水彩、紙	26.4×25.6

素描

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ (cm)
大下 藤次郎	馬	1892年	鉛筆、紙	17.6×14.0
大下 藤次郎	高田千歳町	1892年	鉛筆、紙	28.5×38.3
大下 藤次郎	十二社裏	1893年	鉛筆、紙	24.8×18.7
大下 藤次郎	越前堀	1893年	鉛筆、紙	19.4×25.4
大下 藤次郎	四ッ谷 谷町	1893年	鉛筆、紙	29.2×37.8
大下 藤次郎	小石川白山御殿側	1893年	鉛筆、紙	29.4×38.1
大下 藤次郎	護国寺内	1893年	鉛筆・水彩、紙	25.0×18.9
大下 藤次郎	椿	1894年	鉛筆、紙	19.5×16.9
大下 藤次郎	京都途上所見	1895年	鉛筆、紙	11.2×17.6
大下 藤次郎	国内風景スケッチ 98年10月20日	1895年	鉛筆・水彩、紙	11.3×17.6
大下 藤次郎	京の端居	1896年	鉛筆・水彩、紙	11.2×16.6
大下 藤次郎	民家の庭先	1897年	鉛筆・水彩、紙	11.3×17.6
大下 藤次郎	軍艦金剛にて① (3枚組)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.3×16.6、9.6×16.8、9.6×17.0
大下 藤次郎	軍艦金剛にて② (3枚組)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.2×17.3、9.3×15.2、9.4×17.1
大下 藤次郎	軍艦金剛にて③ (3枚組)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.4×16.8、9.4×17.2、9.5×16.8
大下 藤次郎	金剛スケッチ(甲板)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×16.6
大下 藤次郎	金剛スケッチ(雨浴)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×16.9
大下 藤次郎	金剛スケッチ(芝居のお稽古安達ヶ原)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×17.0

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ (cm)
大下 藤次郎	金剛スケッチ (芝居のお稽古太閤記)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×16.8
大下 藤次郎	金剛スケッチ (掃除)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×14.8
大下 藤次郎	金剛スケッチ (お茶番)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×16.8
大下 藤次郎	人物スケッチ (シドニー)	1898年	鉛筆・水彩、紙	17.3×9.5
大下 藤次郎	碓永川	1898年	鉛筆・水彩、紙	11.2×17.8
大下 藤次郎	フィジー人物スケッチ	1898年	鉛筆、紙	14.8×9.5
大下 藤次郎	渋谷	不詳	鉛筆、紙	19.7×23.8
大下 藤次郎	南品川	不詳	鉛筆、紙	29.3×38.0
大下 藤次郎	麻布二之橋	不詳	鉛筆、紙	28.7×38.4
大下 藤次郎	牛込	不詳	鉛筆、紙	29.0×38.1
大下 藤次郎	富士山スケッチ	不詳	鉛筆、紙	24.0×35.8
大下 藤次郎	二十八番観音	不詳	鉛筆・水彩、紙	17.8×11.2
大下 藤次郎	風景スケッチ 鳥居	不詳	鉛筆・水彩、紙	19.8×15.6
大下 藤次郎	室内	不詳	鉛筆・水彩、紙	8.6×13.7
大下 藤次郎	kitami	不詳	鉛筆、紙	14.0×8.6
大下 藤次郎	風景スケッチ 鎌倉	不詳	鉛筆、紙	13.8×8.6
大下 藤次郎	風景スケッチ 二日市	不詳	鉛筆、紙	8.6×14.0
大下 藤次郎	人物スケッチ 26点	1892～1897年頃	鉛筆・水彩、紙	
岸田 劉生	内藤夫人の像	1919年	木炭・パステル、紙	37.8×30.5
須田 国太郎	大濱	1950年頃	鉛筆、紙	28.5×42.0
須田 国太郎	源平布引瀧の図	不詳	鉛筆、紙	25.5×34.5
須田 国太郎	南座 羽左の実盛	不詳	鉛筆、紙	27.0×36.0
須田 国太郎	将棋の図1	不詳	鉛筆、紙	27.0×36.0
須田 国太郎	将棋の図2	不詳	鉛筆、紙	24.5×35.5
宮 芳平	樹木	1896年	コンテ、紙	18.5×28.4
宮 芳平	村里	1933年	コンテ、紙	18.5×28.2
宮 芳平	はぜのある風景	1928年	鉛筆、紙	25.2×19.0
宮 芳平	冬の木	1932年	鉛筆、紙	25.2×18.4

写真

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ (cm)
松江 泰治	JP-32 02	2018年	発色現像方式印画	50.0×61.0
松江 泰治	JP-32 04	2018年	発色現像方式印画	50.0×61.0
松江 泰治	JP-32 05	2018年	発色現像方式印画	50.0×61.0
松江 泰治	JP-32 07	2018年	発色現像方式印画	50.0×61.0
松江 泰治	JP-32 09	2018年	発色現像方式印画	50.0×61.0
松江 泰治	JP-32 16	2018年	発色現像方式印画	50.0×61.0
森村 泰昌	「美に至る病 女優になった私」(48点組)	1996年	イルフォクローム、アクリル加工	各120.0×95.0
アーヴィン・ブリューメンフェルド	「エイジ・オブ・エレガンス」(10点組)	1984年印刷	ダイ・トランスファー・プリント	各50.8×40.1
ウィリアム・クライン	オペラ劇場+顔のない人々、パリ	1963年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	40.0×50.0
ウィリアム・クライン	煙+ヴェール	1958年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	60.0×50.0
ウィリアム・クライン	楽屋のモデルたち、パリ	1965年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	50.0×40.0
エドワード・スタイケン	ナティカ・ナスト	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.3
エドワード・スタイケン	F. A. ワイマン夫人	1931年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.0×20.0
エドワード・スタイケン	無題	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.3
サラ・ムーン	『ヴォーグ』より	1973年	ダイ・トランスファー・プリント	19.7×30.0
ジョージ・ホイニンゲン=ヒューネ	ロレッタ・ヤング	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.3×20.3
ジョージ・ホイニンゲン=ヒューネ	イリナ・バラノヴァとニニ・テイラード	1940年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	26.1×32.8
ジョージ・ホイニンゲン=ヒューネ	ドラマティック・イブニング・ケープ	1938年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	22.0×28.4
セシル・ビートン	エドワード朝様式の室内にいるメアリー・テイラー 『ヴォーグ』より	1935年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.2
セシル・ビートン	題不詳(1947 Nov.28)	1947年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.6
セシル・ビートン	題不詳(1947 Nov.10)	1947年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.6
セシル・ビートン	題不詳	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.6
セシル・ビートン	題不詳	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.8×20.6
セシル・ビートン	題不詳	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.8×20.7
ダイアン・アーバス	サウス・カロライナ	1968年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	39.5×38.2
ダイアン・アーバス	舞踏場ダンス ジュニア州チャンピオン、ニューヨーク州ヨーカーズ	1962年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	37.2×37.2
ダイアン・アーバス	楽屋の風刺劇喜劇女優 アトランティックシティ、ニュージャージー	1963年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	37.6×37.5
ダイアン・アーバス	無題14	1970～71年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	37.3×37.7
ダイアン・アーバス	無題18	1970～71年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	36.8×37.4

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
ダイアン・アーバス	バラのドレスを着た仮面舞踏会の婦人	1967年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	36.9×37.2
ダイアン・アーバス	五番街のパレードの男、ニューヨーク	1969年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	36.8×36.8
ダイアン・アーバス	恐怖の家、コニー・アイランド、ニューヨーク	1962年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	36.4×37.3
パロン・ド・メイヤー	ミスタンゲット	1920年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	24.1×18.4
パロン・ド・メイヤー	コンデ・ナスト夫人	1925年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	24.1×18.7
ピーター・リンドバーグ	ジゼル、ドーヴィルにて フランス『ヴォーグ』より	1990年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	30.6×20.5
ピーター・リンドバーグ	ジゼル、ドーヴィルにて フランス『ヴォーグ』より	1990年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	20.4×30.6
ピーター・リンドバーグ	ジゼル、ドーヴィルにて フランス『ヴォーグ』より	1990年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	30.5×20.4
ベルナルド・フォコン	到着 〈夏休み〉より	1978年	フレッソン・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	悪魔のミントシロップ 〈夏休み〉より	1980年	フレッソン・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	島の祭り 〈時の不確かな進化〉より	1983年	フレッソン・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	アントワヌ 〈偶像と生贄〉より	1991年	フレッソン・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	小さな木 〈偶像と生贄〉より	1991年	フレッソン・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	ミュケナイの門 〈偶像と生贄〉より	1991年	フレッソン・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	デミトリ 〈偶像と生贄〉より	1991年	フレッソン・プリント	60.0×60.0
ホルスト P. ホルスト	白い袖、パリ	1936年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	27.9×35.6
マーティン・ムンカッチ	ニューヨーク万国博覧会 『ハーバース・バザー』1938年9月号	1938年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
マーティン・ムンカッチ	ルシール・プロコウ 『ハーバース・バザー』1933年12月号	1933年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	35.6×27.9
マーティン・ムンカッチ	『ハーバース・バザー』1936年6月号	1936年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	27.9×35.6
メルヴィン・ソコルスキー	デルボーに捧ぐ	1963年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	50.8×40.6
メルヴィン・ソコルスキー	木立のなかで	1963年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	50.8×40.6
リチャード・アヴェドン	ドヴィマと象	1955年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	58.5×47.3
ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	27.0×17.9
ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	16.2×12.5
ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	18.4×12.6
ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	27.1×18.0
ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	19.2×12.9

工芸

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
阿部 裕幸	根付 明暗	2005年	猪牙	長8.9 幅2.0
巖水	石見根付 扇面草図	江戸時代	象牙	長9.9
宍戸 濤雲	根付 柿本人麿	2005年	猪牙	長6.0 幅2.1
高木 喜峰	根付 迷い道	2005年	猪牙	長6.0 幅1.8
田中 俊暲	石見根付 おろち	2007年	猪牙	長1.0 幅4.5
富永	石見根付 蜘蛛	江戸時代後期	猪牙	8.5×2.4×1.2
富春	石見根付 蓮葉に蓑亀	1792年	鯨の歯	4.1×2.5
富春	石見根付 亀	江戸時代後期	木刻	長6.1
富春	石見根付 鮑に蟹	1795年	象牙	高1.5 幅4.8 奥行3.0
永原 雲永	色絵桐紋秋草図蓋茶碗	江戸時代末期	陶器	高7.9 口径11.0 高台径4.2
永原 英造	色絵金銀彩唐草文鉢	19世紀後半	陶器	高10.0 口径19.5 底径10.3
中村 松間齋	猛禽図高蒔絵印籠	江戸時代末期	高蒔絵	高7.2 幅6.7 奥行2.8
前田 中	根付 番	2005年	猪牙	長5.1 幅1.8
龍水	石見根付 牛	江戸時代	木	長5.6
和地 一風	根付 月下の祈り	2005年	猪牙・べっ甲・海松	長9.9 幅1.8
不詳	石見根付 蜘蛛	江戸時代後期	猪牙	長8.3
ダゴベルト・ベッヒエ	蓋付きの物入れ	1912年デザイン	陶製、釉薬	高15.0
ダゴベルト・ベッヒエ	ペンダント	1919年頃	象牙	長4.6
ダゴベルト・ベッヒエ	ブローチ	1916年	銀、象牙	3.4×3.4
ダゴベルト・ベッヒエ	蓋付きの箱	1920～21年	鍛金・銀	高5.0 径4.2

彫刻

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
草間 彌生	ドレス	1976年	ドレス、詰め物をした縫製布、ハンガー、彩色	102.0×52.0×20.0
草間 彌生	「銀色の希死」より シルバージュース	1976年	靴、詰め物をした縫製布、彩色	23.0×8.6×19.0
草間 彌生	ジェネシス 創世記	1993～94年	詰め物をした縫製布、木、彩色	299.7×480.1×30.0

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
草間 彌生	南瓜	1998年	F.R.P(強化プラスチック)、塩ビ系塗装	200.0×250.0×250.0
藪内佐斗司	どこかものたりない 不可思議な人物たち	1982年	檜	向かって右 160.0×114.0×112.0 向かって左 132.0×173.0×243.0
藪内佐斗司	ろーりんぐまん	1984年	檜	153.0×258.0×60.0
米原 雲海	仙丹	1910年	木	高34.0

服飾

作家名	作品名	制作年	材質
森 英恵	イブニング・コート、ショートドレス	1964年	純金帯地(西陣織)のコート ドレスは、帯地と絹サテン
森 英恵	ジャケット、ディナー・ドレス	1965年春夏	西陣織りの帯地を用いたジャケット シルクサテンのドレス ドレスの背には大きなりボン飾り
森 英恵	ジャンプスーツ、カフタン	1966年	菊を同柄でプリントした綾絹と絹シフォンのジャンプ・スーツとカフタン 絹サテンのベルト
森 英恵	イブニング・コート、ドレス	1968年	帯地風に仕立てた西陣織のイブニング・コート 赤と白の絹サテンのロングドレス 赤い絹サテンのベルト付
森 英恵	ジャケット、ショートイブニング・ドレス	1968年秋冬	漢字柄を織り込んだ金色の西陣織りジャケット 金色の糸で手編みしたドレス
森 英恵	デイ・ドレス	1970年代前半	シルク・シフォンとシルク・サテンに幾何学的な図案をプリント ワンピース・ドレス
森 英恵	カフタン、ドレス	1976年	蝶をプリントした絹シフォンと綾絹 同柄の絹シフォンのストール
森 英恵	イブニング・ドレス	1976年	蝶をプリントした絹シフォンと綾絹 ネックにビーズ刺繍
森 英恵	イブニング・ドレス「花の白いドレス」	1981年	白い絹クレープのワンピース・ドレス、絹サテンとビーズのアップリケ
森 英恵	イブニング・ドレス	1981年	黒い絹クレープのワンピース・ドレス、絹サテンとビーズのアップリケ
森 英恵	ジャケット、タイトスカート	1989年秋冬	黒色ウール地に黒色シルクサテンと黒色ウール地の網代編みをあしらったジャケット 黒色ウールのタイトスカート
森 英恵	イブニング・ドレス「赤い蝶のドレス」	1990年	赤い絹クレープのワンピース・ドレス
森 英恵	イブニング・ドレス	2002年春夏	青を基調に、ピンクや白を差し色として、花や鳥の刺繍を全面に施したロングドレス クルーネック、長袖のボディーコンシャスでシンプルなフォルム 裾にスリット 左肩にシルク・チュールでコサージュ飾り
森 英恵	イブニング・ドレス「蒔絵を思わせる赤いサテンのイブニング・ドレス」	1994年秋冬	刺繍とプリントで秋草をあしらった赤い絹サテンのロングドレス
森 英恵	ジャンプスーツ	2004年秋冬	背面に役者絵を染めた、深い青色のシルクサテンでできたジャンプスーツ 腰に濃紺のブレードでベルト飾り
森 英恵	ジャケット、タイトスカート、ストール	2004年秋冬	秋の草花を染めた縮緬でできたテイラード・ジャケット、袖にスリット飾り ストール付き 同素材のタイトスカート
森 英恵	カフタン、イブニング・ドレス	2004年秋冬	羽ばたく鶴がプリントされた金色シルクサテンのカフタン 同素材でできたベア・トップのロングドレス
森 英恵	ウェディングドレス	2004年春夏	チュールリボンのフリル飾りをスカート、胸元に配した白色シルクサテンのウェディング・ドレス 胸元に桜色のコサージュ飾り付き
森 英恵	イブニング・ドレス「蝶を染めたベルベットのドレス」	1996年	ピンク色の絹のワンピース・ドレス
森 英恵	イブニング・ドレス「北斎の版画のように、山の風景を染めた絹のドレス」	1996年	墨絵風の柄をプリントした絹シフォン、絹サテンのワンピース・ドレス
森 英恵	コート、イブニング・ドレス	1997年秋冬	豹柄のフェイクファーをパッチワークした黒色ウールのロングコート 同柄をパッチワークしたベルトがついたウールニットドレス
森 英恵	イブニング・ドレス「ベージュ地にりんごの花のドレス」	1998年春夏	ベージュ地にりんごの花をプリントした絹シフォンのロングドレス マーメイドライン、ノースリーブ スワングルによる刺繍
森 英恵	イブニング・ドレス「コーラル色の花を縫いとったレースのドレス」	1998年秋冬	チュール地に珊瑚色の花の刺繍を施した、ワンショルダーのロングドレス
森 英恵	イブニング・ドレス	1999年春夏	明るいグレーのシルクシフォンに、白、黒、チャコールグレーの変わり水玉を刺繍したロングドレス
森 英恵	イブニング・ドレス「プリーツをあしらったウールのスーツ」	2001年春夏	白いウールのジャケット、背中にプリーツ飾り 飾りピン付き 白いウールのアコーディオンプリーツのスカート
森 英恵	「浮世絵ジャケットとりボンで編んだスカート」	2001年秋冬	銀糸を織り込んだ地に浮世絵柄を刺繍したジャケット、裾にフリル 緑、ピンク、茶のりボンを格子に編んだフレアスカート
森 英恵	「黒い羽を縫いとったロイヤルブルーのスーツ」	2002年秋冬	花柄の地模様のある青色の綾絹でできたジャケットと膝丈のスカート 襟元、袖さき、背に黒い羽の縫い取り刺繍
森 英恵	カクテル・ドレス「レースのドレスに軽いボレロ」	2004年春夏	黒い絹レースでできたノースリーブのショートドレス 胸元に小花の刺繍、腰にギャザー飾り チュール地に格子状の黒いテープで螺旋状に刺繍したボレロ
森 英恵	カクテル・ドレス「銀色のアンサンブル」	2004年春夏	裾と胸元に銀色のバラをあしらった黒い絹チュール地のショートドレス 同柄のパラモチーフを全面に刺繍した黒い絹チュールのボレロ

作家名	作品名	制作年	材質
森 英恵	イブニング・ドレス「墨絵にオレンジ色の花を添えたシフォンのドレス」	2004年春夏	墨絵とオレンジ色のバラをプリントした絹シフォンのロングドレス 腰にモザイク状のベルト飾り
森 英恵	イブニング・ドレス「蝶とタイガーと波をそめた白い絹のドレス」	2004年春夏	蝶と虎と波をプリントした絹シフォンのロングドレス 裾と袖口に同布で刺繍、蝶と虎にはスパンコール刺繍、背にボタン飾り
アリックス・グレ	イブニング・ドレス	1958年	黒い絹ジャージーのワンピース・ドレス 細かくたたまれたプリーツ
アンドレ・クレージュ	ブーツ	1960年代後半	白い革、VELCROのファスナー付き
アンドレ・クレージュ	ジャンプスーツ	1970年	青と白のウール マンダリン・カラー 茶革のトリミング、折り返しのあるカフス
アンドレ・クレージュ	イブニング・ドレス	1970年頃	白いウール地のワンピース・ドレス 裏地は白い絹
アンドレ・クレージュ	デイ・アンサンブル	1965～1967年	ライムと緑色のチェック地の白いウール地のツーピース・ドレス 裏地はクリーム色の絹
アンドレ・クレージュ	デイ・ドレス	1968年	綿レースで刺繍したナイロンチュールのワンピース・ドレス、絹サテン地でパイピング
アンドレ・クレージュ	スーツ、ブーツ、小物(カメラ)	1960年代後半～1970年	フェイクのエナメル(ビニール製) 丈の短いジャケット、ボディス中央とカフスに白いボタン、白いエナメルのロゴ・マーク、ヒップボーン のミニスカート 銀色の革製のブーツ アクセサリーとして日本製カメラ(ミノルタ製)
イヴ・サンローラン	カクテル・ドレス、ケープ	1967～1968年	カクテル・ドレスとケープのアンサンブル ボティスは黄色の絹オーガンザ、ピンク、黄色のバイエット飾り等で刺繍 スカート、ケープには黄色のオストリッチ・フェザー
イヴ・サンローラン	ディナー・ドレス「夜の音楽」	1956年	ダーク・グレーのシルク・グログラン地 Vネックライン、七分丈のラグラン・スリーヴ、トラペーズラインのスカート、4重に重ねたベチコートには、ホース・ヘアー・バンド
イヴ・サンローラン	イブニング・スーツ	1967年頃	黒のサテンによりトリミングされた黒いウールのイブニング・スーツ
ヴィヴィアン・ウエストウッド	ショール付イブニング・ドレス「サロン」	1992年	透けた黒のストレッチ素材 共布のショール付き
ヴィヴィアン・ウエストウッド	イブニング・ドレス「18世紀スタイル」	1992年	金色の革 ボーンの入ったボティス 皮のスカート スカーフは白の絹ゴーズ、太陽のモチーフを金色でプリント プラット・フォーム・シューズは、金色の皮、ヒールには赤のエナメル
ヴィヴィアン・ウエストウッド	ジャケット、パンツ、シャツ「リバティコレクション」	1994年	グレー、白、赤のタータンのウール ロング丈のジャケット、ベスト、折り返しのついたパンツ チェックの綿のシャツ
ヴィヴィアン・ウエストウッド	ドレス、靴	1990年	黒色絹ベルベットのストレッチ素材のコレット、パッドの入ったバスル付きガーター風のボトム、17cmヒールのプラット・フォーム・シューズ
エルザ・スカパレリ	イブニング・ドレス	1938年	ショッキングピンク地にプリントを施した絹シフォンのワンピース・ドレス ショッキングピンクのアンダー・ドレス
エルザ・スカパレリ	水着	1930年代後半	綿とレーヨンの混紡 幾何学模様 ホルターネックブラ
エルザ・スカパレリ	イブニング・ドレス	1939年	クリーム色のサテン・シルク 衿はフェイク(衿の形をしたアップリケ・ワーク) 肩にプラスチック・ジップ
エルメス	水着	1940～1950年代	幾何学的な魚の模様のスパンデックス ボーン入り
ガブリエル・シャネル	イブニング・ドレス	1927年頃	黒の絹シフォンのワンピース・ドレス バイアスカット 黒の絹のスリッパ
ガブリエル・シャネル	イブニング・ドレス	1920年代後半	黒い絹クレープ・デ・シンにシャンティイレース地を重ねたワンピース・ドレス サテン地のリボン
クリスチャン・ディオール	ボールガウン	1954年	アイボリーの絹ファイユのストラップレス・ドレス 植物のモチーフをビーズ刺繍
クリスチャン・ディオール	ボールガウン、ストール、靴	1954年	淡い青地に濃い水玉模様のプリント、絹シフォンのストラップレス・ドレス 襟元にボー飾り 背面にバスル風形状の飾り 共布のストールと靴
クリスチャン・ディオール	デイ・ドレス	1949年	黒のウール 厚みのある開襟カラー ジャケットに飾りポケット 巻きスカート
クリスチャン・ディオール	ディナー・ドレス「カラカス」	1953年	バラのプリント地の絹シフォンのツーピース・ドレス 裏地はピンクの絹オガンザ 内側にはボーンの入ったチュール地とシフォンのコレット 巻きスカート、シース型のアンダースカート付
クリスチャン・ディオール	コート	1955年頃	グレーの絹ファイユ地 大きな襟と七分丈のラグラン・スリーヴ 後ろは大きくVの字に開きボウ飾り有り 両脇にポケット 背中中央にボックスプリーツ 裏地はグレーの絹
クリスチャン・ディオール	カクテル・ドレス	1956年	茶の絹タフタ ウエストにベルト
クリスチャン・ディオール / イヴ・サンローラン	ディナー・ドレス	1958年	銀の絹サテン、裏地は絹ゴーズ 七分丈のラグラン・スリーヴ 幅広の帯風のベルト ボティスの内側にはチュール地のボーン入りコレットとガーター スカートにはチュール地の3段のベチコート
クリスチャン・ディオール / マルク・ボアン	ディナー・ドレス	1961年	ピーコック・ブルーの絹 裏地は青の絹オーガンザ 七分丈スリーヴ 左右が不均等なボレロ風ジャケット
クリスタバル・バレンシアガ	カクテル・ドレス	1950～1951年	濃い青の絹タフタのカクテル・ドレスとジャケット ドレスはホルター・ネック、前面にボタン、バルーンスカート ジャケットは肩幅の狭いシルエット ベルト付き ビーズ付き濃紺の靴
クリスタバル・バレンシアガ	カクテル・ドレス	1961年	クリーム色のシフォン トラペーズラインのドレス
クリスタバル・バレンシアガ	ケープ	1946年	黒の絹ファイユ地にホース・ヘアー、銀のスパンゲル、人造宝石の刺繍
クリスタバル・バレンシアガ	ドレス	1949年	黒のウールに緑の絹タフタのワンピース・ドレス
クリスタバル・バレンシアガ	コート・ドレス	1958年	淡いグレーのモワレのコート・ドレス マンダリンカラー 袖には金色に着色した木製釦 アンダースカート付
クリスタバル・バレンシアガ	カクテル・ドレス	1957年	黒のシャンティイレースの「ベビー・ドール・ドレス」 黒の絹のスリッパ・ドレス

作家名	作品名	制作年	材質
クリストバル・パレンシアガ	カクテルドレス	1957年	黒いバラのモチーフのある白いレース地のワンピース・ドレス「ベビー・ドール・ドレス」 絹シフォンのアンダードレス付
クレア・マッカーディル	水着	1945年頃	黒色と白色のストライプのジャージー
ザンドラ・ローズ	フード付きカフタン	1969年	黒、黄、緑で円状の模様がスクリーンプリントされたフード付きカフタン
ジェームス・ガラノス	パンツ・スーツ	1970年	アイボリーのケミカル・レース ジャケット、ベスト、ファスナー付きフレア・ボトムパンツ
シャルル＝フレデリック・ウォルト	ボールガウン	1897年	アイボリーの絹サテン、ジゴ袖のツープース・ドレス 金糸で刺繍の施されたベージュのラメ、ボディとスカートに稲妻と雲のデザイン 雲のデザインの薄い青色のトレーン
ジャン＝フィリップ・ウォルト	ウェディングドレス	1916年	さまざまな種類のブリュッセル・レースを組み合わせたドレス
ジャンヌ・ランバン	イブニングドレス	1928年	黒の絹チュールのワンピース・ドレス ボディとスカート上部に金銀のスバンクルなどによる刺繍
ジャンヌ・ランバン	ドレス	1936年	黒の絹クレープのワンピース・ドレス 袖に白いフェルト地のアップリケ・ワーク バイアスカット
ジルベルト・エイドリアン	デイドレス	1940年代	赤茶と緑の玉虫色のウール 肩パッド付きのジャケット スリットのあるタイト・スカート
スザンヌ・タルボット	イブニング・コート	1925年頃	黒い絹の繭型コート 椰子の葉と花々を織り込んだテキスタイル 黒の毛皮のトリミング 裏地は黒のベルベット
ステーンブラザーズ	レセプション・ドレス	1900～1905年頃	黒いネット・レース、アイボリーの絹サテン、絹シフォン、絹タフタを重ねている S字ライン
ダゴベルト・ベッヒエ	カフタン	1919年頃	絹に色を濃淡にばかした縞模様プリント「レインボー」
ダゴベルト・ベッヒエ	ネック・バンド	1919年頃	ビーズ
ダゴベルト・ベッヒエ	テーブルセンター	1919～1920年	絹 チュールにアップリケ
チャールズ・ジェームス	ディナー・ドレス「スパイラルドレス」	1951年	ルビー・レッドの絹ファイユ スカートにくるみ釦、ファスナー
ニナ・リッチ	イブニング・ドレス	1948年	紺と白の絹 開襟カラー 両肩下にポケットのある短いマント風ジャケット 前面にくるみ釦 クリノリン型のスカート チュール・ネットの下着付き
ハーバート・レヴィン	靴「カブキ・シューズ」	1964年	青色ベルベット 木製ソールは金色にペイント
バーバラ・フラニッキー／ビバ	パンツ・スーツ	1970年	「サンダーソン」社製テキスタイルのテラード・ジャケット、ヒップ・ボーンのフレアー・パンツ
バーバラ・フラニッキー／ビバ	パンツ・スーツ	1970年頃	ト音記号をプリントしたウールと綿のニットでできた、テラードジャケット、ヒップ・ボーンのフレアー・パンツ
バコ・ラバヌ	イブニング・ドレス	1966年	銀色のアルミニウム板を真鍮の金具でつなぎ合わせたミニドレス
ピエール・バルマン	イブニング・ドレス	1955年頃	黒の絹ベルベットと絹ファイユ地 後ろ身頃にファスナー、その上にくるみ釦飾り付き チュール地とホースヘアを6段に重ねたオリジナルのベチコート付き
ビバ	スーツ	1970年	「サンダーソン」社製テキスタイルのテラード・ジャケット、ヒップ・ボーンのフレアー・パンツ
ベス・レヴィン	サンダル「ネイキッド・シューズ」	1960年代	革製サンダル プラスティック製のシダのモチーフのデコレーション
ポール・ボワレ	イブニング・ドレス	1913年	黄色の絹ゴーズとブリーツのあるグリーンシフォンの銀ブレードの縁飾り、バンド部分にベイズリー模様を銀糸やスバンクルで刺繍 裏地はライム・グリーンの絹シフォン
ポール・ボワレ	ドレス	1920年代後半	ジュミーズ風赤紫色の絹クレープ・デ・シンのワンピース・ドレスに、藤色と紫色のブリーツのあるオーバードレス 前身頃とウエストに、オリエンタル風モチーフを刺繍
ポール・ボワレ	「ガーデン・パーティ・ドレス」	1911年	アイボリー色のオーガンジー ボディとスカート裾に花卉の形をアップリケ、中央のバラはステンシルによるペイント 裏地の裾に黒色の絹ベルベット
ポール・ボワレ	ドライブ用コート	1910年頃	アイボリー色のシャンタン絹地 Aライン、ラグラン・スリーブ、丸襟、骨のボタン
ポール・ボワレ	デイドレス	1925年	絹グログラン地に海辺のシーンをプリント Vネックの襟元、ロウ・ウエスト
ポール・ボワレ	デイドレス「ブリトヌ」	1921年	紺色のウール、青緑色のベルベット地、中国風の刺繍が施された長い袖、ボディの中央にフックファスナー、ウエスト前部にゴム
ポール・ボワレ	カフタン・コート「イスファハン」	1908年	緑色の絹サテン、裏地には茶色の絹サテン、中東風の模様をゴールド・ギルド糸刺繍 袖の縁取りに使われた紐にはタッセル飾り付き
マックス・スニシェク	ドレス、テキスタイル「バイエル」	1928年頃	絹にプリント ウエストに二つのポケット 黒の絹の縁
マックス・スニシェク	ドレス、テキスタイル「エロス」	1926年頃	絹にプリント 襟元にヒダ飾りのついたスクエアのネックライン 伸縮性のある袖口 2つのポケット
マックス・スニシェク	ドレス、テキスタイル「ゼレニカ」	1929年	絹にプリント 濃い青の絹で縁取られたウエストまで届くV字の襟袖も青の絹で縁取り
マドレーヌ・ヴィオネ	デイドレス	1920年頃	黒の絹クレープのワンピース・ドレス ボートネック、ラグラン・スリーブ、ブリーツスカート
マドレーヌ・ヴィオネ	デイドレス	1934年頃	赤緋色のクレープ ワンピース・ドレス バイアスカット
マドレーヌ・ヴィオネ	イブニング・ドレス、スリッパ、ストール	1938年	黒いチュール地に金色のぶどうのモチーフのワンピース・ドレス サーキュラー・スカート ホルター・ネック 黒い絹サテンのアンダー・ドレス付 黒いチュールのストール
マドレーヌ・ヴィオネ	イブニング・ドレス	1938年	ドレスとアンダー・ドレスの2ピース ピンクのシルク・シフォンのオーバードレス、シフォンと絹地のアンダー・ドレス
マリア・モナチ・ガレンガ	ティーガウン	1910年代	赤茶色の絹ベルベット地、直線断ちのドレス、ロング・スリーブ、肩にヴェネツィアンビーズ ドレスに鳥と植物模様、袖に幾何学模様 が金でステンシルワーク

作家名	作品名	制作年	材質
マリア・リカルツ	バッグ	1919年	ビーズ・ワーク
マリアノ・フォルチュニ	コート	1912年以降	深緑と錆赤のベルベットにピンクと金色でプリント 金でルネサンス風文様がプリントされた錆赤のベルベットでトリミング 錆赤のロングタイ 絹のライニング
マリアノ・フォルチュニ	チュニック「タバード」	1910年代	透けた黒の絹ゴーズ 金色のステンシル・ワーク 脇、裾にトンボ玉付き
マリアノ・フォルチュニ	プリーツドレス「デルフォス」	1910年代	白の絹サテンのワンピースドレス 不規則な細かいプリーツ アーム・ホール、脇にトンボ玉付き ベージュと赤銅色の飾りヒモ付き
マリアノ・フォルチュニ	プリーツドレス「デルフォス」	1910年代	赤の絹サテンのワンピースドレス 不規則な細かいプリーツ アーム・ホール、脇にトンボ玉付き
メンバーシェ	イブニングドレス	1940年	黒の絹クレープ 背中に深いVカット ラグラン・スリーヴ
リバティ商会	コート		青色の絹ベルベット ライニングは絹のシルバー・ラメ フロントにくるみボタン、襟に絹製の紐、裾に長いタッスル飾り
リバティ商会	ティーガウン	1908年	ブルーグレーのクレープ 茶がかかったグレーの絹シフォンでトリミング 襟に中国風刺繍
リバティ商会	バッグ	1910年代	異国風のモチーフのニードルワーク、緑色の絹地のライニング
ルディ・ガンライヒ	ミニドレス、ビキニス、ブーツ	1967年	ピンクのウール・ニット ビニールのインサージョン ブーツにも同様のビニールのインサージョン
ルディ・ガンライヒ	ミニドレス、ビキニス、ブーツ	1967年	ライム・グリーンとブルーのウール・ニット ビニールのインサージョン ブーツにも同様のビニールのインサージョン
ルディ・ガンライヒ	パンツ・スーツ	1960年代後半	ライム・グリーンとブルーのジグザグパターンのウール ボタン付きベルト
ルディ・ガンライヒ	水着「モノキニ」	1964年	ヘリングボーンパターンのウール、綿、ラバーの混紡
レドファン	コート	1920年代	金糸を織り込んだ黒い絹 シダ植物と花の模様が交差するパターン 襟元と袖に毛皮 袖はカフタン風 裏地はベージュの絹ベルベット
作者不詳	ペーパー・ドレス「スーパードレス」	1966年頃	「キャンベル・スー・カン」のプリントを施したセルロースと綿の不織布
作者不詳	ビーチ・ウェア	1910～1920年代	白色の絹ボンジー 袖無しのボディス、パンツ
作者不詳	アフタヌーンドレス	1900年頃	ホワイト・コットン・オーガンジー、全体に水玉の織りがある薄手の綿と花柄刺繍、大きくふくらんだ袖、トレーンを引くスカート
作者不詳	女性用乗馬服	1888年頃	ダーク・グリーンとブルーのウール ジャケット、パンツ、サイド・サドル・スカート
作者不詳	女性用乗馬服	1890年頃	グレーのツイード ジャケット、パンツ、サイド・サドル・スカート
作者不詳	女性用サイクリング・ウェア	1910年代	茶色のウール ジャケット、パンツ
作者不詳	女性用乗馬服	1920年代	茶色のウール ジャケット、パンツ
作者不詳	女性用乗馬服	1930年代後半	青色のウール ジャケット、ジョッパーズパンツ
作者不詳	女性用サイクリング・ウェア	1900年頃	紺色のウール ジャケット、ブルーマー、カラー ルースなブラウス風のボディス、セラー・カラー、カフス付の長い袖、隠れた釦ファスナー
作者不詳	水浴着	1905～1910年頃	濃紺のウール 上着、ブルーマー、スカート
作者不詳	水着	1920年頃	青色と赤色のストライプのウールニット 右肩に釦ファスナー
作者不詳	プレイスーツ	1920年代初頭	綿にプリント ジャケット、パンツ
作者不詳	水着	1920年代	青、黒、白のストライプのウールのニット
作者不詳	テニス・ウェア	1926年頃	白色綿 Vネック、ノースリーブ、肩2本ダーツ
作者不詳	スキー・スーツ	1940年代	ウールとナイロンの混紡のジャンプスーツ
作者不詳	ネックレス	1920年頃	ピンク、緑、銀色のストライプと小花模様のビーズ・ワーク 両端にタッスルの飾り
作者不詳	イブニング用シューズ	1920年頃	花のモチーフを銀糸をつかいプロケード織り
作者不詳	海水浴用シューズ	1920年頃	セージ・グリーンと黒のゴム製 銀色にペイントされた羽根模様
作者不詳	プレスレット	1930年頃	銀
作者不詳	アフタヌーンドレス	1900年頃	ホワイト・コットン・オーガンジー、全体に水玉の織りがある薄手の綿と花柄刺繍、大きくふくらんだ袖、トレーンを引くスカート
作者不詳	女兒用ワンピースドレス	1880年頃	青色綿のサマー・ドレス 全体に白糸のミンシ刺しゅうと手刺しゅう レースの飾り 両脇に大きな飾りポケット 背中に貝ボタンの装飾
作者不詳	女兒用ワンピースドレス	1880年頃	小花模様を織り込んだベージュ色の絹のワンピースドレス 前身頃に細かな装飾 襟とスカートにスカラップ(ホタテ貝の貝殻)型の縁飾り 後方に大きなボウ飾り
作者不詳	女兒用ワンピースドレス	明治23年(1890)頃	クリーム色の絹のワンピースドレス 高い位置にウエストライン 大きくふくらんだ袖 全体にレースの差し込みと刺しゅうの装飾 付属品としてドレスと共布の薄手の絹と、グログラン(横畝のある平織地)の絹の帽子
作者不詳	女兒用サマー・ドレス	明治13～23年(1880～1890)頃	赤色と白色の細かいチェック地の綿サマー・ドレス ピンタックのある白色綿ブラウスと合わせて着用 襟、袖、スカート裾に白糸で手刺しゅう
作者不詳	女兒用コート・ドレス	明治13年(1880)頃	赤色の絹グログランのコート・ドレス ピンク色の絹ファイユの胸当て セラー・カラーと大きな飾りポケットの装飾 七宝のボタン フランス製 “Au Printemps Paris”とラベルあり
作者不詳	男児服	明治10～23年(1870年代後半～1880年代)	青色のウールのジャケット 飾りボタンの装飾 赤いシルクのライニング フランス製 “AU LOUVRE PARIS RAYON 53”とラベルあり

テキスタイル

作家名	作品名	制作年	技法、素材	サイズ(cm)
ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル 46点	1912~1928年		
マリア・モナチ・ガレンガ	テキスタイル	1913年頃	ステンシル、絹ベルベット	290.0×307.0
マリア・モナチ・ガレンガ	テキスタイル	1920年頃	ステンシル、絹ベルベット	356.0×356.0
	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル 14点	1922~1930年代		
ダゴベルト・ベッヒェ	「ヴンダーバウム」	1911~16年	プリント、絹	90.0×70.0
フェリス・リックス=ウエノ	「クレムリン」	1929年	プリント、絹	74.0×94.0

テキスタイル・デザイン

作家名	作品名	制作年	技法、素材
ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン 68点	1912~1928年	水彩、紙
	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル・デザイン 74点	1922~1930年代	水彩、紙

ファッション雑誌、書籍

書名	出版年	サイズ(cm)	備考
『20世紀現代産業装飾芸術百科事典』	1925年	各28.3×23.2	全12冊
『フェミナ』	1904 ~34年	各35.0×28.2	88冊、欠号あり
『レ・モード』	1901 ~13年	各35.5×27.0	1 ~156号合本
『アール・グー・ボーテ』	1922 ~33年	各31.4×24.0	40冊、欠号あり
『婦人グラフ』	1924 ~28年	各32.8×24.4	25冊、欠号あり

令和元年度 新収蔵作品一覧

購 入

	分類	作家名	作品名	制作年	材質	サイズ(cm)
1	服飾	ガブリエル・シャネル	ドレス、カーディガン	1920年代	ピンクベージュと黒のシルクシフォンにビーズ刺しゅうしたノースリーブドレス 黒のシルクシフォンにビーズ刺しゅうしたカーディガン、襟ぐりから前見ごろ、裾と袖口にシルバーのビーズでパイピング	
2	日本画	松浦 舞雪	なが夜のすさび	制作年不詳(大正末～昭和初期頃)	絹本着色、軸	132.6×57.6
3	日本画	北野 恒富	あそび	制作年不詳(明治末～大正初期頃)	絹本着色、軸	108.2×39.4

寄 贈

	分類	作家名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(cm)
1	国内油彩	伝 大下 藤次郎	伝大下巳之吉肖像	制作年不詳	油彩、カンヴァス	47.0×35.0
2	国内油彩	野村 康生	"Noctis Labyrinthus (夜の迷宮)"No.04、No.08、No.09	2017(平成29)年	アクリル、シリコン、マーカー・グリッター、ウレタン・パネル	(各)159.7×98.7
3	服飾	アズディン・アライア	デイ・スーツ	1980年代	グレーの綿のジャケットとスカート	
4	服飾	アズディン・アライア	デイ・スーツ	1980年代	紺のウールのジャケットとスカート、ベルト付き	
5	服飾	アズディン・アライア	デイ・スーツ	1980年代	黒のウールのジャケットとスカート	
6	服飾	アズディン・アライア	コート	1980年代	黒のウールのコート	
7	服飾	アズディン・アライア	ジャケット	1980年代	黒のレザーのバイカージャケット	
8	服飾	アズディン・アライア	デイ・ドレス	1980年代	黒のレザードレス	
9	服飾	アズディン・アライア	デイ・スーツ	1980年代	グレーの綿のスーツ	
10	服飾	アズディン・アライア	デイ・ドレス	1980年代	ダークデニムのジッパースカート	
11	服飾	アズディン・アライア	ドレス	1980年代	ディープ V フードドレープバックレスガウン	
12	服飾	アズディン・アライア	ジャケット	1980年代	ブラウンのレザー・ジャケット	
13	服飾	アズディン・アライア	ドレス	1980年代	生成りのシャツ・ドレス、バックレス	
14	服飾	アズディン・アライア	デイ・スーツ	1980年代	グレーのウールのスーツ	
15	服飾	エミリオ・プッチ	デイ・ドレス	1960年代	シルクニットに幾何学模様がプリントされたシースドレス、スカラップ・ネック、長袖	
16	服飾	エミリオ・プッチ	デイ・ドレス	1960年代	シルクニットに幾何学模様がプリントされたシースドレス、サブリーナ・ネック、長袖	
17	服飾	エミリオ・プッチ	デイ・ドレス	1960年代	シルクニットに幾何学模様がプリントされたシースドレス、ラウンド・ネック、長袖	

所蔵作品貸出実績

展覧会名、会場、会期	作家名、作品名
「黄昏の絵画たち—近代絵画に描いた夕日・夕景」展 山梨県立美術館 令和元年6月22日～8月25日 島根県立美術館 令和元年9月4日～11月4日 神戸市立小磯記念美術館 令和元年11月16日～令和2年1月26日	大下藤次郎《雲の観察(9月下旬・西方午後5時)》 大下藤次郎《雲の観察(明治33年12月5日 西南方)》 大下藤次郎《秋の夕》 大下藤次郎《宍道湖の黄昏》 大下藤次郎《夕日》 大下藤次郎《夕日》 中川八郎《初秋の夕》
「マリアノ・フォルチュニ 織りなすデザイン展」 三菱一号館美術館 令和元年7月6日～10月6日	マリアノ・フォルチュニ《デルフォス(白)》 マリアノ・フォルチュニ《デルフォス(赤)》 マリアノ・フォルチュニ《コート》 マリアノ・フォルチュニ《「タバール」チュニック》 「デルフォス」用ケース
「美少女の美術史—浮世絵から現代美術、そして漫画、アニメまで」 国立台北教育大学北師美術館 令和元年8月24日～11月24日	池田焦園《小松引》 榎本千花俊《揚々戯》 菊池華秋《雪晴》 榎本千花俊《口紅を描く》 《遊楽美人図》 菊池隆志《初夏遊園》 『少女界』7巻12号、9巻2号 『少女世界』3巻4号、7巻9号、8巻6号 『少女の友』26巻9号 『婦人グラフ』2巻2号～5号、3巻2号、3巻4号、4巻1号、4巻4号～8号 『ひまわり』1巻2号、3号、7号、8号、2巻3号、3巻1号
水戸芸術館開館30周年記念事業「森英恵 世界にはばたく蝶」 水戸芸術館 令和2年2月22日～5月6日	森英恵《イブニングドレス「赤い蝶のドレス」》 森英恵《イブニングドレス「蝶を染めたベルベットのドレス」》

入館者数一覧・パスポート会員数一覧

1. 入場者数

	グラントワ入場者数	美術館			美術館合計	ホール			ホール合計
		企画展	コレクション展	その他		大ホール	小ホール	その他	
4月	21,224	1,003	1,404	0	2,407	2,496	1,455	2,065	6,016
5月	22,043	2,264	2,223	8	4,495	670	1,621	5,263	7,554
6月	35,600	2,621	2,770	46	5,437	4,343	3,243	5,144	12,730
7月	36,113	1,592	2,293	33	3,918	6,355	3,768	4,430	14,553
8月	27,342	3,344	2,931	81	6,356	2,508	984	2,808	6,300
9月	34,410	2,565	2,996	90	5,651	3,351	1,200	4,358	8,909
10月	48,464	6,667	6,803	66	13,536	12,269	1,622	12,048	25,939
11月	33,768	1,673	2,083	454	4,210	3,591	2,588	5,661	11,840
12月	27,763	0	651	854	1,505	5,912	2,380	2,701	10,993
1月	32,758	4,128	3,361	0	7,489	4,129	2,760	2,313	9,202
2月	34,426	4,707	3,332	0	8,039	1,950	1,636	8,359	11,945
3月	14,423	3,544	2,706	0	6,250	2	338	613	953
合計	368,334	34,108	33,553	1,632	69,293	47,576	23,595	55,763	126,934

2. 観覧者数

	企画展							
	前売券	当日券				ミュージアム パスポート	招待券	小計
		個人	割引券	団体・割引	無料券			
4月	3	105	6	93	194	305	297	1,003
5月	12	238	20	295	316	725	658	2,264
6月	29	102	8	225	942	601	714	2,621
7月	50	202	36	278	117	552	357	1,592
8月	111	427	105	692	373	879	757	3,344
9月	44	203	34	217	1,110	544	413	2,565
10月	79	239	26	269	4,656	630	768	6,667
11月	60	168	67	334	193	389	462	1,673
12月	0	0	0	0	0	0	0	0
1月	347	662	0	1,278	535	661	645	4,128
2月	361	931	0	1,831	490	627	467	4,707
3月	234	763	0	1,445	294	398	410	3,544
合計	1,330	4,040	302	6,957	9,220	6,311	5,948	34,108

	コレクション展							
	前売券	当日券				ミュージアム パスポート	招待券	小計
		別納券	個人	団体・割引	無料券			
4月	3	0	162	125	215	579	320	1,404
5月	12	6	233	273	316	725	658	2,223
6月	29	1	185	184	944	700	727	2,770
7月	50	1	178	274	715	718	357	2,293
8月	111	5	321	485	373	879	757	2,931
9月	44	18	344	239	1,127	736	488	2,996
10月	79	6	309	303	4,707	630	769	6,803
11月	60	2	224	355	376	584	482	2,083
12月	0	2	76	46	64	402	61	651
1月	347	0	271	761	548	782	652	3,361
2月	358	0	332	1,093	478	608	463	3,332
3月	234	0	311	969	297	479	416	2,706
合計	1,327	41	2,946	5,107	10,160	7,822	6,150	33,553

3. 企画展観覧者数

名称	会期	日数	観覧者数
てん せん ・と——、いろ、かたち 島根の美術室	令和元年4月20日(土)～6月24日(月)	58	5,888
猪熊弦一郎展「いのくまさん」	令和元年7月13日(土)～9月1日(日)	45	5,591
星とめぐる美術 10の天体がいざなう現代美術	令和元年9月14日(土)～11月18日(月)	57	10,250
富野由悠季の世界	令和2年1月11日(土)～3月23日(月)	63	12,379
合計			34,108

4. パスポート会員数一覧

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1,085	1,094	1,070	1,075	1,061	1,066	1,048	1,024	1,010	1,012	1,006	991

収支概要

■収支概要

センター運営費	24,328
指定管理委託料	336,199
企画展事業費	49,592
コレクション展事業費	3,960
調査研究・研修費	2,425
美術作品収集費	700
センター利用促進事業費	1,000
合 計	418,204

企画展	10,633
常設展	1,375
パスポート	2,495
目的外使用料	4,798
合 計	19,301

※図録販売収入など雑入は含まず

島根県芸術文化センター条例

平成16年10月12日
島根県条例第51号
改正 平成17年7月19日条例第39号
平成26年3月18日条例第1号
平成31年3月8日条例第1号
平成31年4月26日条例第27号

島根県芸術文化センター条例をここに公布する。
島根県芸術文化センター条例

(趣旨)

第1条 この条例は、島根県芸術文化センターの設置及び管理について必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 多様で質の高い美術、音楽、演劇その他の芸術文化の鑑賞及び創造の機会を提供し、もって芸術文化の振興及び県民生活の向上を図るため、島根県芸術文化センター（以下「センター」という。）を益田市に設置する。

2 センターは、次に掲げる施設をもって構成する。

- (1) 島根県立石見美術館（以下「美術館」という。）
- (2) 島根県立いわみ芸術劇場（以下「芸術劇場」という。）

(業務)

第3条 センターは、次に掲げる業務を行う。

- (1) 美術品及び美術に関する資料（以下「美術品等」という。）の収集、保管及び展示に関すること。
- (2) 美術に関する教育及び普及並びに調査研究に関すること。
- (3) センターの施設及び設備（以下「施設等」という。）で別表第1に掲げるもの（以下「有料施設等」という。）を一般の利用に供すること。
- (4) 音楽、演劇その他の鑑賞を目的とした事業に関すること。
- (5) 芸術文化に関する情報の収集及び提供に関すること。
- (6) 前各号に掲げるもののほか、センターの目的を達成するために必要な業務に関すること。

(職員)

第4条 センターに、センター長その他の職員を置く。

(指定管理者による管理)

第5条 センターの管理は、法人その他の団体であって、知事及び教育委員会（以下「知事等」という。）が指定するもの（以下「指定管理者」という。）にこれを行わせるものとする。

(指定管理者が行う業務)

第6条 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 有料施設等の利用の許可に関する業務
- (2) 美術館の観覧料の徴収に関する業務
- (3) 施設等の維持管理に関する業務
- (4) センターを利用した第3条第4号及び第5号の業務
- (5) 前各号に掲げるもののほか、センターの運営に関する事務のうち、知事等が必要と認める業務

(指定管理者の指定の申請等)

第7条 知事等は、指定管理者を指定しようとするときは、特別の事情があると認める場合を除き、公募するものとする。

2 第5条の規定による指定を受けようとするものは、申請書に事業計画書その他規則及び教育委員会規則（以下「規則等」という。）で定める書類を添付して、知事等が定める期日までに知事等に提出しなければならない。

(指定管理者の指定)

第8条 知事等は、次の各号に掲げる基準をいずれも満たすもののうち、センターの管理を行わせるのに最も適した団体を候補者として選定し、議会の議決を経て指定管理者を指定するものとする。

- (1) 事業計画書の内容が、住民の平等な利用が図られるものであること及びサービスの向上が図られるものであること。
- (2) 事業計画書の内容が、複合施設としてのセンターの効用を最大限に発揮させるものであること。
- (3) 事業計画書の内容が、施設等の適切な維持管理を図ることができるものであること及び管理に係る経費の縮減が図られるものであること。
- (4) 当該団体が、事業計画書に沿った管理を安定して行う財政的基礎及び人的能力を有するものであること。

(事業報告書の作成及び提出)

第9条 指定管理者は、規則等で定める日までに、センターの管理の業務に関し、規則等で定める内容を記載した事業報告書を作成し、知事等に提出しなければならない。

(業務報告の聴取等)

第10条 知事又は教育委員会は、センターの管理の適正を期するため、指定管理者に対し、その管理の業務又は経理の状況に関し定期に又は必要に応じて臨時に報告を求め、実地に調査し、又は必要な指示をすることができる。

(指定の取消し等)

第11条 指定管理者が前条の指示に従わないとき、その他指定管理者の責めに帰すべき事由により当該指定管理者による管理を継続することができないと認めるときは、知事等はその指定を取り消し、若しくは期間を定めて管理の業務の全部の停止を命じ、又は知事若しくは教育委員会は期間を定めて管理の業務の一部の停止を命ずることができる。

- 2 前項の規定により指定管理者の指定が取り消され新たな指定管理者がセンターの管理を行うまでの期間又は指定管理者が管理の業務の全部若しくは一部の停止を命ぜられた期間におけるセンターの管理は、必要に応じて知事又は教育委員会が行うものとする。この場合において、次条から第18条まで、第23条及び第24条の規定中指定管理者の権限とされているものについては、知事又は教育委員会の権限とする。
- 3 第1項の規定により指定を取り消し、又は期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命じた場合において指定管理者に損害が生じて、知事等は其の賠償の責めを負わない。

(開館時間等)

第12条 センターの開館時間は、午前9時から午後10時までとする。

2 センターの利用時間は、次の各号に掲げる施設の区分に応じ、当該各号に定めるところによる。

- (1) 美術館 午前9時から午後5時30分まで
- (2) 芸術劇場 午前9時から午後10時まで

3 前2項の規定にかかわらず、指定管理者は、必要があると認めるときは、知事又は教育委員会の承認を受けて、開館時間又は利用時間を変更することができる。

(休館日)

第13条 センターの休館日は、次のとおりとする。ただし、指定管理者は、必要があると認めるときは、知事又は教育委員会の承認を受けて、これを変更することができる。

- (1) 毎月第2火曜日及び第4火曜日（美術館にあっては、毎週火曜日）
- (2) 12月30日から翌年の1月3日まで

2 前項第1号の規定にかかわらず、同号に規定する日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日当たるときは、その翌日以降の最初の休日でない日を休館日とする。

(平17条例39・一部改正)

(利用の許可等)

第14条 有料施設等を利用しようとする者は、指定管理者の許可を受けなければならない。許可に係る事項を変更しようとするときも、同様とする。

2 指定管理者は、有料施設等の利用の目的、方法等が次の各号のいずれかに該当するときは、前項の許可をしないものとする。

- (1) 公の秩序又は善良の風俗に反するおそれがあると認められるとき。
- (2) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団の財産上の利益になるおそれがあると認められるとき。
- (3) 長期間にわたる継続利用により他の利用を妨げるおそれがあると認められるとき。
- (4) センターの施設又は設備を損壊するおそれがあると認められるとき。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、センターの管理に支障があると認められるとき又は規則で定める事由に該当すると認められるとき。

3 指定管理者は、センターの管理上必要があると認めるときは、第1項の許可に条件を付することができる。

(許可の取消し等)

第15条 指定管理者は、前条第1項の許可を受けた者（以下「利用者」という。）が、次の各号のいずれかに該当するときは、又は天災地変その他センターの管理上特に必要があるときは、許可を取り消し、同条第3項の規定により許可に付した条件を変更し、又は利用の中止を命ずることができる。

- (1) この条例又はこの条例に基づく規則等の規定に違反したとき。
- (2) 前条第3項の規定により許可に付した条件に違反したとき。
- (3) 偽りその他不正の手段により許可を受けたとき。

(利用料金)

第16条 利用者は、有料施設等の利用に係る料金（以下「利用料金」という。）を指定管理者に支払わなければならない。

2 利用料金は、指定管理者が認めた場合を除き、第14条第1項の許可をするときに徴収する。

3 利用料金は、指定管理者にその収入として収受させる。

4 利用料金は、別表第1に掲げる基準額に0.8を乗じて得た額から当該基準額に1.2を乗じて得た額までの範囲内の額で、指定管理者が知事の承認を受けて定める額とする。

(利用料金の減免)

第17条 指定管理者は、公益上特に必要があると認めるときは、利用料金を減免することができる。

(利用料金の不還付)

第18条 既に納入された利用料金は、還付しない。ただし、次の各号のいずれかに該当するときは、指定管理者は、利用料金の全部又は一部を還付することができる。

- (1) 利用者が、その責めに帰することができない理由により有料施設等を利用することができなくなったとき。
- (2) 指定管理者が、センターの管理上特に必要があるため第15条の規定により利用の許可を取り消したとき。
- (3) 利用者が、利用開始の前日までに指定管理者が定める日までに利用の中止を申し出たとき。

(利用権の譲渡等の禁止)

第19条 利用者は、有料施設等の利用の権利を他人に譲渡し、又は転貸してはならない。

(観覧料)

第20条 美術館に展示する美術品等を観覧しようとする者（次に掲げる者を除く。）は、別表第2又は別表第3に定める観覧料を納付しなければならない。

- (1) 未就学児
- (2) 常設展（常設展示室における展示をいう。以下同じ。）を観覧しようとする小学校の児童並びに中学校及び高等学校の生

徒並びにこれらに準ずる者

(観覧料の減免)

第21条 教育委員会は、公益上特に必要があると認めるときは、観覧料を減免することができる。

(観覧料の不還付)

第22条 既に納付された観覧料は、還付しない。ただし、教育委員会が特に必要と認めるときは、この限りでない。

(指定管理者の指示)

第23条 指定管理者は、センターの管理上必要があると認めるときは、センターを利用する者に対し、当該利用する者が遵守すべき事項に関し必要な指示をすることができる。

(入館の制限)

第24条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、センターへの入館を拒否し、又はセンターからの退去を命ずることができる。

- (1) センターの施設若しくは設備又は美術館に展示する美術品若しくは美術に関する資料を損壊するおそれがある者
- (2) 他人に危害を加え、又は迷惑になる行為をする者
- (3) 前2号に掲げる者のほか、センターの管理上支障があると認められる者

(損害賠償)

第25条 指定管理者又はセンターを利用する者は、故意又は過失により、センターの施設若しくは設備又は美術館に展示する美術品若しくは美術に関する資料を損壊し、又は滅失したときは、これによって生じた損害を賠償しなければならない。

(秘密保持義務)

第26条 指定管理者若しくは指定管理者であったもの又は第6条の業務に従事している者若しくは従事していた者は、その業務に関して知り得た管理上の秘密をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に利用してはならない。

(原状回復義務)

第27条 指定管理者は、その指定の期間が満了したとき、又は第11条第1項の規定により指定を取り消され、若しくは期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命ぜられたときは、その管理をしなくなった施設等を速やかに原状に回復しなければならない。ただし、知事又は教育委員会の承認を受けたときは、この限りでない。

2 利用者は、有料施設等の利用が終わったとき、又は第15条の規定により許可を取り消され、若しくは利用の中止を命ぜられたときは、その利用した有料施設等を原状に復し、又は搬入した物件を撤去しなければならない。

(センター協議会)

第28条 センターにセンター協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2 協議会は、センターの運営に関しセンター長の諮問に応ずるとともに、センター長に対して意見を述べる機関とする。

3 協議会の委員（以下「委員」という。）の定数は、15人以内とする。

4 委員の任期は、2年とする。ただし、欠員が生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委任)

第29条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則等で定める。

(罰則)

第30条 知事は、詐欺その他不正の行為により、観覧料の徴収を免れた者については、その徴収を免れた金額の5倍に相当する金額（当該5倍に相当する金額が5万円を超えないときは、5万円とする。）以下の過料を科することができる。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成17年4月1日から施行する。ただし、次項及び附則第3項の規定は、公布の日から施行する。

(準備行為)

2 第8条に規定する指定及びこれに関し必要なその他の行為は、この条例の施行前においても第7条の規定の例により行うことができる。

3 センターの供用開始の日以後の利用に係る有料施設等の利用の許可に関し必要な準備行為は、この条例の施行の日（以下「施行日」という。）前においても行うことができる。

(供用開始)

4 センターは、知事が別に定める日から供用を開始する。

(知事が別に定める日＝平成17年10月8日)

(経過措置)

5 施行日から前項に規定する供用を開始する日までの間は、第12条、第13条及び第28条の規定は、適用しない。

附 則（平成17年条例第39号）

この条例は、平成18年4月1日から施行する。

ただし、第2条の規定は、公布の日から施行する。

附 則（平成26年条例第1号）抄

(施行期日)

1 この条例は、平成26年4月1日から施行する。

附 則（平成31年条例第1号）抄

改 正 平成31年4月26日条例第27号

(施行期日)

1 この条例は、令和元年10月1日から施行する。

(平31条例27・一部改正)

附 則 (平成31年条例第27号)

この条例は、元号を改める政令(平成31年政令第143号)の施行の日から施行する。

(施行の日=令和元年5月1日)

別表第1 (第3条関係)

(平26条例1・平31条例1・一部改正)

1 施設の基準額

(1) 大ホール等

区分			基準額					
			午前9時から 正午まで	午後1時から 午後5時まで	午後6時から 午後10時まで	午前9時から 午後5時まで	午後1時から 午後10時まで	午前9時から 午後10時まで
大ホール	1階席 及び 2階席	平日	円 32,090	円 42,790	円 53,490	円 64,200	円 85,600	円 107,000
		土、日曜日 及び休日	38,510	51,360	64,190	77,040	102,720	128,410
	1階席	平日	21,390	28,520	35,660	42,790	57,060	71,330
		土、日曜日 及び休日	25,670	34,230	42,790	51,360	68,470	85,600
	小ホール	平日	8,550	11,400	14,250	17,110	22,820	28,520
		土、日曜日 及び休日	10,260	13,670	17,110	20,530	27,370	34,230
スタジオ1			4,830	6,440	8,060	9,670	12,900	16,140
スタジオ2			980	1,320	1,660	1,980	2,650	3,330
大ホール大楽屋1			2,150	2,880	3,610	4,330	5,780	7,240
大ホール大楽屋2			2,150	2,880	3,610	4,330	5,780	7,240
大ホール中楽屋1			860	1,160	1,440	1,730	2,320	2,900
大ホール中楽屋2			860	1,160	1,440	1,730	2,320	2,900
大ホール中楽屋3			860	1,160	1,440	1,730	2,320	2,900
大ホール中楽屋4			860	1,160	1,440	1,730	2,320	2,900
大ホール小楽屋1			600	810	1,000	1,220	1,620	2,030
大ホール小楽屋2			600	810	1,000	1,220	1,620	2,030
小ホール中楽屋1			790	1,040	1,320	1,580	2,110	2,650
小ホール中楽屋2			790	1,040	1,320	1,580	2,110	2,650
小ホール小楽屋1			600	810	1,000	1,220	1,620	2,030
小ホール小楽屋2			600	810	1,000	1,220	1,620	2,030
多目的ギャラリー			4,000	5,340	6,690	8,020	10,700	13,380

備考

1 入場料その他これに類する料金(以下「入場料」という。)を徴収して大ホール又は小ホールを利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に、次に掲げる入場料の額(入場料の額に2以上の区分があるときは、そのうちの最高額)の区分に応じた額を加算した額とする。

ア 3,000円以下のもの 10割相当額(徴収する入場料の額が1,000円以下で、かつ、営利を目的としない場合にあっては、5割相当額)

イ 3,000円を超え、5,000円以下のもの 15割相当額

ウ 5,000円を超えるもの 20割相当額

2 入場料を徴収しないが営利を目的として、大ホール又は小ホールを利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に10割相当額を加算した額とし、入場料を徴収し、又は入場料を徴収しないが営利を目的としてスタジオ1、スタジオ2又は多目的ギャラリーを利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に5割相当額を加算した額とする。

3 楽屋を他の用途に利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に5割相当額を加算した額とする。

4 この表に定める利用時間を超えて利用する場合の基準額は、この表に定める基準額(前3号の規定により加算した場合は、その加算した額を含む。)に、1時間までごとに、当該基準額の1時間当たりの額を加算した額とする。

- 5 大ホール、小ホール、スタジオ1、スタジオ2又は多目的ギャラリーを準備のために利用する場合の基準額は、この表に定める基準額（備考第1号若しくは第2号又は前号の規定により加算した場合は、その加算した額を含む。）の5割相当額とする。
 - 6 冷暖房期間（11月1日から翌年の3月31日まで及び6月1日から9月30日までの間をいう。）において冷暖房料を徴収する場合の基準額は、この表に定める基準額（前各号の規定により加算した場合は、その加算した額を含む。）の3割相当額とする。
 - 7 休日とは、国民の祝日に関する法律に規定する休日をいう（(2)の表において同じ。）。
 - 8 備考第1号から第6号までにおいて算出した額に10円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てる。
- (2) その他

区分	単位	基準額
屋外施設	1平方メートルにつき1日までごと	7円

備考

- 1 「屋外施設」とは、前庭広場、中庭広場及び駐車場をいう。
- 2 屋外施設は、知事が定める用途に限り、利用することができる。
- 3 屋外施設を日曜日、土曜日又は休日に利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に2割相当額を加算した額とする。
- 4 「1日」とは、午前9時から午後10時までをいう。

2 設備の基準額

種別	単位	基準額
舞台大道具及び小道具	1回1点につき	知事が定める額
舞台関係設備	1回1点につき	知事が定める額
音響関係設備	1回1点につき	知事が定める額
楽器	1回1点につき	知事が定める額
映写機	1回1点につき	知事が定める額
その他設備器具	1回1点につき	知事が定める額

備考 「1回」とは、午前9時から正午まで、午後1時から午後5時まで又は午後6時から午後10時までのそれぞれの時間帯における利用をいう。

別表第2（第20条関係）

区分		観覧料の額（1人1回につき）	
		個人の場合	団体（20人以上の場合をいう。）の場合その他教育委員会規則で定める割引制度に該当する場合
常設展	大学の学生又はこれに準ずる者	200円	160円
	その他の者	300円	240円
企画展		その都度教育委員会が定める額	

備考

- 1 「企画展」とは、常設展以外の展示で特別の企画に基づくものをいう。
- 2 常設展と企画展とを同日中に観覧しようとする者の常設展の観覧料の額は、この表に定める額の5割相当額とする。

別表第3（第20条関係）

区分	年間観覧料（同一人が1年間に常設展又は企画展を観覧する場合の観覧料）の額
小学校の児童、中学校若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者	1,500円以内で教育委員会が定める額
大学の学生又はこれに準ずる者	3,000円以内で教育委員会が定める額
その他の者	5,000円以内で教育委員会が定める額

島根県立石見美術館管理規則をここに公布する。
島根県立石見美術館管理規則

(趣旨)

第1条 この規則は、島根県芸術文化センター条例（平成16年島根県条例第51号。以下「条例」という。）第29条に基づき、島根県立石見美術館（以下「美術館」という。）の管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(指定管理者の申請に関する書類)

第2条 条例第7条第2項の申請書は、指定管理者指定申請書（様式第1号）によらなければならない。

2 条例第7条第2項の教育委員会規則で定める書類は、次のとおりとする。

- (1) 定款、寄附行為、規約その他これらに準ずる書類
- (2) 法人にあっては、当該法人の登記事項証明書
- (3) 前項の申請書を提出する日の属する事業年度の事業計画書及び収支予算書並びに過去2年間の事業報告書、収支計算書、貸借対照表及び財産目録又はこれらに準ずる書類
- (4) 役員の名簿及び略歴を記載した書類
- (5) 団体の概要を記載した書類
- (6) 前各号に掲げるもののほか、教育委員会（以下「委員会」という。）が必要と認める書類（平17教委規則14・一部改正）

(事業報告書の内容等)

第3条 条例第9条の規則等で定める日は、毎会計年度終了後60日とする。ただし、条例第11条第1項の規定により指定管理者の指定を取消された場合は、その取消の日から60日とし、その報告の対象となる期間は当該取消の前日までとする。

2 条例第9条の規則等で定める内容は、次のとおりとする。

- (1) 美術館の管理の体制
- (2) 美術館の管理業務の実施状況及び使用の実績
- (3) 美術館の管理に要した経費の収支状況
- (4) 前各号に掲げるもののほか、美術館の管理に関し委員会が必要と認める事項

(観覧料の納付)

第4条 観覧料は、前納とする。ただし、委員会が特に認めた場合は、後納とすることができる。

(年間観覧券)

第5条 年間観覧料を支払った者に対しては、年間観覧券を交付するものとし、その有効期間は、年間観覧券を交付した日から起算して1年間とする。

2 年間観覧券の使用は、同一人に限るものとする。

(観覧料の減免)

第6条 次の各号に掲げる者（条例別表第2個人の場合の欄に該当する場合に限る。）が、美術館の展示する美術品及び美術に関する資料を観覧しようとするときは、条例第21条の規定により、条例別表第2個人の場合の欄に定める額（以下この項において「観覧料の額」という。）から当該各号に定める額を減免することができる。

- (1) 小学校の児童、中学校若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者で、学校が編成した教育課程に基づく活動により教職員に引率されて観覧する者 観覧料の全額
- (2) 前号に掲げる者を引率する教職員 観覧料の額の全額
- (3) 身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条第4項の身体障害者手帳、療養手帳（知的障害者の福祉の充実を図るため、児童相談所又は知的障害者更生相談所において知的障害者と判定された者に対して交付される手帳で、その者の障害の程度その他の事項の記載があるものをいう。）又は精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第45条第2項の精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者（以下次項において「障害者」という。） 観覧料の額の全額
- (4) 障害者の付添人（原則として障害者の人数と同じ人数までに限る。） 観覧料の額の全額
- (5) 前各号に掲げるもののほか、委員会が特別の理由があると認める者 委員会が別に定める額

2 前項の規定により観覧料の減免を受けようとする者は、あらかじめ、観覧料減免申請書（様式第2号）を提出し、委員会の承認を受けなければならない。ただし、前項第3号及び第4号に規定する者については、この限りでない。

(観覧料の割引制度)

第7条 条例別表第2に規定する教育委員会規則で定める割引制度は、次に掲げる事項とする。

- (1) 他の観光施設等の管理者等と共同で発行する共通割引券を利用して観覧する場合
- (2) 別に定める者が運営する交通機関を利用する者が、別に定める乗車券等を提示して観覧する場合
- (3) 前2号に掲げるもののほか、美術館の利用を促進するものとして特に必要と認める場合

(センター協議会)

第8条 センター協議会に関し必要な事項は、別に定める。

(委任)

第9条 この規則に定めるもののほか、美術館の管理に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

附 則

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則（平成17年教委規則第14号）

この規則は、公布の日から施行する。

指定管理者指定申請書

年 月 日

様

所在地

申請者 名称

代表者氏名 印

島根県芸術文化センターの指定管理者について指定を受けたいので、島根県芸術文化センター条例第7条第2項の規定に基づき下記のとおり申請します。

記

団体名			
代表者職・氏名			
主たる事務所の所在地			
設立年月日	年 月 日	構成員の 人数	人
資本金			円
提携団体（他団体と連携して管理を行う場合に記入すること。）			

様式第2号（第6条関係）

島根県立石見美術館観覧料減免申請書

年 月 日

様

住所〒

（団体にあっては、主たる事務所の所在地）

申請者 氏名

（団体にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号

（自宅及び勤務先）

下記のとおり観覧料の減免を受けたいので申請します。

記

観覧期日	年 月 日（ ）曜日		
展覧会名			
減免を申請する理由	<input type="checkbox"/> 小学校の児童、中学校若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者が、学校が編成した教育課程に基づく活動により教職員に引率されて観覧する場合 <input type="checkbox"/> 上記の者を教職員が引率する場合 <input type="checkbox"/> その他の場合 （ ）		
区分	正規の観覧料	※ 減免率	※ 減免後の観覧料
小学校の児童、中学校若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者	円× 人＝ 円	%	円
上記を引率する教職員	円× 人＝ 円	%	円
その他の者	円× 人＝ 円	%	円
合計		円	円

（注） ※印欄は、記載しないでください。

施設概要

■島根県芸術文化センター（島根県立石見美術館、島根県立いわみ芸術劇場）

[所在地] 島根県益田市有明町5番15号

[設計期間] 2001年4月～2002年7月

[工事期間] 2002年11月～2005年3月

[設計] 内藤廣建築設計事務所

[構造設計] 空間工学研究所

[設備設計] 明野設備研究所

[コンサルタント]

- 設計協力：江角彰宣・みずほ設計
- 舞台機構：シアターワークショップ
- 舞台照明：シアターワークショップ
- 舞台音響：唐澤誠建築音響設計事務所
- サイン：矢萩喜從郎
- 共同監理：島根県益田土木建築事務所

[敷地面積] 36,564.16㎡

[建築面積] 14,068.15㎡

[延床面積] 19,252.45㎡

1階：13,313.01㎡、2階：2,893.78㎡

地下1階：3,045.66㎡

[建蔽率] 38.4%（許容：60%）

[容積率] 52.6%（許容：200%）

[用途] 美術館・劇場

[規模] 地上2階 地下1階

[最高高さ] 32.24m

[構造] RC造、一部PC、S造

[設備]

●空調設備、空調方式

ホール・美術館：単一ダクト方式

事務・ホール楽屋：ファンコイルユニット、単一ダクト方式

レストラン・ホール調整室：空冷パッケージ、全熱交換器方式

●熱源

冷熱源：吸収式冷温水機、ブライン冷凍機（氷蓄熱・追掛）、

空冷ヒートポンプチラー方式

氷製氷時は深夜電力利用（蓄熱製氷方式・ダイナミック型）

温熱源：吸収式冷温水機、空冷ヒートポンプチラー方式、

ボイラー方式

●衛生設備

給水：受水槽、加圧給水ポンプ方式

給湯：楽屋・レストラン厨房＝中央式（ガス給湯器）、

その他：局所式（電気温水器）

排水：建物内＝汚・雑排水合流方式

建物外＝合併浄化槽方式（放流水BOD 20mg/L以下）

●電気設備

受電方式：高圧3相3線6.6KV 1回線

設備容量：6250kVA

契約電力：1500kVA

予備電源：高圧ガスタービン発電機 750kVA

●防災設備

消火設備：全館スプリンクラー設備

（ホール舞台部：開放型、その他：閉鎖型）

美術館展示室・収蔵庫＝ハロゲン化物消火設備

（ハロンバンク登録）

補助散水栓

排煙：自然排煙、機械式排煙

その他：自動火災報知設備、非常放送設備、誘導灯設備、

非常用照明

昇降機：乗用エレベーター、荷物用エレベーター

特殊設備：水景設備（中庭）＝オーバーフロー循環方式・

砂濾過方式

[施工]

●建築：大成建設・大畑建設・日興建設特別共同企業体

●空調：新菱冷熱・電設サービス・技研設備特別共同企業体

●衛生：新日本空調・吉村設備・角田工業特別共同企業体

●強電：中電工・北陽・山代特別共同企業体

●弱電：栗原工業

●舞台機構：森平舞台機構

●舞台照明：丸茂電機

●舞台音響：ヤマハサウンドテック

●非常用発電：東芝

●エレベーター：東芝エレベーター

●浄化槽：アルファプランニングワーク

●外構：大畑建設・日興建設特別共同企業体

●植栽：田部、大畑建設

●アスファルト舗装：大成建設・大畑建設・日興建設特別共同企業体

●屋根・外壁石州瓦：

施工＝益田窯業

製造＝益田窯業、木村窯業、シバオ

瓦ファスニングシステム（外壁石州瓦取付）

＝シマムラ

●外壁タイル：

施工＝協和タイル

製造＝株式会社 スカラ

●特殊照明：ヤマギワ

〔諸室面積一覧〕

石見美術館

●展示前室	255.2㎡
●展示室A	388.8㎡
●展示室B	202.5㎡
●展示室C	307.8㎡
●展示室D	1091.5㎡
●美術館ロビー	498.2㎡
●搬入荷解スペース(展示倉庫含む)	282.5㎡
●美術館搬入口	178.6㎡
●収蔵庫1	290.3㎡
●収蔵庫2	189.0㎡
●収蔵庫前室	61.1㎡
●一時保管庫	101.2㎡
●修復室	35.6㎡
●隔離室	22.8㎡
●写真室	99.8㎡
●学芸員室	61.8㎡
●研究資料室	47.7㎡

共用・管理部門

●応接室	43.0㎡
●センター長室	22.9㎡
●副センター長室	22.9㎡
●ホール館長室	22.9㎡
●事務室	170.2㎡
●講義室	102.1㎡
●ボランティア室	43.4㎡
●アテンダント控室	20.2㎡
●救護室	7.4㎡
●授乳室	10.3㎡
●AV機械室	23.6㎡
●中央監視室	47.3㎡
●清掃員室	16.8㎡

●回廊	1358.3㎡
●中庭広場	2079.3㎡
●美術館中庭	170.5㎡
●事務中庭	220.5㎡

●多目的ギャラリー	182.4㎡
●ミュージアムショップ	89.0㎡
●レストラン	182.6㎡

いわみ芸術劇場

大ホール

●ホワイエ 1F/2F	1436.5㎡
●客席 1F/2F	1153.3㎡
●舞台	1965.3㎡
●親子室	15.1㎡
●要約筆記室	14.7㎡
●調光操作室	29.8㎡
●音響調整室	24.4㎡
●奈落	138.7㎡
●オーケストラピット	89.9㎡
●客席ワゴン収納庫	197.7㎡

●小楽屋1	19.6㎡
●小楽屋2	19.6㎡
●中楽屋1	31.0㎡
●中楽屋2	30.9㎡
●中楽屋3	32.0㎡
●中楽屋4	32.0㎡
●大楽屋1	73.4㎡
●大楽屋2	74.0㎡
●楽屋サロン	106.7㎡
●主催者控室	10.3㎡
●楽屋中庭	86.6㎡

小ホール

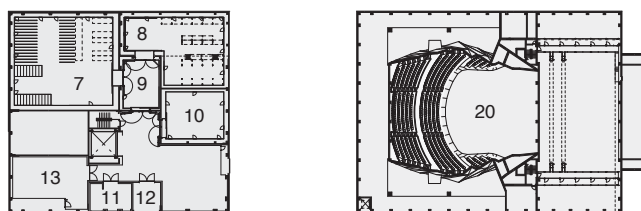
●ホワイエ 1F/2F	478.4㎡
●客席	394.6㎡
●舞台	416.6㎡
●調光操作室	27.3㎡
●音響調整室	26.8㎡
●投映室	12.9㎡

●小楽屋1	16.4㎡
●小楽屋2	16.4㎡
●中楽屋1	27.7㎡
●中楽屋2	27.5㎡
●ラウンジ	74.0㎡
●主催者控室	10.9㎡
●楽屋中庭	174.2㎡

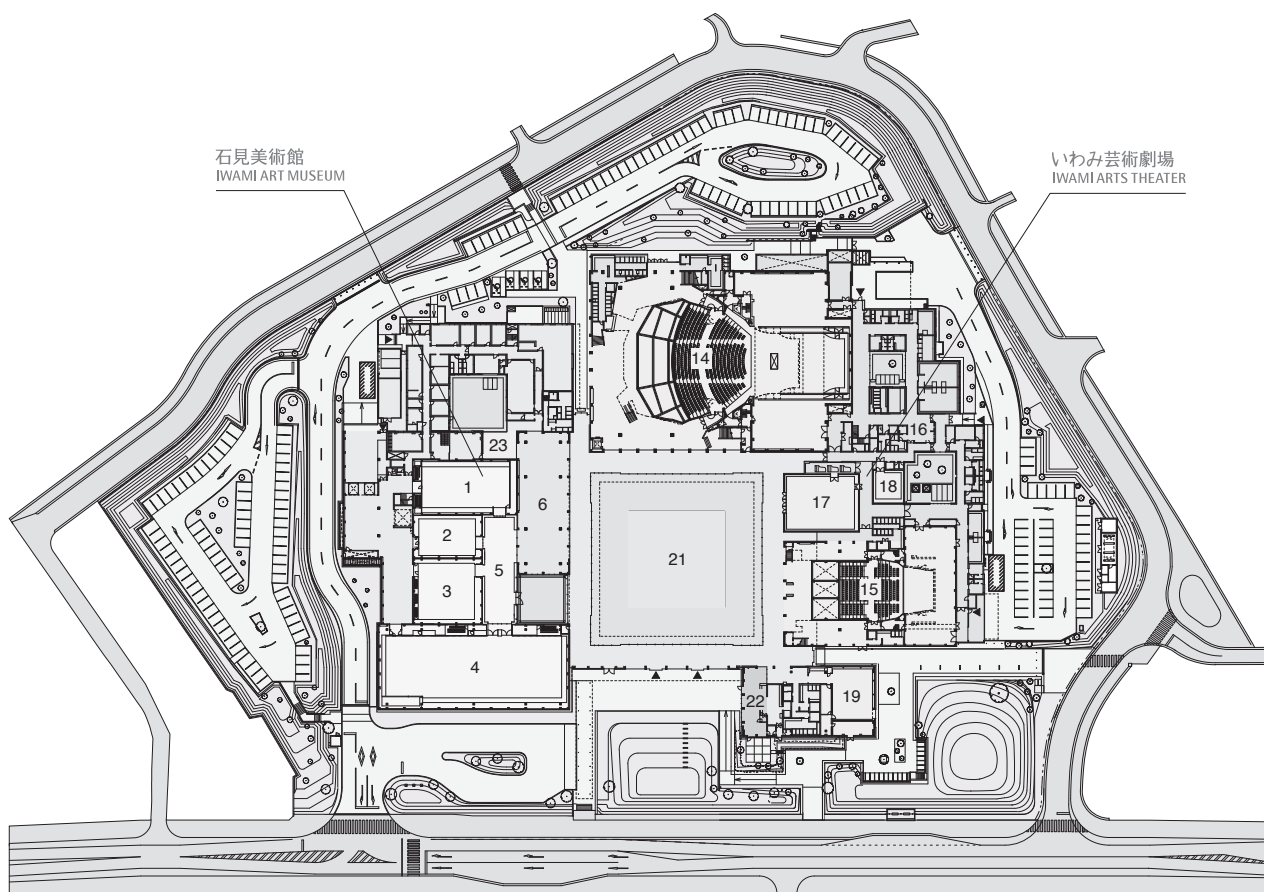
●楽屋ロビー	43.0㎡
●楽屋事務室	15.8㎡

●スタジオ1	256.4㎡
●スタジオ2	70.9㎡
●ピアノ庫	42.4㎡
●スタジオロッカー室	14.1㎡

2F



1F



石見美術館

- | | |
|-----------|-----------|
| 1: 展示室 A | 8: 収蔵庫 2 |
| 2: 展示室 B | 9: 収蔵庫前室 |
| 3: 展示室 C | 10: 一時保管庫 |
| 4: 展示室 D | 11: 修復室 |
| 5: 展示前室 | 12: 隔離室 |
| 6: 美術館ロビー | 13: 写真室 |
| 7: 収蔵庫 1 | |

いわみ芸術劇場

- | | |
|----------------|----------------|
| 14: 大ホール | 21: 中庭広場 |
| 15: 小ホール | 22: レストラン |
| 16: 楽屋 | 23: ミュージアムショップ |
| 17: スタジオ 1 | |
| 18: スタジオ 2 | |
| 19: 多目的ギャラリー | |
| 20: 大ホール 2F 客席 | |

運営組織体制

施設名称

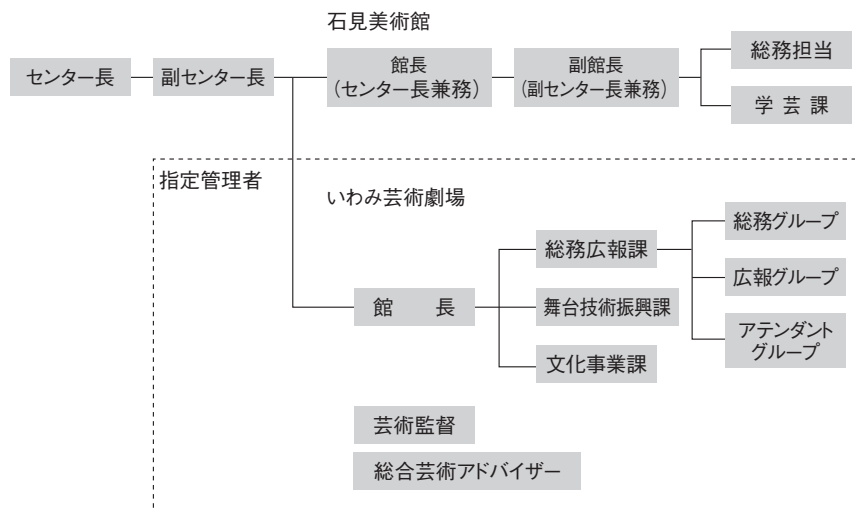
島根県芸術文化センター(島根県立石見美術館、島根県立いわみ芸術劇場)

組織体制

島根県芸術文化センター協議会

協議会委員(14名)

島根県芸術文化センター



シンボルマーク

このシンボルマークは、島根県を示すアルファベットの「S」と石見を示すアルファベットの「I」で構成され、また日本海の遠望を連想させる奥行きも加味してデザインされたものである。アルファベットの「I」のオレンジ色のイメージは石州瓦の色を連想させるだけでなく、他の色との組み合わせで色彩豊かにすることで、美術館とホールの文化施設を晴れやかに謳い上げることをイメージさせる。

矢萩喜従郎



令和2年12月25日発行

発行 **島根県立石見美術館**

〒698-0022 島根県益田市有明町5-15

島根県芸術文化センター「グラントワ」内

TEL0856-31-1860(代表) FAX0856-31-1884(代表)

E-mail : zaidan@grandtoit.jp <http://www.grandtoit.jp>



島根県芸術文化センター
SHIMANE ARTS CENTER
石見美術館
IWAMI ART MUSEUM